

安全衛生委員会

産業医 北村 龍彦、健康管理センター

近森会グループ安全衛生委員会は、現在 28 名(メンバー：13 名、オブザーバー：15 名)で活動している。(表 1~2)

2023 年度の定期健康診断の受診率は 100%を達成した。運動機能検査は、新型コロナ感染対策(以下コロナ対策)の為に休止中であったが、今年度より一部再開、健康寿命延伸へ向けた取組を進めている。(図 1~2、表 3・4-1~2)

当グループの BMI を除いた有所見率について、総合の有所見率は全国や高知県の平均と比較して低い傾向(全国：58.3%、高知県：62.6%、当グループ：48.1%)にある。項目別でみると、血圧・血中脂質・肝機能などの割合は低く、貧血の割合は高くなっている。この理由は当グループの特性として、女性および 39 歳以下の職員が多い(受診者における男女比=約 3：7、39 歳以下と 40 歳以上の年齢比=約 6：4、平均年齢=38.4 歳)ことが考えられる。(図 3) また、当グループでの BMI を含めた有所見率の年次推移について、有所見率の高い項目は BMI・血中脂質・肝機能・貧血・血糖となっており例年同様の傾向である。(図 4) 性別でみると、男性の有所見率が高い。また、男性は BMI・血圧・肝機能、女性は貧血の有所見率が高いという性差が見られる。年代別では 39 歳以下に比べて、40 歳以上の有所見率が高くなっている。(図 5-1~4) 以上の結果より、女性の貧血対策の継続、中高年の男性を中心にした生活習慣病対策および早期(39 歳以下)からの健康意識の向上が重要であることが分かる。

メタボリックシンドローム年次推移(40 代以上)について、有病者及び予備軍に該当する者が男性に多い傾向は例年同様である。(図 6-1~3、表 5-1~3)

健康診断後の対応として、独自で設けている基準に応じてフォロー(状況確認、産業医面談、保健指導など)を実施している。また、メタボリックシンドロームの有病者および予備軍に該当する者に対しては、近森会健康保険組合(以下健康保険組合)からの委託を受けて特定保健指導(以下特保)を実施している。今年度の実施件数は、産業医面談が 64 件、保健指導が 37 件、特保が 40 件であった。(図 14-1~6、表 13-1~6) 引き続き健康診断の実施および実施後のフォローを充実させ、職員の健康寿命の延伸および健康リスクの低減に努めていきたい。

特定業務従事者健診について、電離放射線、特定化学物質・有機溶剤、深夜勤に従事する職員を対象として年 2 回実施している。

電離健康診断の実施者数は 310 名であり、そのうち眼の水晶体の等価線量が 20mSv 超えの者は 3 名(前年度一年間の被ばく線量での報告)であった。(図 16-1~3) この 3 名に対しては、防護眼鏡の変更や眼専用の測定器(以下、ドジリス)導入を行うも、1 名が 20mSv 超えとなった。産業医面談後、眼科受診対応を実施済みである。

電離放射線障害防止則の改正(2021 年 4 月~)に伴い、眼の被ばく線量の限度が引き下げられた(150mSv→100mSv/5 年かつ 50mSv/年、平均 20mSv/年)ことで、低減対策が必要となっている。画像診断部と共に関係者による検討・対策を実施しており、事業主側での監視強化として、基準線量を超えた者に対して「ケア線量報告書(実効線量 1.6mSv 超/月、等価線量 水晶体 1.6mSv 超/月)」・「年度線量報告書(実効線量 5mSv 超/年、等価線量 水晶体 20mSv 超/年 皮膚 150mSv 超/月)」を通知している。この報告書は、本人および所属長への注意喚起・意識づけを促すものであり、報告内容を基に担当者による現場確認・改善策提案(ドジリスの装着や防護眼鏡の変更)を実施している。また、その他にもガラスバッジの保有個数の見直しや、ガラスバッジの未装着・装着不備をなくするための啓蒙活動を行っている。引き続き状況を確認しながら、必要に応じた眼の被ばく線量低減対策に取り組んでいきたいと考える。

特定化学物質健康診断の実施者は 8 名、有機溶剤対健康診断の実施者は 6 名であり特に問題なしである。労働安全衛生法の新たな化学物質規制(安衛法施行令の一部改正)が 2022 年 5 月 31 日に公布され、規制項目ごとに 2023 年 4 月 1 日、2024 年 4 月 1 日と順次施行される。作業主任者(化学物質管理者)である病理検査室副技師長と問題ない事を確認済みであり、2023

年度から安全衛生委員会にて現場での管理状況について報告を行っている。

健康診断に係ること以外では、職業感染予防対策の一環として感染対策委員会と連携し、日本環境感染学会の指針に基づいた感染症検診の実施および予防可能なウイルス疾患に対するワクチン接種を実施している。

B型肝炎については、雇入時健康診断の際に感染症検診を実施しており、抗体価に応じてワクチン接種を実施している。今年度は、感染症検診実施者数は増加(214名→254名)し、ワクチン接種対象者数は減少(44名→30名)している。また、感染症検査実施者における職種別HBs抗体陽性率は昨年度と比較して減少(66.8%→57.5%)している。年度内に接種終了とならなかった者への個別対応は行わず、次年度スケジュールにて対応しており、ワクチン接種対象者における接種率は80.6%であった。〈図7-1～10、表6-1～9〉2024年2月時点の全職員における抗体保有率を算出した結果、近森病院では94.3%であった。〈図7-11～14、表6-10～13〉

麻疹・風疹・水痘・ムンプスについては、各自で入職までに抗体獲得をする運用になっており(2015年9月入職者～)、2024年2月時点の全職員における各種抗体保有率を算出した結果、近森病院では麻疹91.5%、風疹89.0%、水痘97.6%、ムンプス95.5%であった。〈図9-1～16、表8-1～16〉

結核については、2014年度から新入職員と感染の危険性が高い部署および検査に従事する在職者に対してインターフェロン- γ (IGRA)を用いたT-SPOT.TB検査を実施している。検査結果が陽性・判定不能・判定保留となった職員には、産業医面談を実施し適切な対応を行なっている。〈図10、表9〉

上記6つの感染症について、2019年度から職員へ免疫状況を管理できる「免疫カード」を配布しており、定期的に更新発行・新規発行をしている。

その他のワクチン接種としては、インフルエンザワクチン接種と子宮頸がんワクチン接種を実施している。インフルエンザワクチン接種については、今年度も職員と外部委託業者を対象に接種を実施した。接種費用は、職員のうち健康保険組合被保険者のみ全額補助が継続され無料化している。今年度の当グループの接種者数・接種率は1667名：87.0%(昨年度1708名：88.7%)とやや低下した。〈図8-1～7、表7-1～5〉子宮頸がんワクチン接種は、40歳未満の女性職員を対象に希望者を募り実施しており、今年度から4価ワクチンに加えて9価ワクチンの運用を開始した。〈図11、表10〉

次に、健康づくり活動・産業保健活動について、コロナ対策にて中止していたソフトボール大会を有志主催にて再開、また今年度新たにソフトバレーボール大会も有志主催にて開催した。継続を望む声もあり、次年度以降も有志主催のもと開催を予定している。日頃の運動対策としては、全職員対象に階段利用勸奨のポスターを定期的にサイボウズに掲示している。

口腔衛生活動では、6月の「歯と口の衛生週間」・11月の「いい歯の日」には、歯みがきに関する衛生行動を促進するため、虫歯、歯周病に関するパンフレットをサイボウズに掲示することで、全職員への啓蒙を実施した。

過重労働対策では、総務課協力のもと時間外労働時間の把握を継続している。2019年4月1日に「働き方改革関連法」が施行され、当グループでも長時間労働者に対する面接指導の運用を開始した。介入基準を独自に設けており、一月当り残業時間が70時間超えて早期介入、対応を行っている。〈図17〉また厚労省のガイドラインに基づき、副業・兼業先を含めた労働時間管理として、2023年7月より院外での勤務時間も合計し対応にあたっている。年間で月45時間超えが5回以上の者や総残業時間が600時間以上の者も含め、2024.2.20時点で年間5名の職員に介入している。引き続き、健康管理・安全配慮義務の観点からの対策を進める。

喫煙対策では、2017年から当院敷地内および周辺道路等での全面禁煙、職員の就業時間中の禁煙を定めたほか、健康管理センターではポピュレーションアプローチ(禁煙通信による啓発活動)およびハイリスクアプローチ(個別の禁煙チャレンジ呼びかけ、ニコチンガムの無料配付等)を実施し積極的に取り組んできた。今年度より新たなハイリスクアプローチとして、健康保険組合と協力し禁煙支援の幅を広げることを目的に禁煙補助剤の購入費補助事業を開始している。当グループの喫煙者数・平均喫煙率は、164名：8.9%(昨年度168名：9.0%)と横ばいで経過している。年代別では、40代以上の喫煙率(40代：11.8%、50代：13.9%、60代以上：11.2%)が課題である。性別では、男性の平均喫煙率が17.4%(昨年度17.5%)、女性の平均喫煙率が

5.1%（昨年度 5.1%）と昨年同様、男性の喫煙率が高い傾向にある。（図 12-1～6、表 11-1～6）喫煙率、喫煙者数ともに下げ止まりの傾向が続いており、今後はターゲットを絞った取組が必要であると考ええる。

女性の健康管理（産前産後カラダケ）では、理学療法士・管理栄養士等と協働し、事前アンケートにてニーズの高かった項目について動画教材を作成、2023年9月よりYouTubeサイトにて職員向けに限定公開し情報提供をしている。来年度からは理学療法士によるオンラインでの体操教室の実施を予定している。

メンタルヘルス対策では、復職支援について、2021年度から本人・所属長・産業保健スタッフがそれぞれの役割をもって連携することで円滑な職場復帰を目指す「復職支援制度実施要綱」の運用が開始している。

休職者数について、全体的な休職者数は減少傾向であるが、心療内科・精神科への通院者数は26名（昨年度：21名）、うち新規報告者は23名（昨年度：15名）と増加傾向である。心の健康相談の利用者は、昨年と比べて実人数・延べ件数ともに減少傾向である。（図 13、表 12）

ストレスチェックについて、年に1回実施しており今年で8年目となっている。当グループの受検者数・受検率は1711名：95.9%（昨年度 1676名：92.9%）であった。高ストレス判定者・割合は159名：9.3%（昨年度 155名：9.2%）であり、全国平均（約10%）と同様の傾向がみられた。医師面接申出者数・申出率は4名：0.2%（昨年度 6名：0.4%）であった。（図 15-1～4、表 14-1～4）面接申出者のうち、3名は近森病院総合心療センターを選択し、心理士による事前面接の後、全員が医師面接を実施した。残り1名は産業医を選択し、健康管理センター保健師による事前面接にて医師面接の希望なく、事前面接のみ実施となった。申出のない者へは、再申請期間を設けた後、産業保健スタッフによる心の健康相談を案内した。また、今年度よりストレスチェックを活用し、より良い職場環境の醸成へと繋げられるよう集団分析の結果を理事長や各院長など部門長以上の管理職へ報告することとなった。

今後もセルフケア、ラインケアを含めた職員への啓蒙・啓発活動などの予防活動に力を入れるとともに、メンタルヘルス対策を継続していく。

腰痛予防対策では、2021年12月より安全衛生委員会の下部組織としてノーリフティングケア推進WGを設置し、院内業務における腰痛発生予防を目的に、通信を使用した広報活動や腰痛発生リスクの高い部署に対する腰痛ラウンドの実施、労災対応、補助具導入の検討、技術指導など活動を進めている。2023年度から画像診断部・臨床検査部の新人研修（トランスファー・ノーリフト研修）が開始となった。また、担当スタッフによる腰痛予防体操、足と靴の悩み個別相談も実施している。

職場巡視では、希望を受けて温湿度調査の実施、暑熱対策（2022年度より入浴介助時の氷結ベルトが正式に導入）、腰痛対策（補助具設置）、転倒対策（改善措置の場所）のその後の状況確認を行っているほか、労災発生時の現場確認を2017年4月から開始している。

労災発生状況（労基報告用）について、労災の発生件数は14件（昨年度：12件）とやや増加した。職種内訳では、看護部・リハ部が多く例年同様の傾向である。事故の型別でみると、動作の反動・無理な動作が6件と最多であり、次いで転倒が4件、墜落・転落が3件という結果であった。また、動作の反動・無理な動作の主な区分は腰痛関連であり、原因は患者移乗によるものが最も多い。（図 18-1～7、表 15-1～7）労災発生件数の低減に向けて、腰痛関連については前述の腰痛対策を、転倒・転落については作業環境面での改善対応や安全衛生通信を使用した注意喚起を適宜行っている。さらに、今年度より健康管理の視点での取組として、定期健康診断で健診対象者全員に握力測定、50歳以上の職員には閉眼片足立ちも加えて実施し、測定結果に応じて転倒リスクや筋力の維持・増進についての注意喚起やアドバイスを行っている。

ハラスメント対策では、他委員会で担当していた研修計画・実施を引継ぎ、来年度実施に向けて検討をしていくこととなった。

最後に、健康管理センターを基点とし、健康の確保、維持・増進に対する職員の関心がさらに向上することにより、事業所における安全衛生水準を自律的に高めて、職員・家族の健康寿命の延伸、健康経営に寄与できるような活動を充実させていきたいと考える。

2023年度安全衛生委員会活動一覧

表1

A 衛生管理活動	
1	定期健康診断（感染症検診含む） 職員；受診者数・受診率→延べ 2807名（100.0%） * 図1-2、表3・4-1～2 外部事業所；受診者数→延べ63名
2	雇入時健康診断（T-SPOT.TB検査含む） ※メタボリックシンドローム調査 * 図6-1～6-3、表5-1～5-3
3	特定業務従事者健診（電離放射線、深夜勤、特定化学物質・有機溶剤） 上期→電離放射線（310名）深夜勤（805名）特定化学物質（8名）有機溶剤（5名） 下期→電離放射線（309名）深夜勤（790名）特定化学物質（8名）有機溶剤（6名） 眼の水晶体の被ばく線量低減対策を継続中 2021.12～ * 図16-1～16-3
4	健康測定（THP事業） コロナ感染対策の為、一部のみ実施（握力測定・閉眼片足立ち）
5	給食業務従事者健診 毎月実施（赤痢、サルモネラ、O157・26・111） ・12月、1月はノロ検査を追加実施
6	B型肝炎ワクチン接種 * 図7-1～7-14 表6-1～6-13
7	インフルエンザワクチン接種 * 図8-1～7、表7-1～7-5
8	子宮頸がんワクチン接種 * 図11、表10
9	麻疹・風疹・水痘・ムンプス抗体保有確認 * 図9-1～9-16 表8-1～8-16 2015年9月1日新入職員より入職日までに免疫獲得を行うよう運用変更 感染症情報の個人カード作成・配付 2019.8～
10	安全衛生委員会（健康増進委員会） 12回/年（毎月第4木曜日）
B 健康づくり活動・産業保健活動	
1	運動会 中止
2	球技大会 ・ソフトボール大会（1回/年：有志主催にて開催） ・ソフトバレーボール大会（1回/年：有志主催にて開催）
3	運動 階段昇降推進（全職員へ向けて階段利用推進ポスターをサイボウズへ掲示）
4	口腔衛生活動 歯の衛生週間に合わせてサイボウズにてポスター掲示（6月・11月）
5	過重労働対策 時間外労働時間調査中、長時間労働者への面談勧奨継続 2019.4～ * 図17
6	喫煙対策 ・職員の就業中禁煙（休憩時間含む）実施 2017.7～ ・喫煙率調査 * 図12-1～12-6、表11-1～11-6 ・広報活動、指導・相談への対応強化 禁煙通信発行（隔月）、ニコチンガム無料配付 2018.5～、禁煙補助剤購入費補助 2023.4.1～
7	女性の健康管理（産前産後カラダケア） 動画教材(YouTube動画)を使用した情報提供 2023.9～、体操教室の実施 2024.4～予定
8	メンタルヘルス対策 広報活動の強化、相談への対応、復職支援制度実施要綱作成・運用開始 2021.10～
9	こころの健康相談（疾病含む） 随時 * 図13、表12
10	ストレスチェック ・1回/年（11月） ・高ストレス該当者への対応（医師面接申出勧奨） * 図15-1～4、表14-1～4 ・部門長以上の管理職へ集団分析の結果返却 2023.2～
11	腰痛予防対策 ・担当PTによる腰痛指導やフットケア ・ノーリフティングケア推進WG設置 2021.12～ 各施設の取組を紹介（通信にて）、腰痛ラウンドや労災対応実施
12	職場巡視 腰痛ラウンドの実施、温湿度測定
13	労働災害防止対策 労災発生の報告に対して調査・介入（随時） 2017.4～ * 図18-1～18-7、表15-1～15-7
14	ハラスメント対策 研修会の開催や啓蒙活動の企画・検討
15	保健指導（特定保健指導含む） 対象者への指導勧奨継続、健保組合との連携強化、特保システム導入2021.10～
16	広報活動 安全衛生通信発行（毎月）、各種イベント・勉強会案内（随時）
C その他	
1	エイズキャンペーン ポスター掲示など啓蒙活動実施
2	全国安全週間 7月1日～7月7日（6月1日～6月30日は準備期間）
3	全国労働衛生週間 10月1日～10月7日（9月1日～9月30日は準備期間）
4	年末年始無災害運動 12月1日～1月15日

表2

メンバー	
管 理 部	寺田 文彦
医 師 (産 業 医)	北村 龍彦
医 師	浅羽 宏一
看 護 部	中島 久美
画像診断部	佐野 寿人
臨床栄養部	内山 里美
臨床検査部	水田 綾香
総 務 課	山村 純子
健康管理センター	村上 麻世
健康管理センター	林本 千紘
健康管理センター	藤野 朋子
理学療法科 (リハ)	高芝 潤
看 護 部 (リハ)	植田 彩子

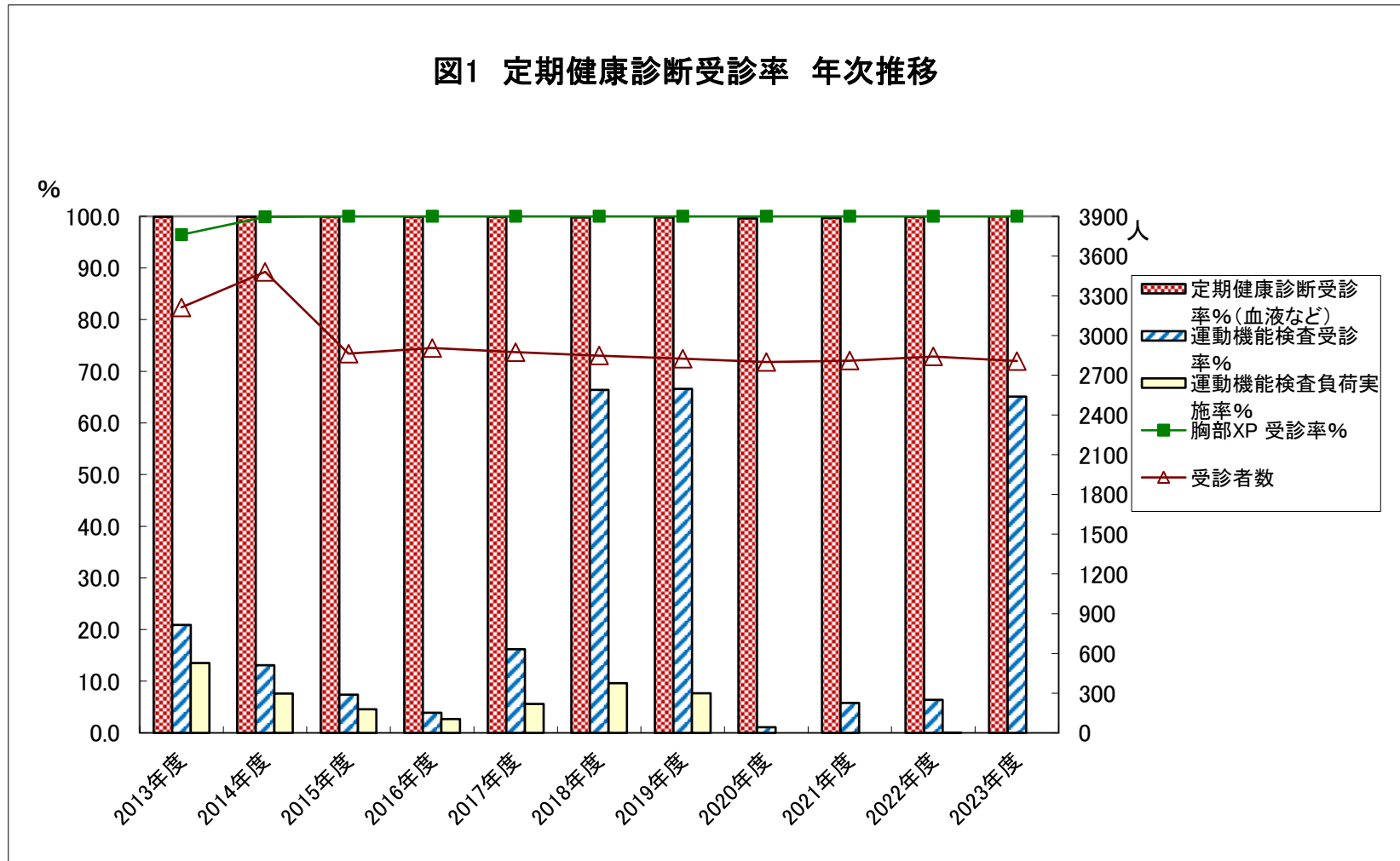
オブザーバー	
看 護 部	西村 剛
理学療法科	前田 秀博
薬 剤 部	丸岡 由貴
医 事 課	上甲 浩道
施設用度課	宮下 公将
健康管理センター	山中 真理菜
健康管理センター	坂本 悠
健康管理センター	小笠原 夕貴
看 護 部 (リハ)	岡本 真由美
理学療法科 (リハ)	岩佐 恵子
看 護 部 (オルソ)	中谷 明未
理学療法科 (オルソ)	塩田 直隆
理学療法科 (オルソ)	小松 弘典
健康保健組合	小松 左和
ファミリー	西岡 由江

* 2024年3月時点

表3 定期健康診断受診率の年次推移(オルソ・ファミリー高知含む)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
定期健康診断対象者数	3226	3485	2867	2907	2877	2856	2832	2810	2820	2843	2807
受診者数	3213	3481	2864	2906	2874	2849	2825	2800	2811	2842	2807
定期健康診断受診率%(血液など)	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.8	99.8	99.6	99.7	99.9	100
運動機能検査受診率%	20.9	13.1	7.4	3.9	16.2	66.4	66.6	1.1	5.8	6.4	65.1
運動機能検査負荷実施率%	13.5	7.6	4.6	2.7	5.6	9.6	7.7	0	0	0.04	0
胸部XP 対象者数	1632	1766	1906	1943	1929	1898	1879	1854	1853	1869	1862
胸部XP 受診者数	1574	1765	1906	1943	1929	1898	1879	1854	1853	1869	1862
胸部XP 受診率%	96.4	99.9	100	100	100	100	100	100	100	100	100

図1 定期健康診断受診率 年次推移



※2015年度より健診運用見直し→上期:全職員、下期:特定業務従事者のみとした。
健康診断受診率は100%となった。2023年度は運動機能検査推進(握力:全職員、閉眼片足立ち:50代以上の職員)とした。

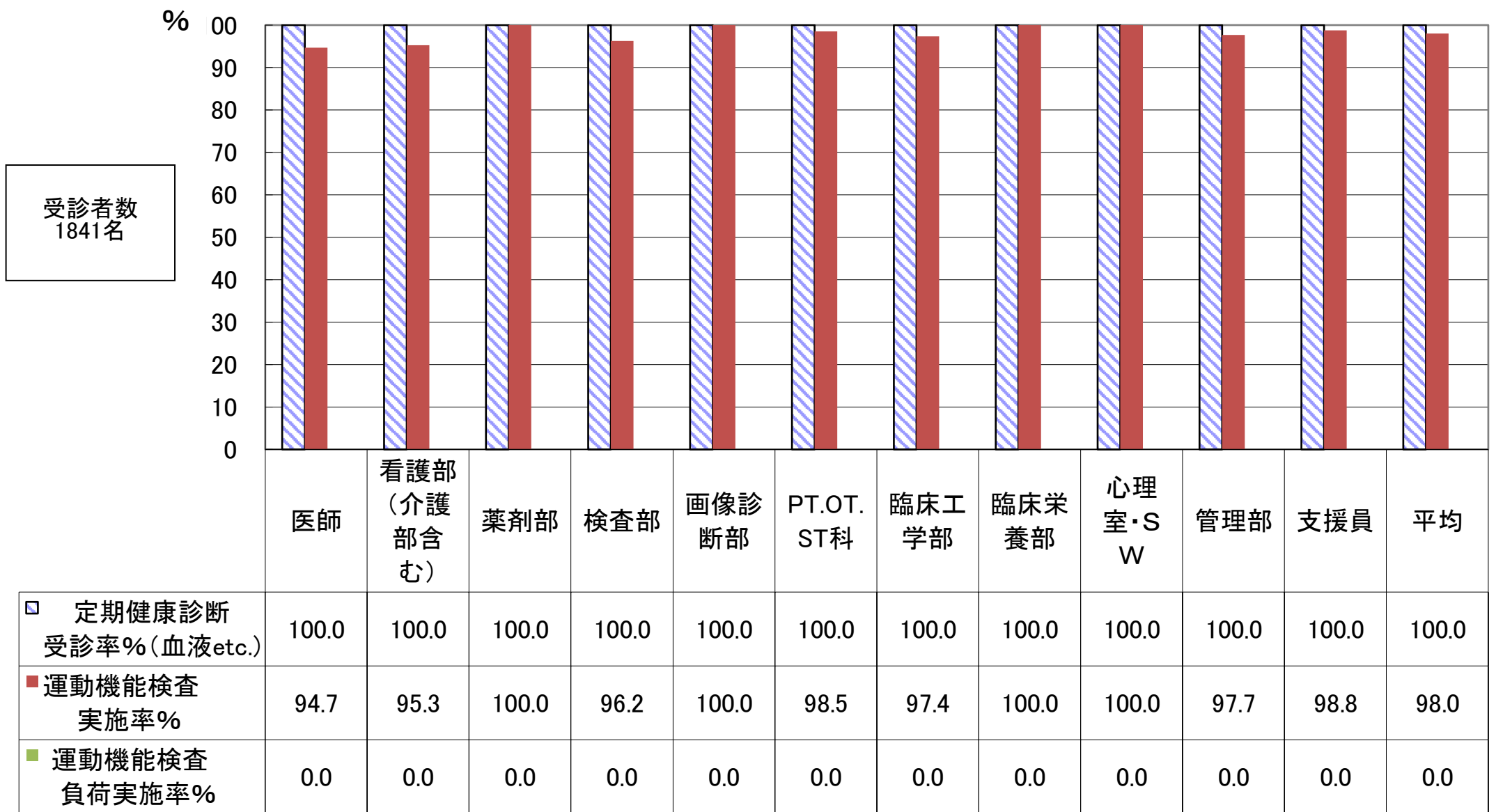
表4-1
定期健康診断所属別実施率(2023年上期)

所属	対象者数	受診者数	運動機能検査	
			実施者	負荷あり
医師	169	169	160	0
看護部(介護部含む)	828	828	789	0
薬剤部	45	45	45	0
検査部	53	53	51	0
画像診断部	34	34	34	0
PT.OT.ST科	271	271	267	0
臨床工学部	38	38	37	0
臨床栄養部	31	31	31	0
心理室・SW	31	31	31	0
管理部	259	259	253	0
支援員	82	82	81	0
合計	1841	1841	1779	0

表4-2

所属	運動機能検査		
	定期健康診断 受診率%(血液etc.)	運動機能検査 実施率%	運動機能検査 負荷実施率%
医師	100.0	94.7	0.0
看護部(介護部含む)	100.0	95.3	0.0
薬剤部	100.0	100.0	0.0
検査部	100.0	96.2	0.0
画像診断部	100.0	100.0	0.0
PT.OT.ST科	100.0	98.5	0.0
臨床工学部	100.0	97.4	0.0
臨床栄養部	100.0	100.0	0.0
心理室・SW	100.0	100.0	0.0
管理部	100.0	97.7	0.0
支援員	100.0	98.8	0.0
平均	100.0	98.0	0.0

図2 近森会グループ 定期健康診断所属別実施率 (2023年上期)



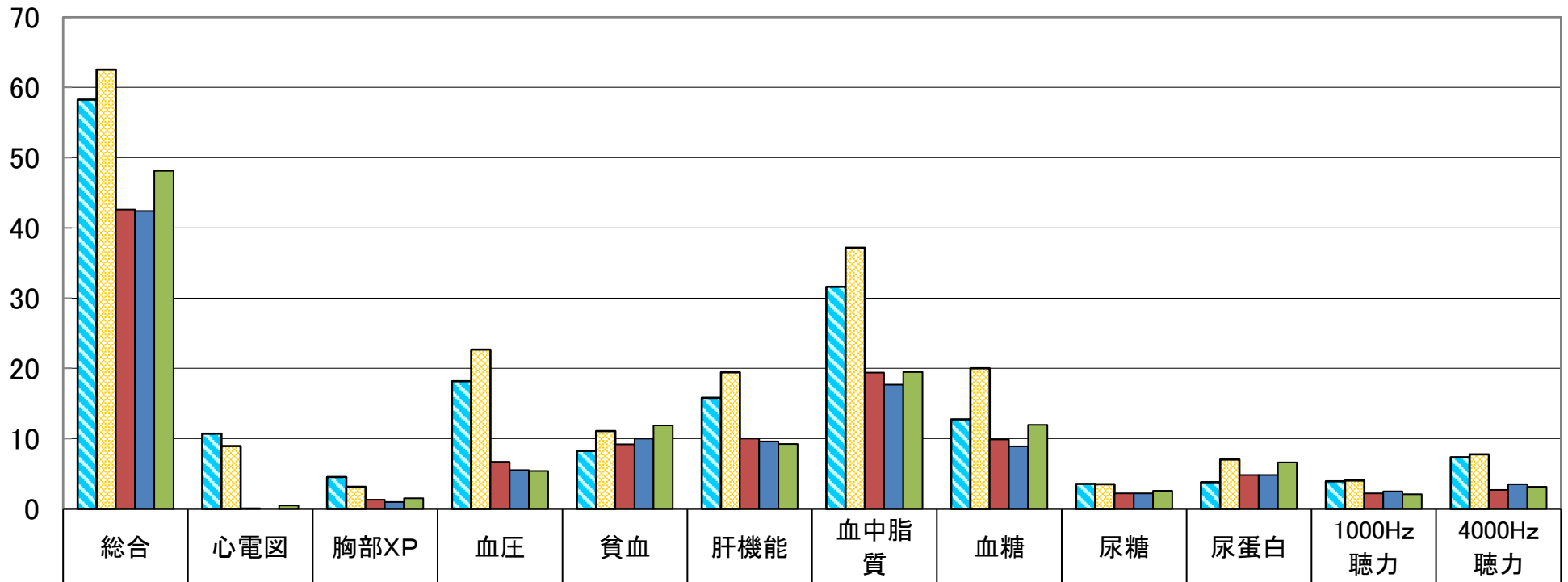
定期健康診断受診率:全ての部署が100%

運動機能検査実施率:握力検査は全職員対象、閉眼片足立ちは50代以上の職員対象に実施(その他は休止)

運動負荷検査実施率:新型コロナウイルス感染のリスクを下げるために運動負荷検査の実施勧奨を全面中止。

図3 定期健康診断項目別有所見率の比較(全国・高知県・近森会グループ)

%



●総合での有所見率: 近森会グループの有所見率は高くなっているが、全国・高知県よりは低い(高知県62.6、全国58.3、近森会G48.1)

●項目別の有所見率

全国と比較して低い項目→血圧・血中脂質・肝機能など

全国と比較して高い項目→貧血

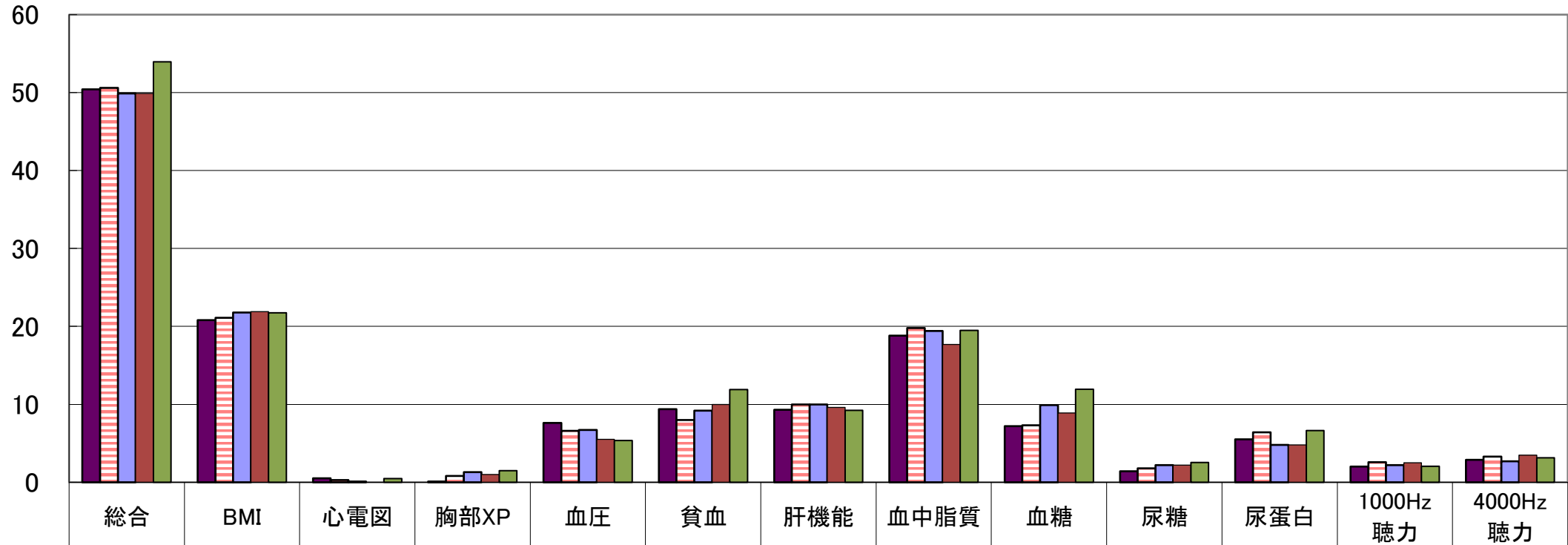
※考えられる理由・・・近森会Gの特性: 39歳以下の職員、女性の職員が多い職場である。

(男女比=約3:7、年齢比(39歳以下:40歳以上)=約6:4、平均年齢=38.4歳)

図4 定期健康診断 項目別有所見率の年次推移(近森会グループ)

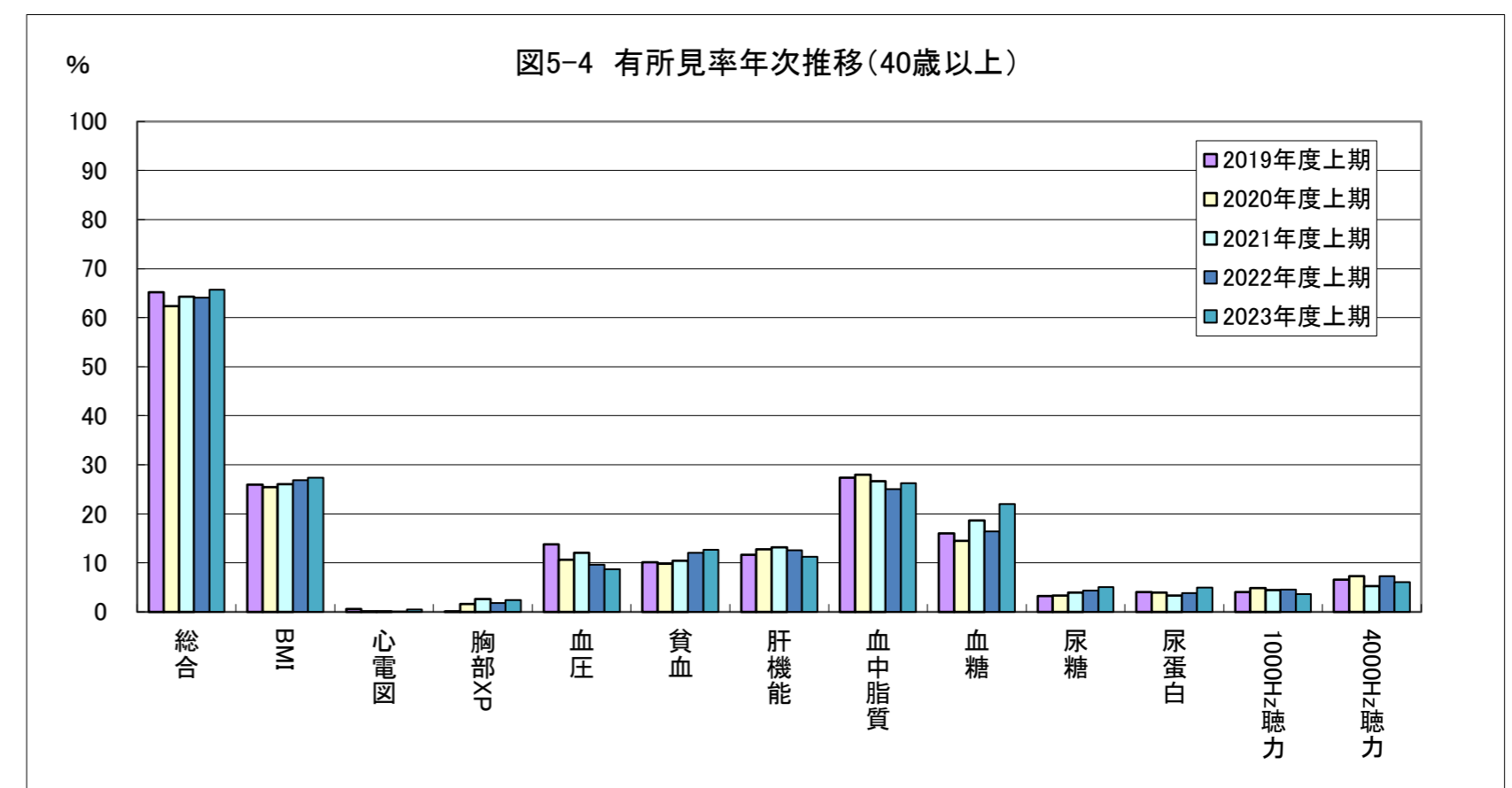
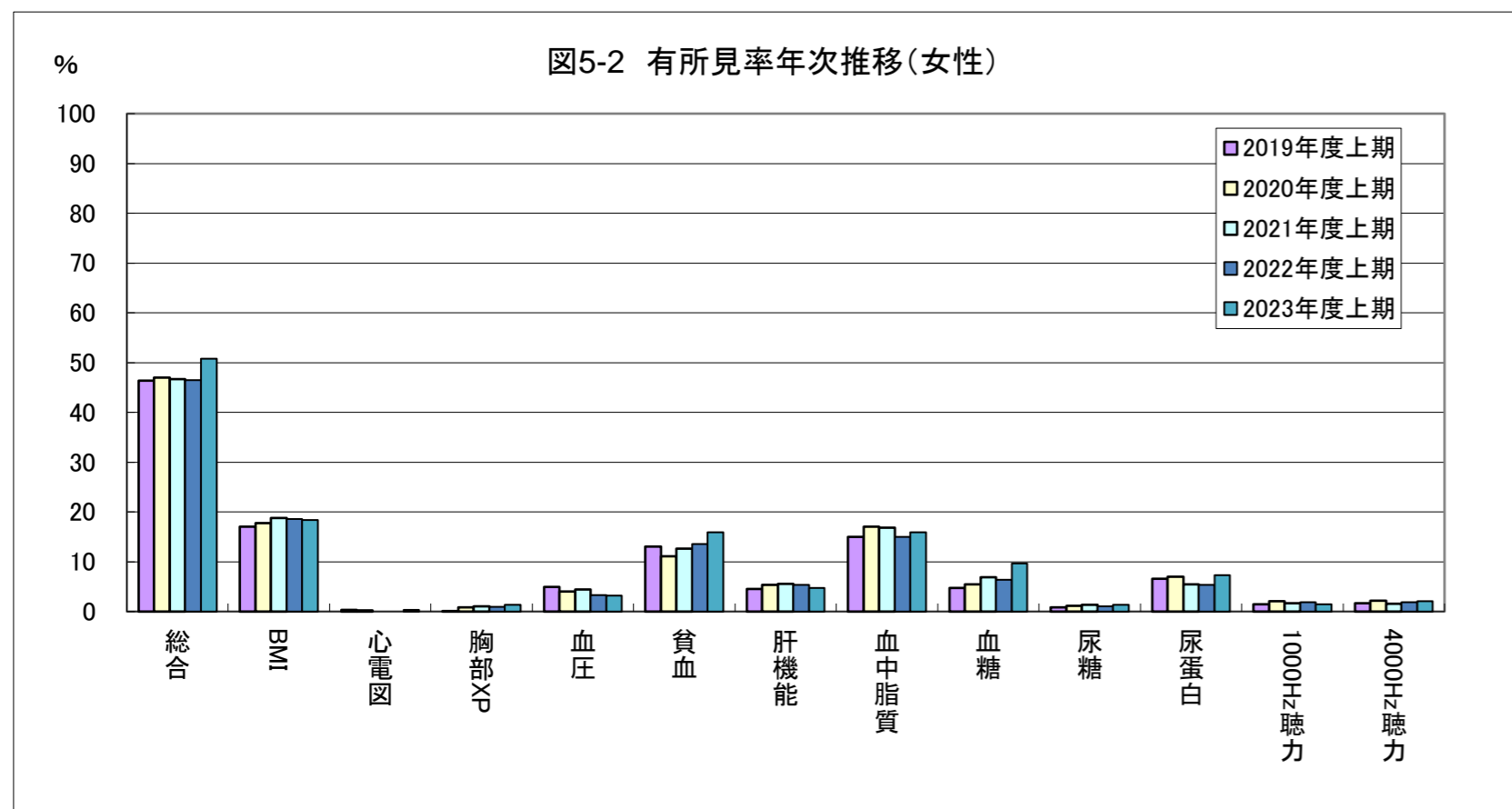
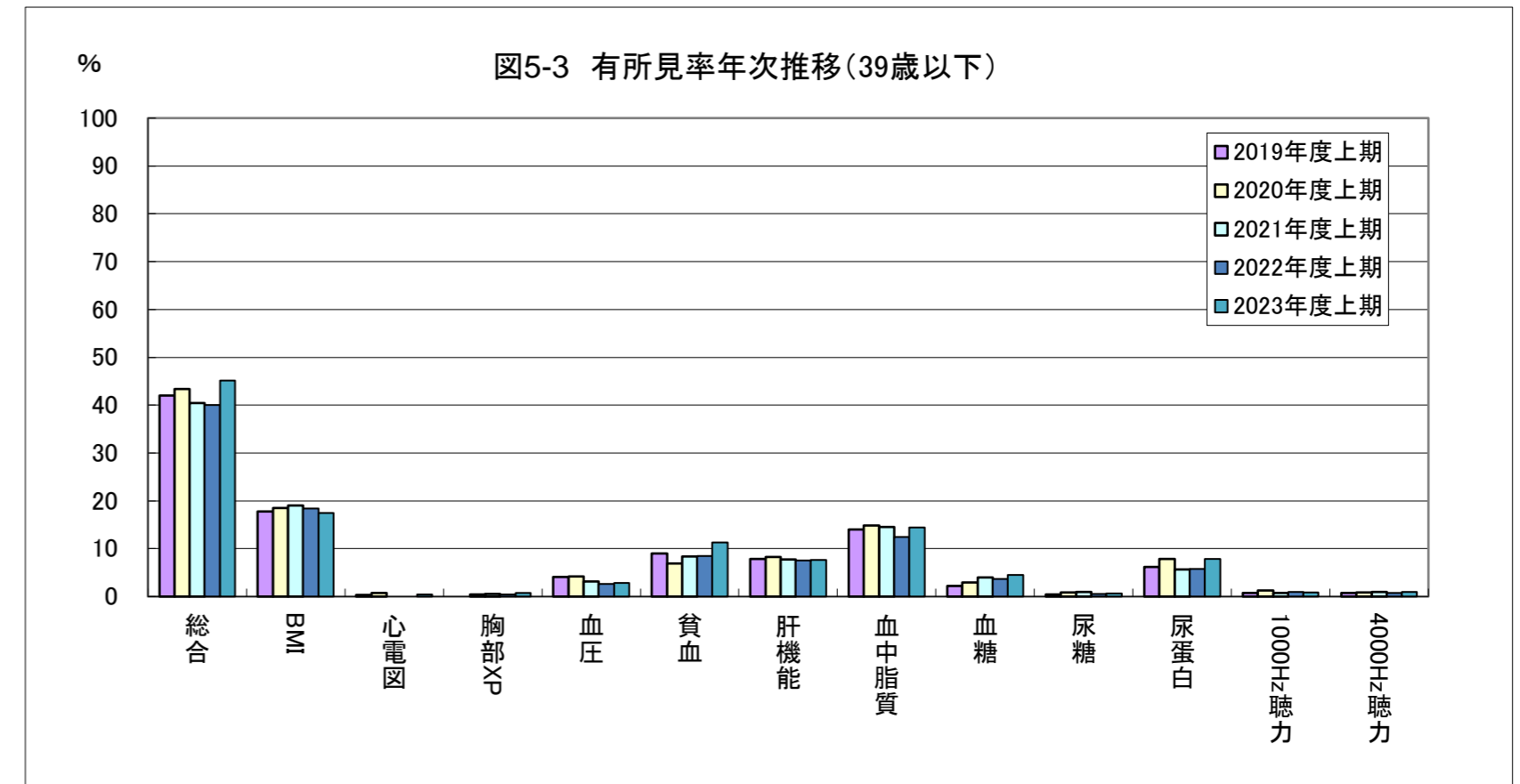
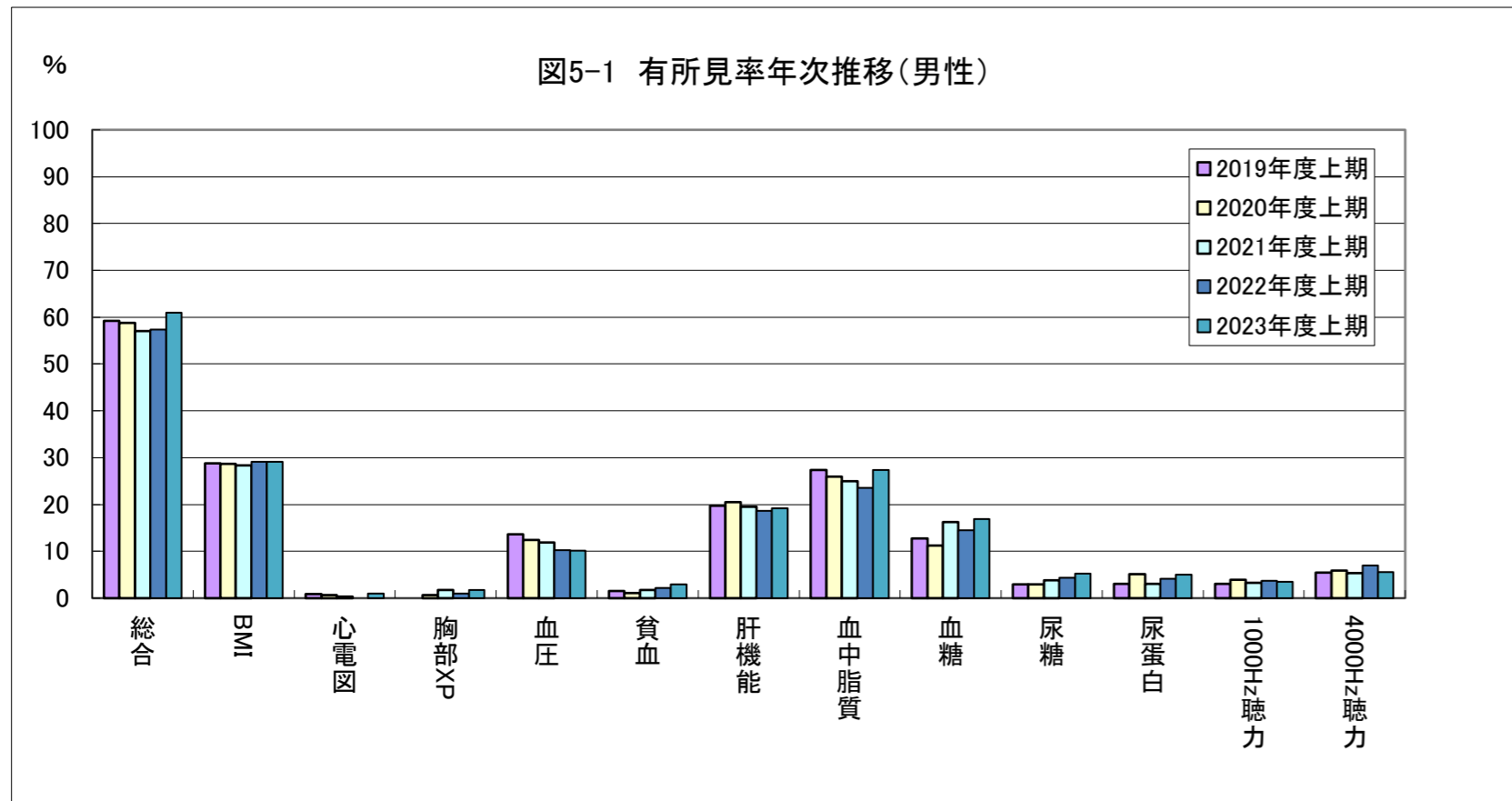
近森会G オリジナル

%



- 総合での有所見率;例年に比べて少し高くなっている
- 項目別での有所見率;昨年度とほぼ同じ傾向
 - ・BMI、血中脂質、貧血、肝機能、血糖が高い
- 経年での傾向
 - ・BMI、肝機能は横ばい傾向
 - ・血中脂質、貧血、血糖は増加傾向

定期健康診断 「性別・年代別比較」



- 全体的に有所見率が高くなっている。
- 傾向は例年同様。
 - ・男性の有所見率が高い
 - ・40歳以上の有所見率が高い
 - ・男性→BMI・血圧・血中脂質・肝機能・血糖が高い、女性→BMI・脂質・貧血が高い
- 女性の貧血対策の継続、中高年(特に男性)を中心にした生活習慣病対策に加え、早期からの健康意識の向上(39歳以下の有所見の低減)が重要と考える。

「メタボリックシンドローム年次推移(40代以上)」

図6-1メタボリックシンドローム該当者の年次推移(40代以上)

メタボリックシンドローム「予備軍」「有病者」の定義

<必須項目>

ウエスト周囲径 男性 $\geq 85\text{cm}$
女性 $\geq 90\text{cm}$

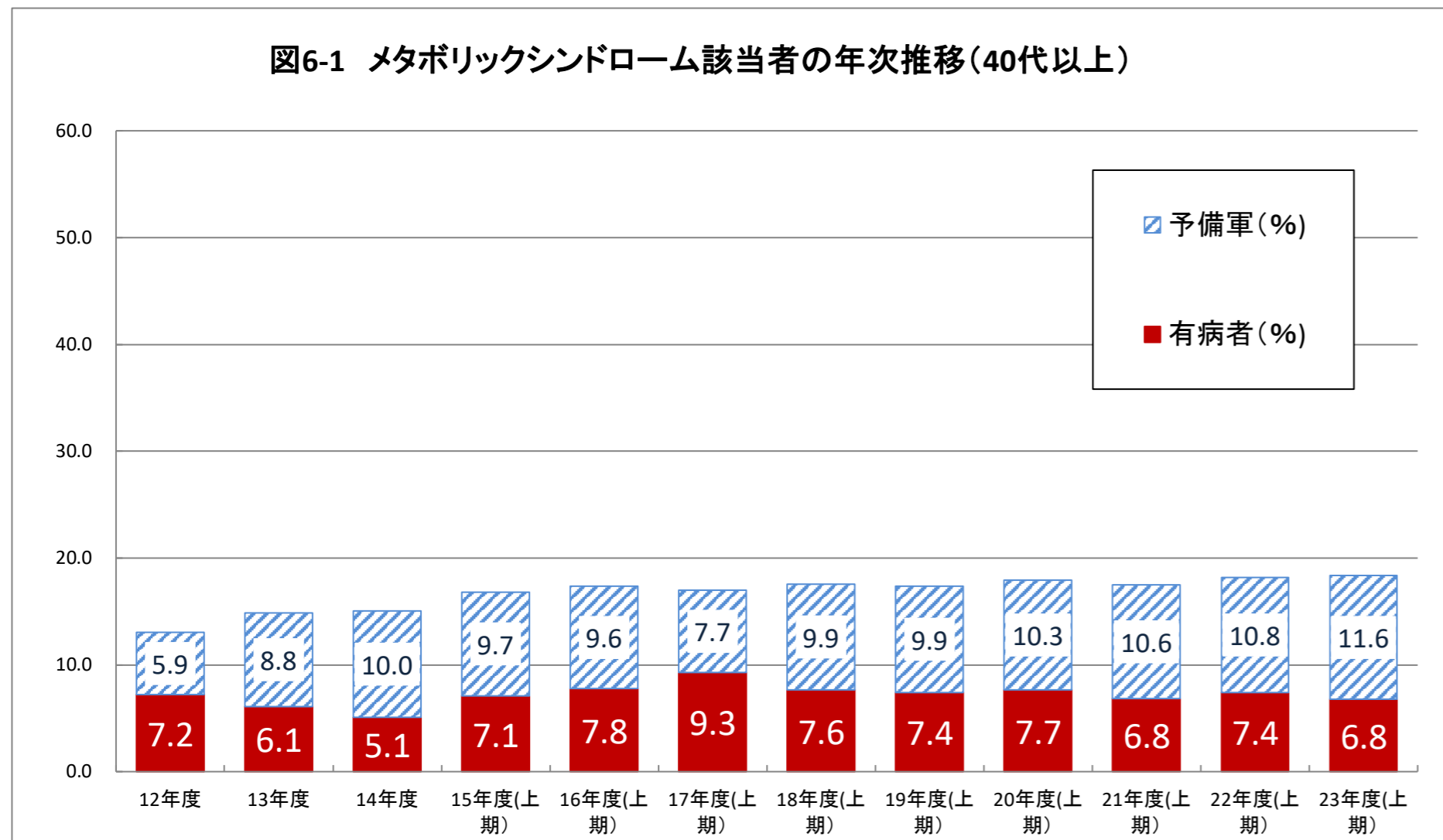
<選択項目>

高トリグリセライド血症 $\geq 150\text{mg/dl}$
かつ、または
低HDLコレステロール血症 $< 40\text{mg/dl}$

収縮期血圧 $\geq 130\text{mg/dl}$
かつ、または
拡張期血圧 $\geq 85\text{mg/dl}$

空腹時血糖値 $\geq 110\text{mg/dl}$

※必須項目を満たし、選択項目を1つ満たしているものを「予備軍」、2~3つ満たしているものを「有病者」とする。



有病者および予備軍に該当する者が男性に多い傾向は例年同様であり、全体としてほぼ横ばい

↓

リスクグループのみでなく、職員全体へのポピュレーションアプローチによる生活習慣の見直しの強化が必要

表5-1

40代以上	12年度	13年度	14年度	15年度(上期)	16年度(上期)	17年度(上期)	18年度(上期)	19年度(上期)	20年度(上期)	21年度(上期)	22年度(上期)	23年度(上期)
有病者	59	57	47	46	52	64	53	53	59	54	60	56
予備軍	48	82	92	63	64	53	69	71	79	84	87	96
非該当者+腹囲正常者	713	796	785	539	553	572	572	590	632	652	662	676
計	820	935	924	648	669	689	694	714	770	790	809	828

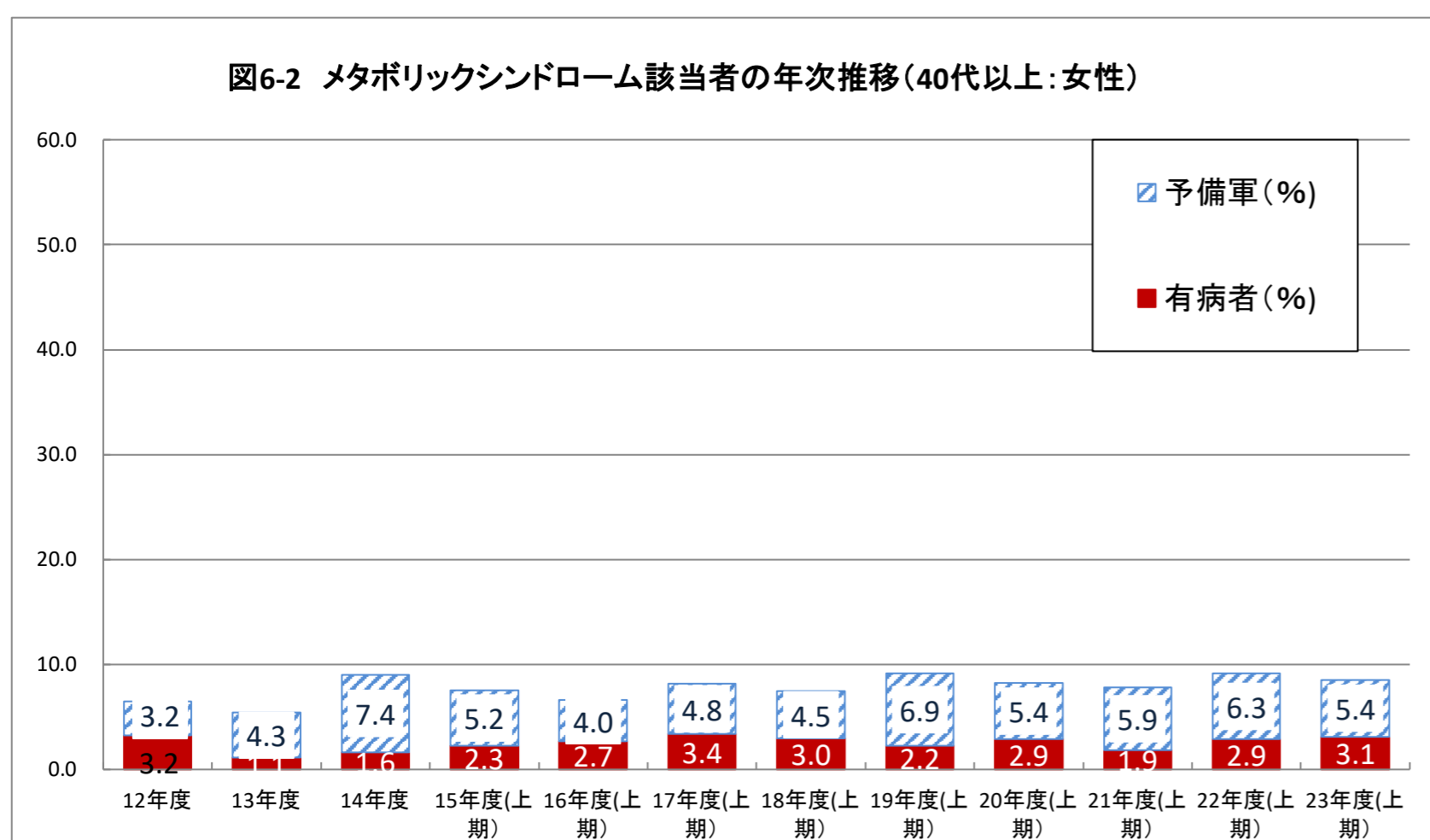


表5-2

40代以上女性	12年度	13年度	14年度	15年度(上期)	16年度(上期)	17年度(上期)	18年度(上期)	19年度(上期)	20年度(上期)	21年度(上期)	22年度(上期)	23年度(上期)
有病者	18	7	12	10	12	16	14	11	15	10	16	18
予備軍	18	27	54	23	18	23	21	34	28	32	35	31
非該当者+腹囲正常者	519	593	665	406	422	437	435	447	479	497	507	525
計	555	627	731	439	452	476	470	492	522	539	558	574

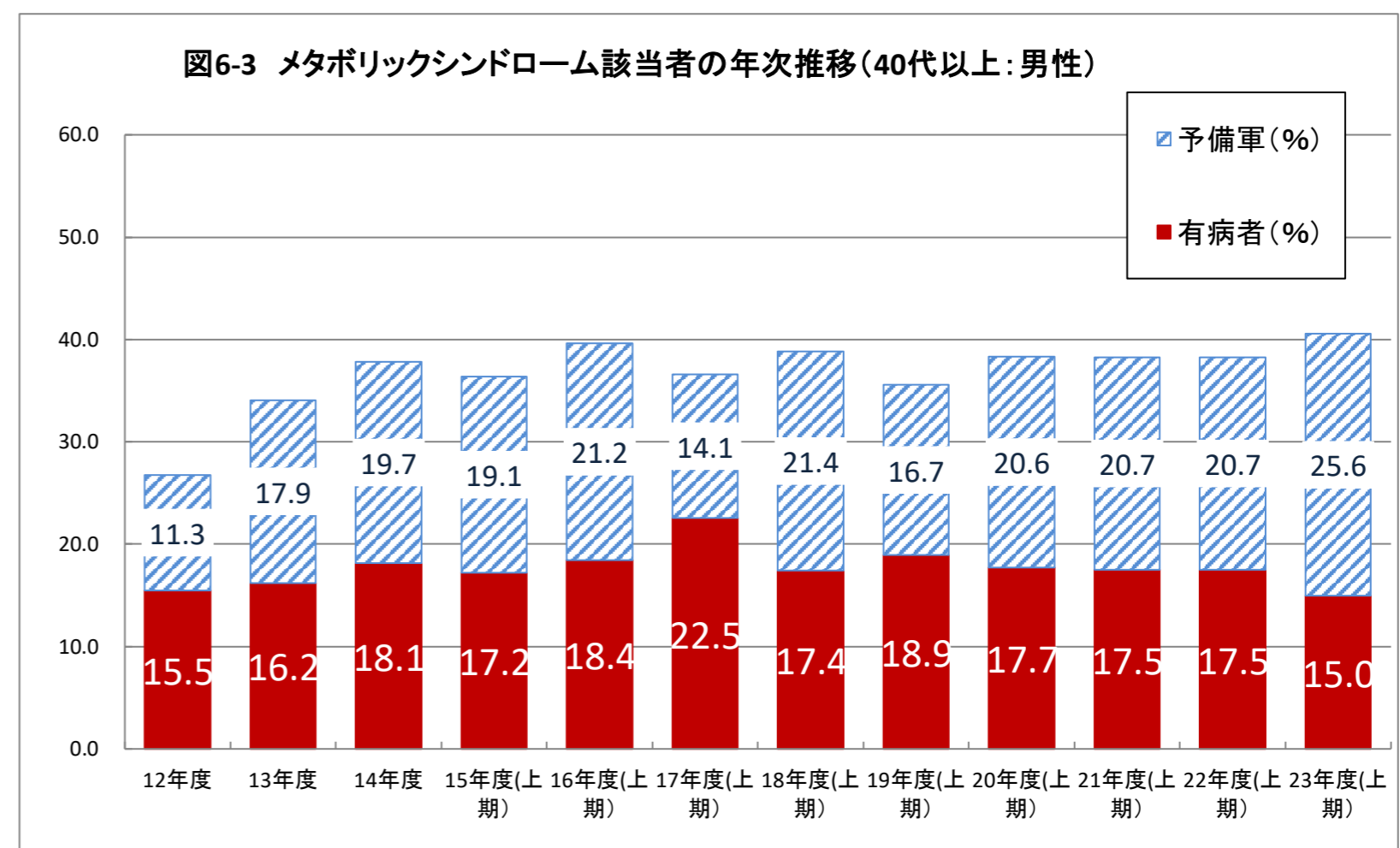


表5-3

40代以上男性	12年度	13年度	14年度	15年度(上期)	16年度(上期)	17年度(上期)	18年度(上期)	19年度(上期)	20年度(上期)	21年度(上期)	22年度(上期)	23年度(上期)
有病者	41	50	35	36	40	48	39	42	44	44	44	38
予備軍	30	55	38	40	46	30	48	37	51	52	52	65
非該当者+腹囲正常者	194	203	120	133	131	135	137	143	153	155	155	151
計	265	308	193	209	217	213	224	222	248	251	251	254

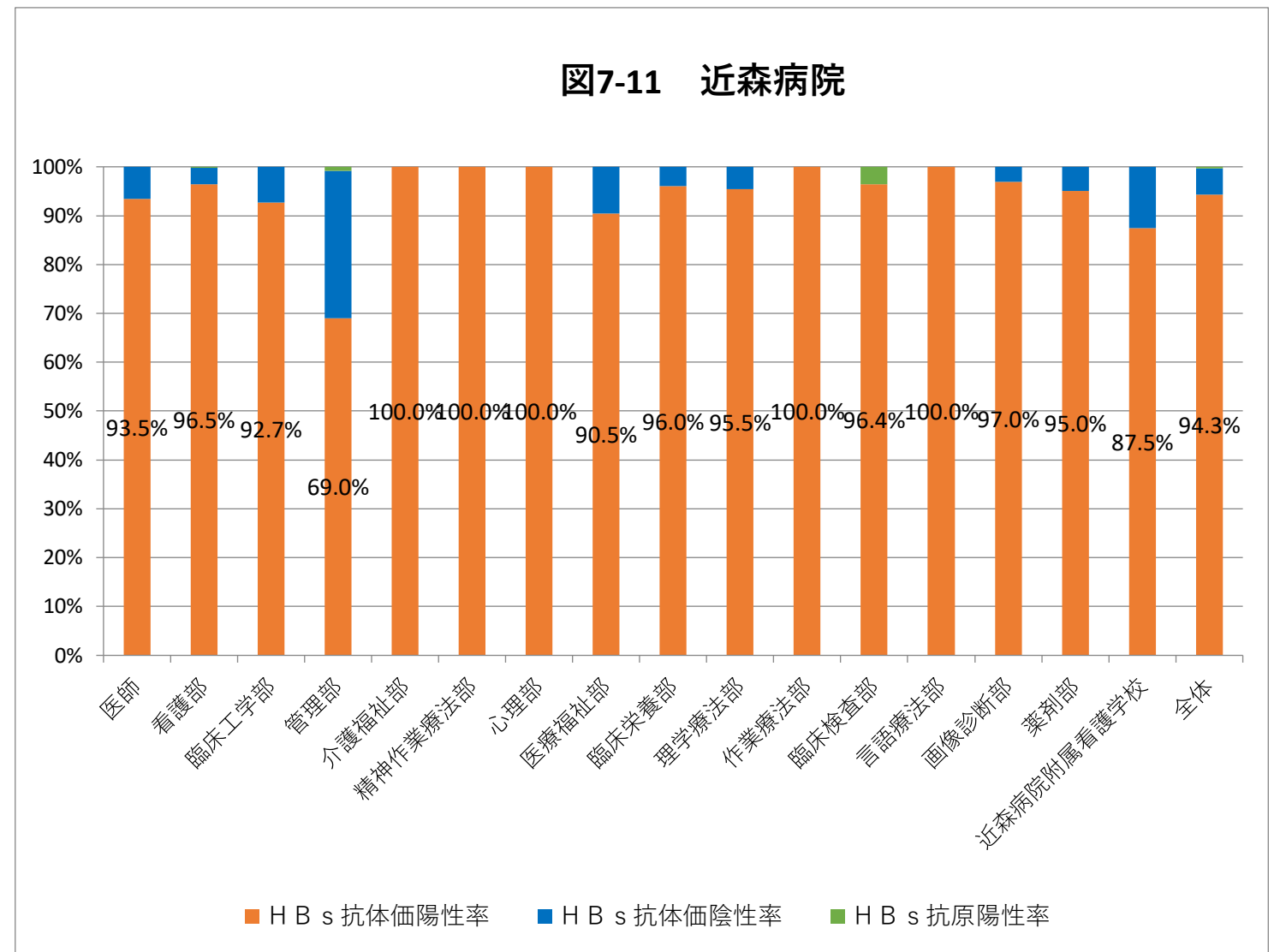
HBs抗体陽性率

2024/2時点

●近森病院

表6-10

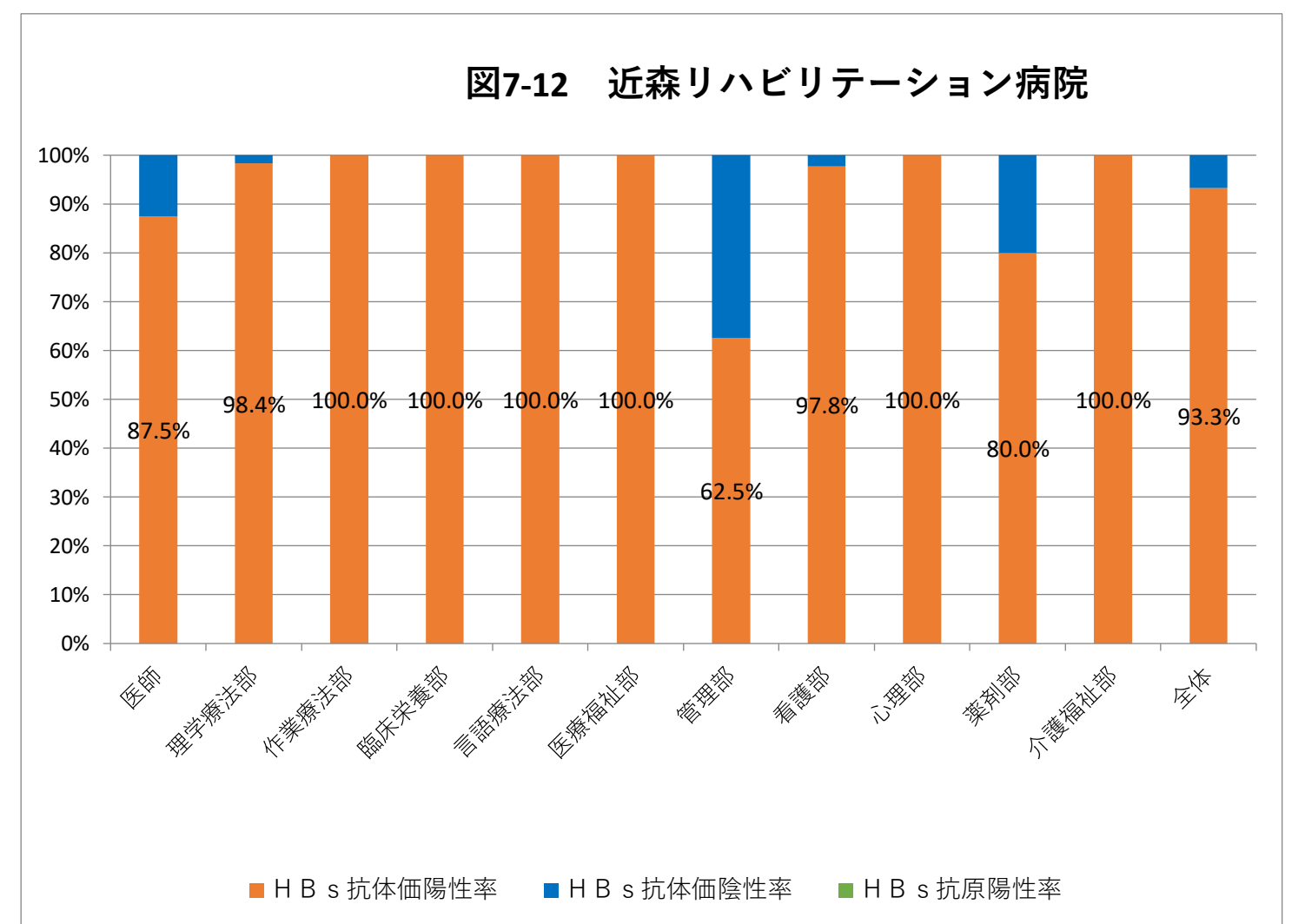
	HBs抗体陽性者数	HBs抗体陰性者数	HBs抗原陽性者数	職員数	HBs抗体価陽性率	HBs抗体価陰性率	HBs抗原陽性率
医師	143	10	0	153	93.5%	6.5%	0.0%
看護部	600	21	1	622	96.5%	3.4%	0.2%
臨床工学部	38	3	0	41	92.7%	7.3%	0.0%
管理部	156	68	2	226	69.0%	30.1%	0.9%
介護福祉部	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%
精神作業療法部	5	0	0	5	100.0%	0.0%	0.0%
心理部	3	0	0	3	100.0%	0.0%	0.0%
医療福祉部	19	2	0	21	90.5%	9.5%	0.0%
臨床栄養部	24	1	0	25	96.0%	4.0%	0.0%
理学療法部	63	3	0	66	95.5%	4.5%	0.0%
作業療法部	23	0	0	23	100.0%	0.0%	0.0%
臨床検査部	54	0	2	56	96.4%	0.0%	3.6%
言語療法部	9	0	0	9	100.0%	0.0%	0.0%
画像診断部	32	1	0	33	97.0%	3.0%	0.0%
薬剤部	38	2	0	40	95.0%	5.0%	0.0%
近森病院附属看護学校	14	2	0	16	87.5%	12.5%	0.0%
全体	1223	113	5	1341	94.3%	5.4%	0.3%



●近森リハビリテーション病院

表6-11

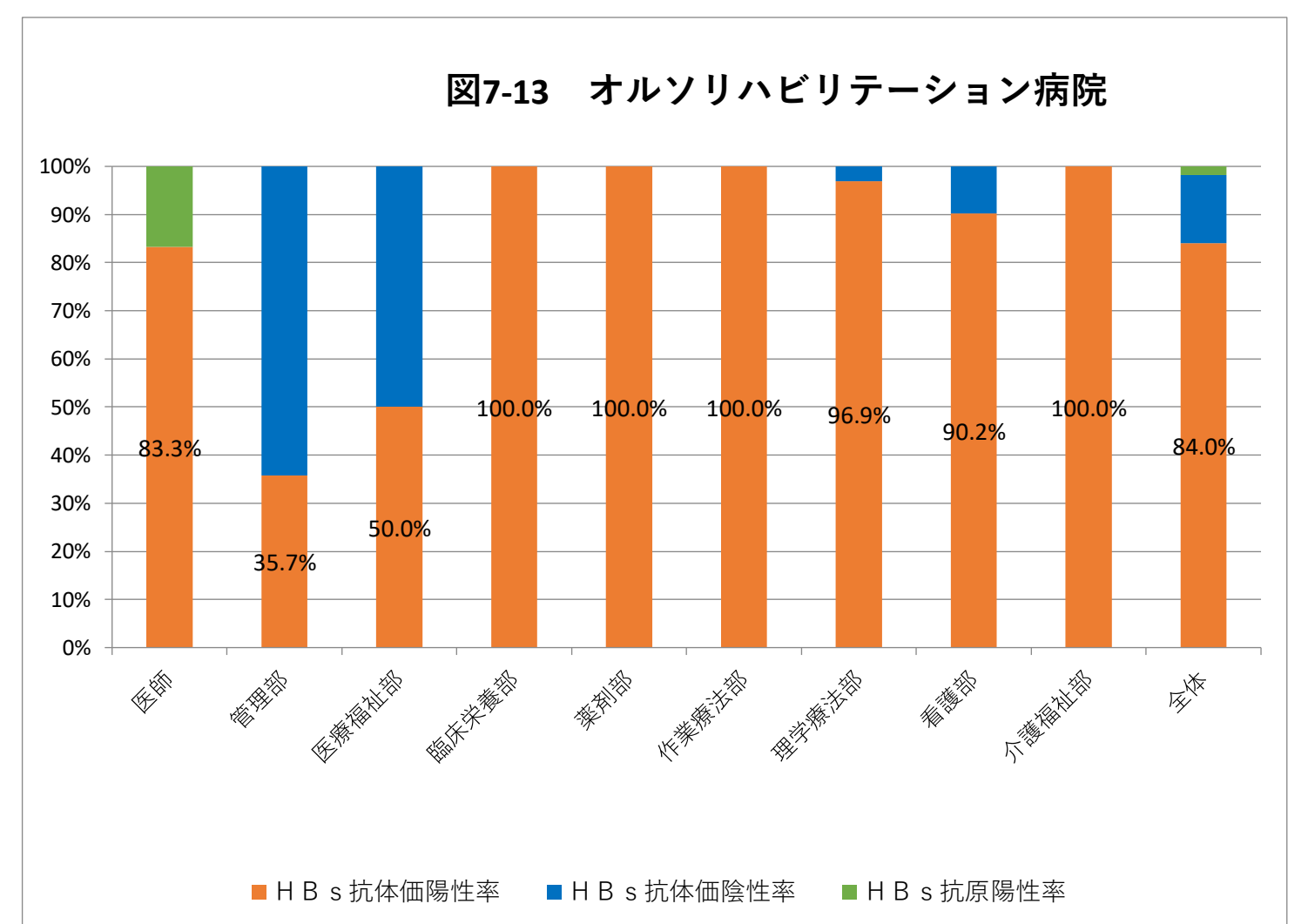
	HBs抗体陽性者数	HBs抗体陰性者数	HBs抗原陽性者数	職員数	HBs抗体価陽性率	HBs抗体価陰性率	HBs抗原陽性率
医師	7	1	0	8	87.5%	12.5%	0.0%
理学療法部	60	1	0	61	98.4%	1.6%	0.0%
作業療法部	48	0	0	48	100.0%	0.0%	0.0%
臨床栄養部	5	0	0	5	100.0%	0.0%	0.0%
言語療法部	21	0	0	21	100.0%	0.0%	0.0%
医療福祉部	6	0	0	6	100.0%	0.0%	0.0%
管理部	5	3	0	8	62.5%	37.5%	0.0%
看護部	87	2	0	89	97.8%	2.2%	0.0%
心理部	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%
薬剤部	4	1	0	5	80.0%	20.0%	0.0%
介護福祉部	28	0	0	28	100.0%	0.0%	0.0%
全体	273	8	0	281	93.3%	6.7%	0.0%



●オルソリハビリテーション病院

表6-12

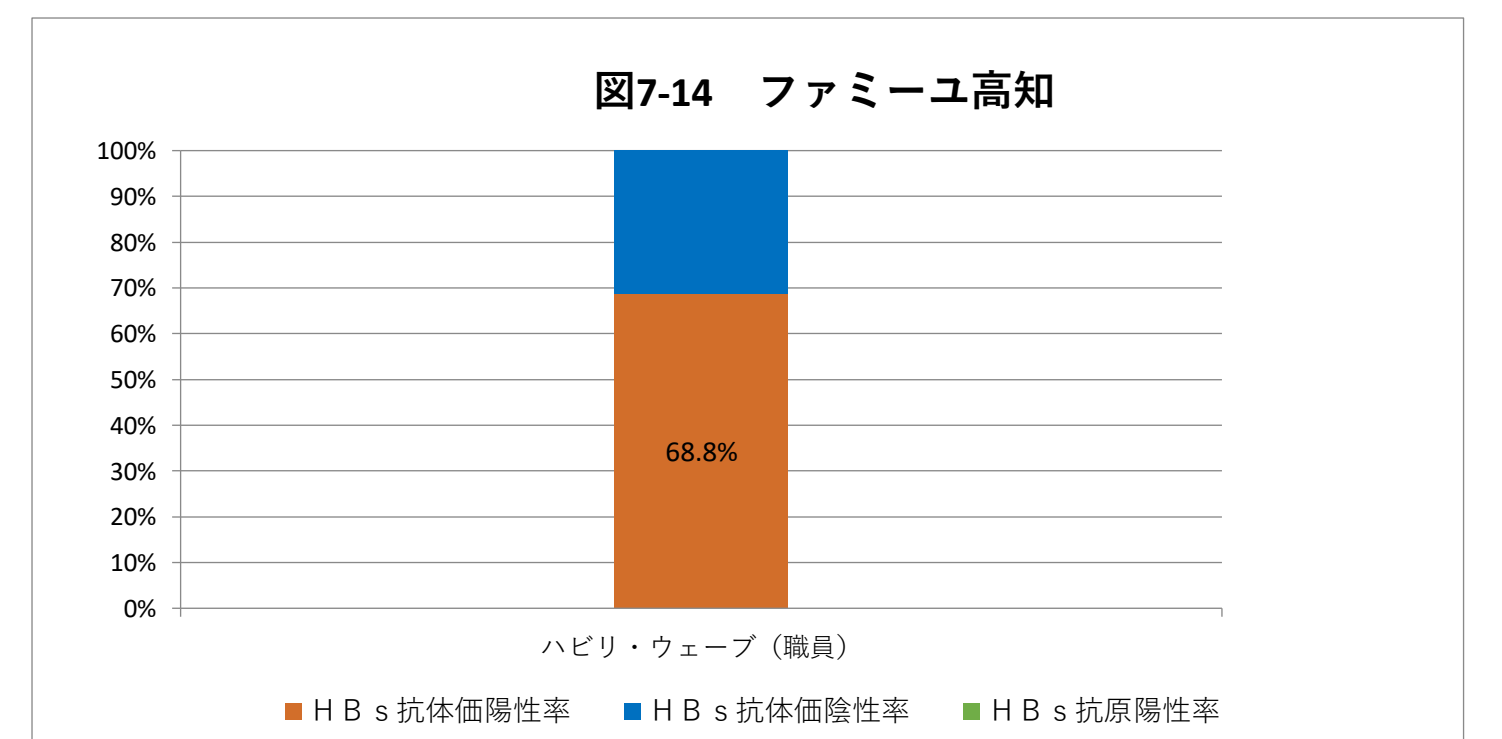
	HBs抗体陽性者数	HBs抗体陰性者数	HBs抗原陽性者数	職員数	HBs抗体価陽性率	HBs抗体価陰性率	HBs抗原陽性率
医師	5	0	1	6	83.3%	0.0%	16.7%
管理部	5	9	0	14	35.7%	64.3%	0.0%
医療福祉部	1	1	0	2	50.0%	50.0%	0.0%
臨床栄養部	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%
薬剤部	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%
作業療法部	7	0	0	7	100.0%	0.0%	0.0%
理学療法部	31	1	0	32	96.9%	3.1%	0.0%
看護部	55	6	0	61	90.2%	9.8%	0.0%
介護福祉部	8	0	0	8	100.0%	0.0%	0.0%
全体	116	17	1	134	84.0%	14.1%	1.9%



●ファミリー高知

表6-13

	HBs抗体陽性者数	HBs抗体陰性者数	HBs抗原陽性者数	職員数	HBs抗体価陽性率	HBs抗体価陰性率	HBs抗原陽性率
ハビリ・ウェーブ(職員)	55	25	0	80	68.8%	31.3%	0.0%
全体	55	25	0	80	68.8%	31.3%	0.0%



■インフルエンザワクチン接種■

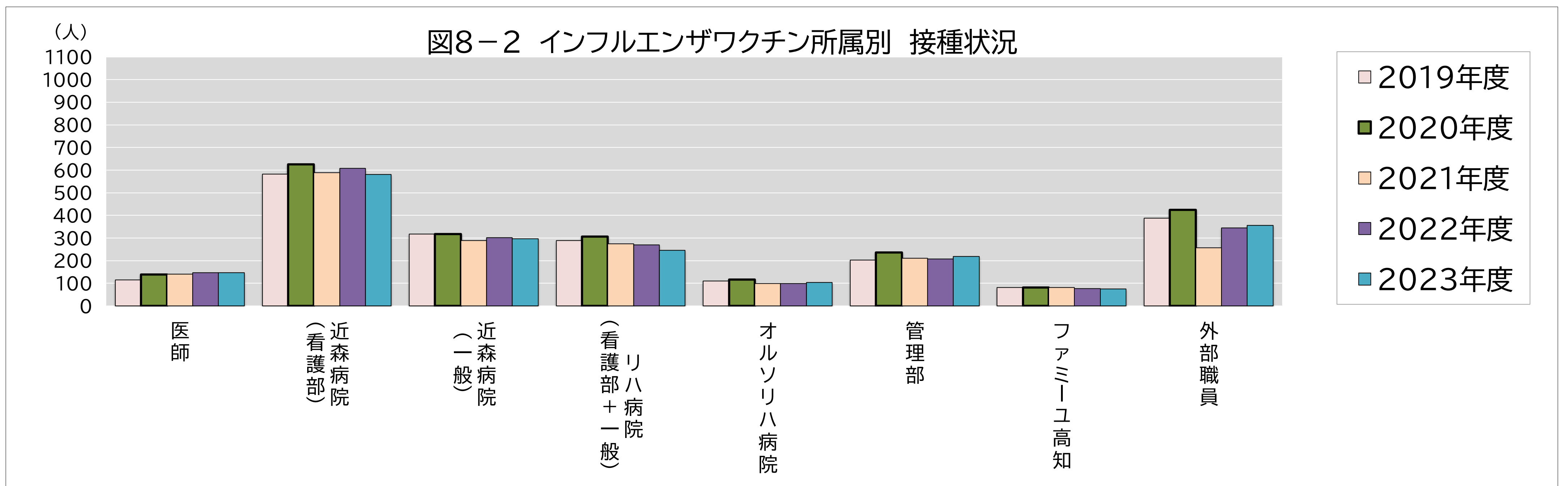
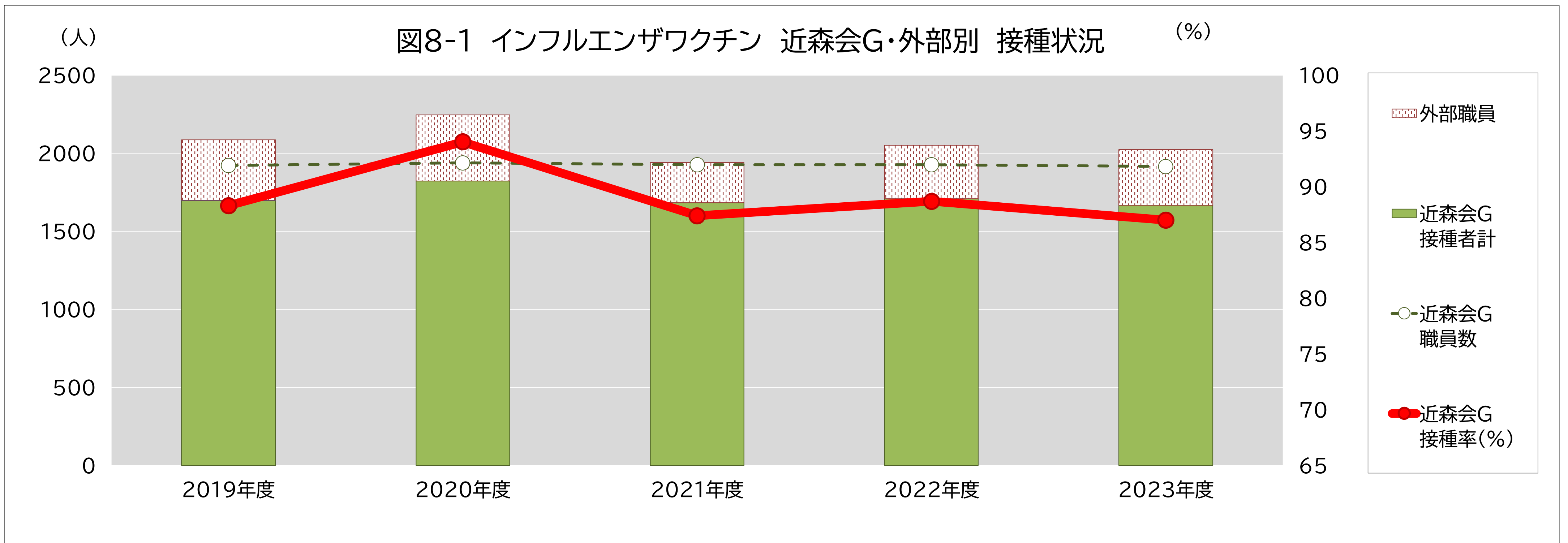


表7-1 接種者数の推移

所属、部署など	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
医師	115	138	141	146	147
近森病院 (看護部)	583	625	589	608	580
近森病院 (一般)	318	318	288	301	297
リハ病院 (看護部+一般)	288	307	275	269	246
オルソリハ病院	110	117	99	99	103
管理部	202	236	211	208	219
ファミージュ高知	82	82	81	77	75
外部職員	387	424	257	344	356
近森会G 接種者計	1698	1823	1684	1708	1667
接種者 総合計	2085	2247	1941	2052	2023
近森会G 接種率 (%)	88.3	94.0	87.4	88.7	87.0

図8-3 インフルエンザワクチン 所属別 割合 (%)

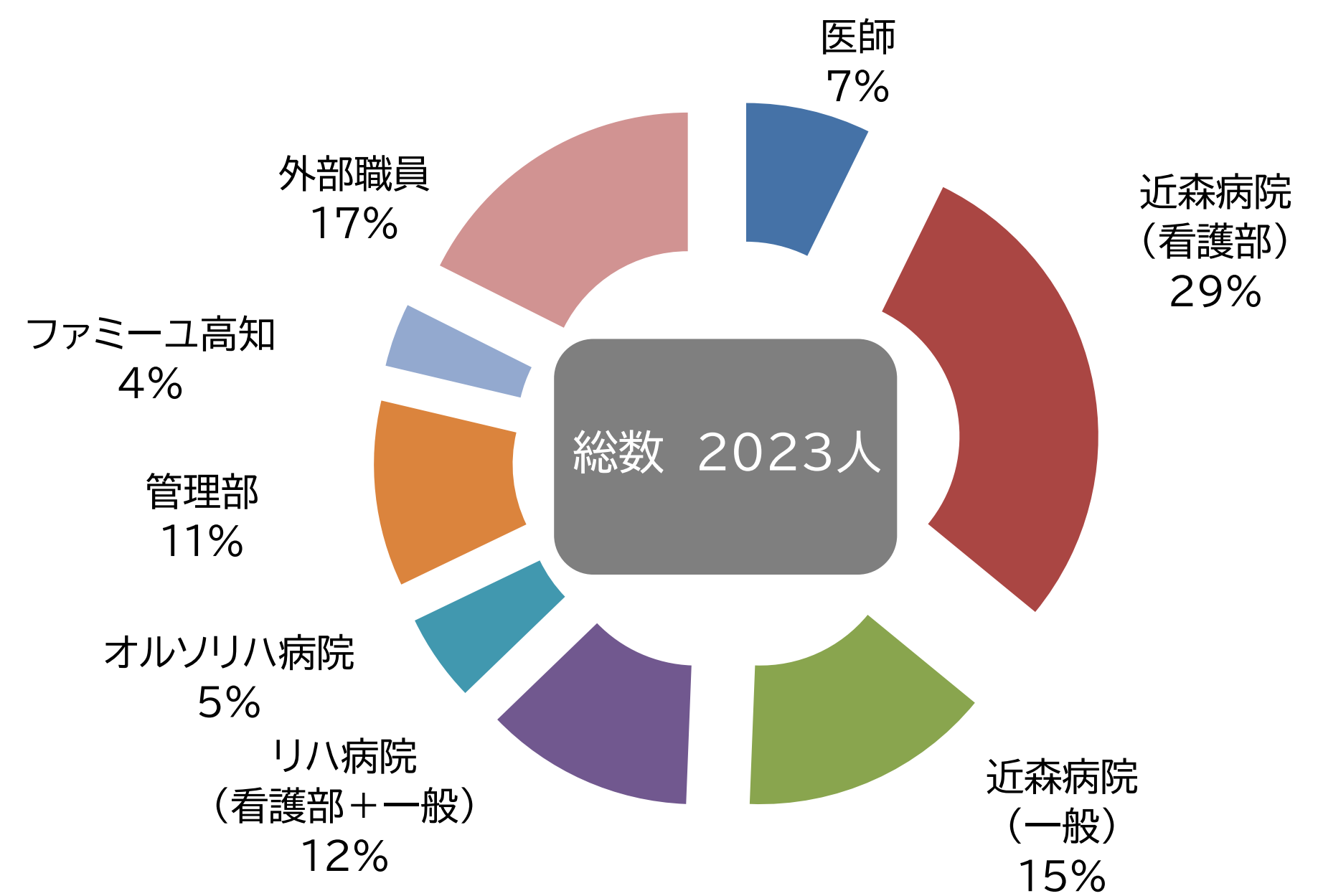


表7-2 病院別接種率

2023年	近森病院 (管理部含む)	リハ病院	オルソリハ病院	ファミージュ高知	近森会G 合計
対象者	1415	282	122	97	1916
接種者	1231	253	108	75	1667
接種率 (%)	87.0	89.7	88.5	77.3	87.0

図8-4 インフルエンザワクチン 病院別 接種状況

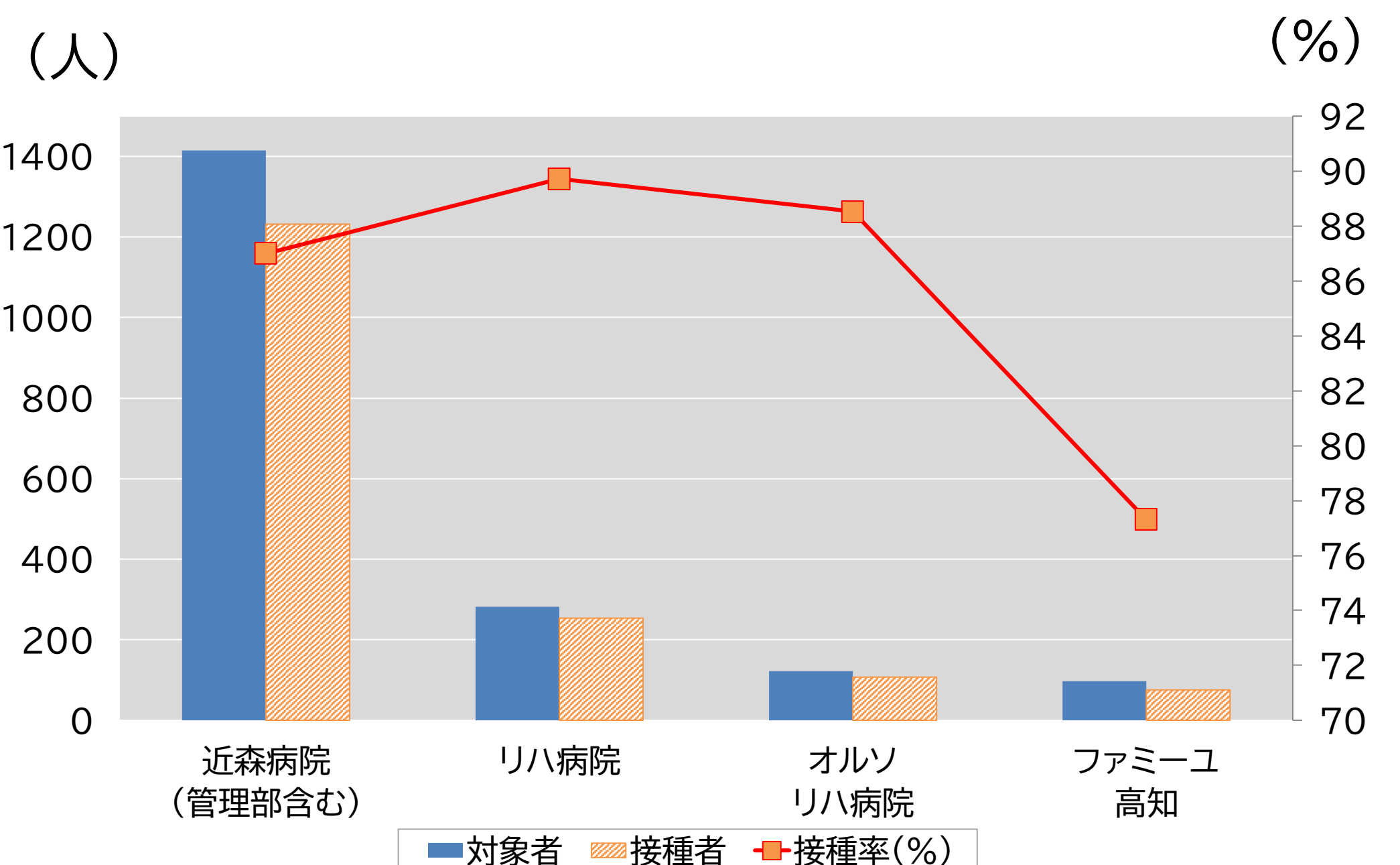


表7-3 職種別接種率（近森病院）

	職員数	接種人数	接種率
医師	160	135	84%
看護部・介護福祉部	649	580	89%
臨床心理士	3	3	100%
薬剤部	42	36	86%
画像診断部	34	28	82%
検査部	56	52	93%
臨床工学技士	38	30	79%
理学療法科	68	61	90%
作業療法科	28	25	89%
言語療法科	9	6	67%
医療福祉部	20	20	100%
臨床栄養部	25	23	92%
看護学校設立事務局	14	13	93%
管理部（リハ・オルソ含む）	269	219	81%
合計	1415	1231	87.0%

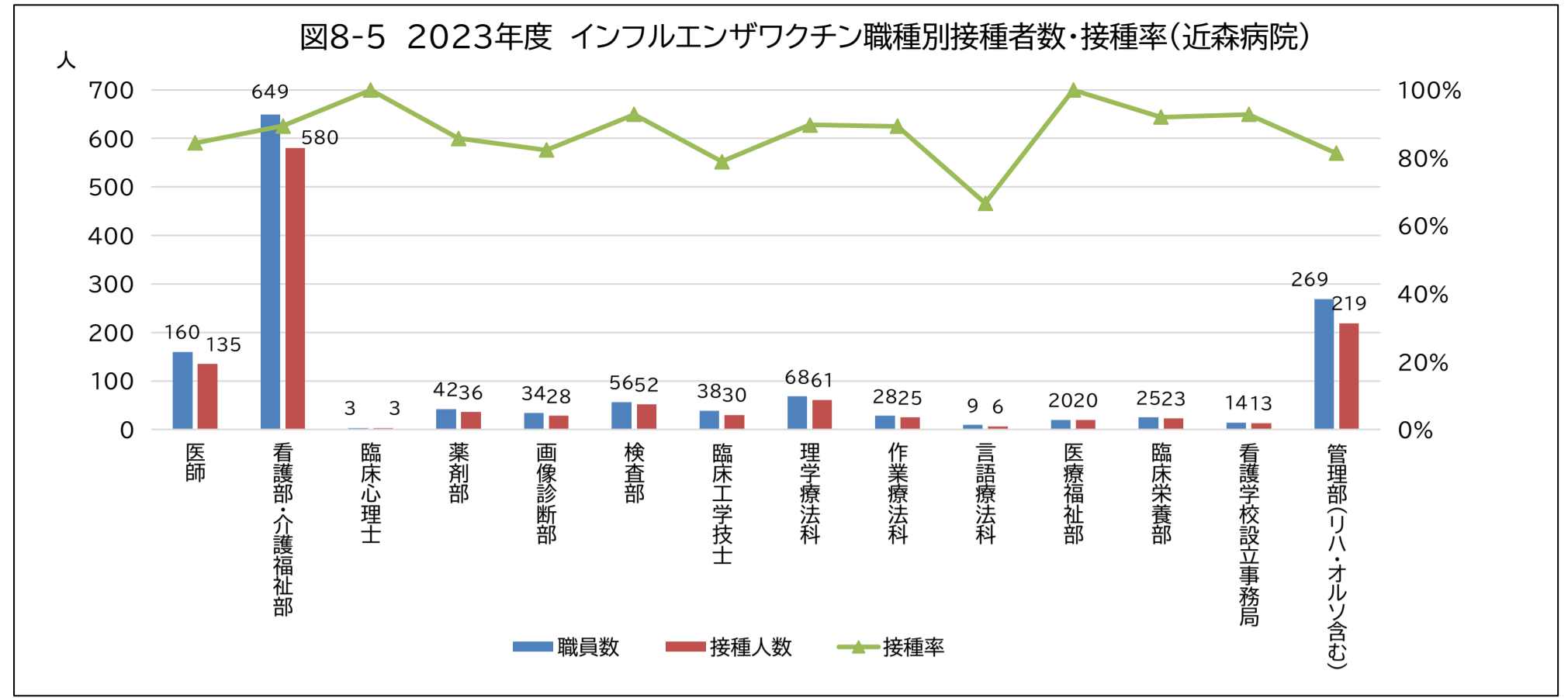


表7-4 職種別接種率（リハ病院）

	職員数	接種人数	接種率
医師	9	7	78%
看護部・介護福祉部	121	108	89%
理学療法科	62	56	90%
作業療法科	48	43	90%
言語療法科	22	20	91%
臨床心理士	2	2	100%
薬剤部	6	6	100%
臨床栄養部	6	5	83%
医療福祉部	6	6	100%
合計	282	253	89.7%

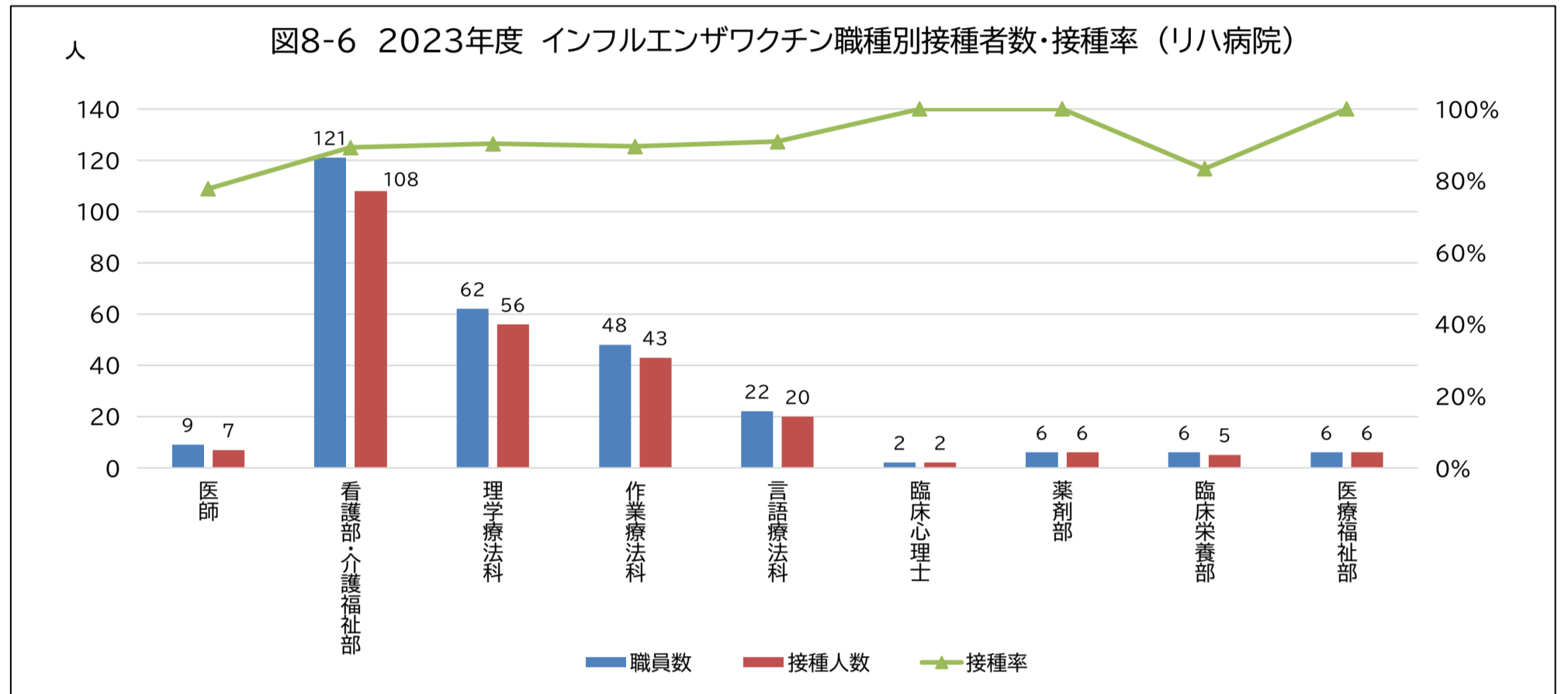
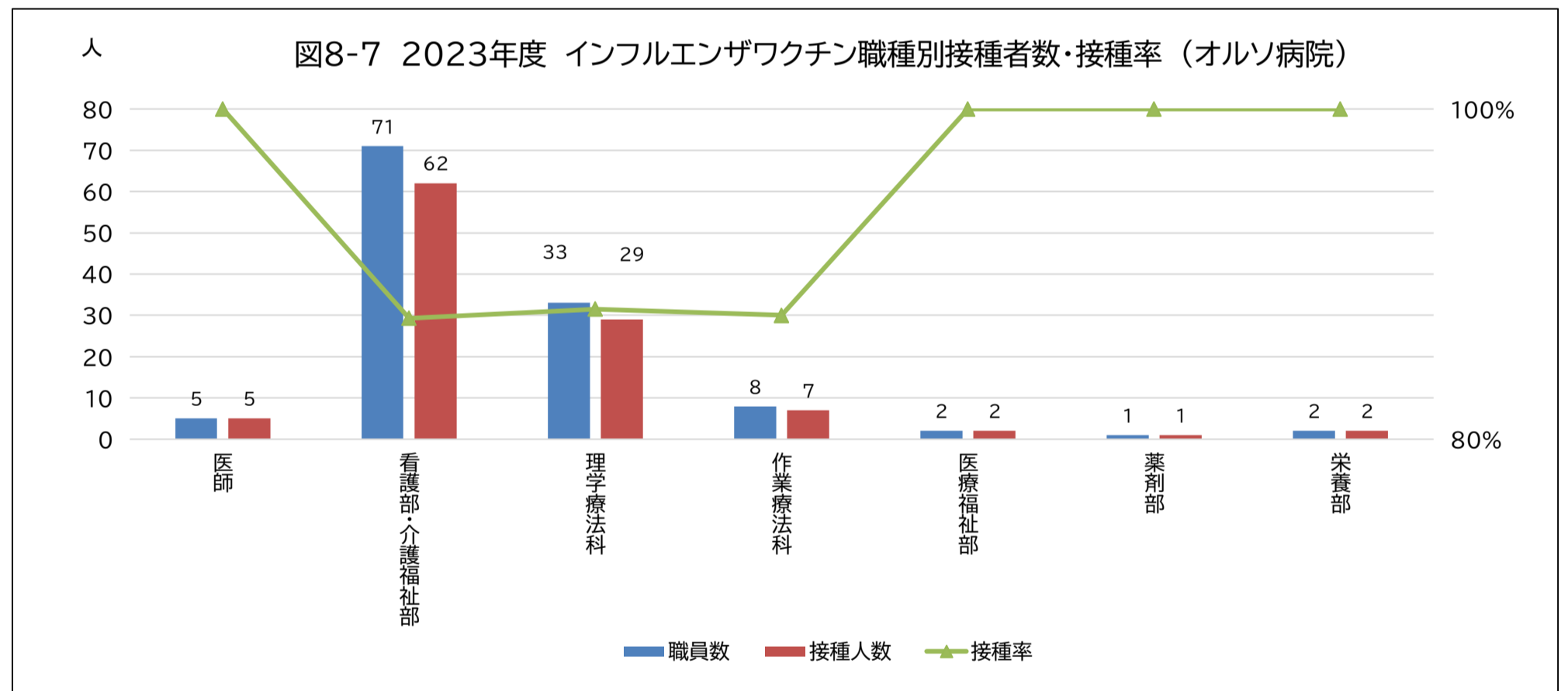


表7-5 職種別接種率（オルソ病院）

	職員数	接種人数	接種率
医師	5	5	100%
看護部・介護福祉部	71	62	87%
理学療法科	33	29	88%
作業療法科	8	7	88%
医療福祉部	2	2	100%
薬剤部	1	1	100%
栄養部	2	2	100%
合計	122	108	88.5%

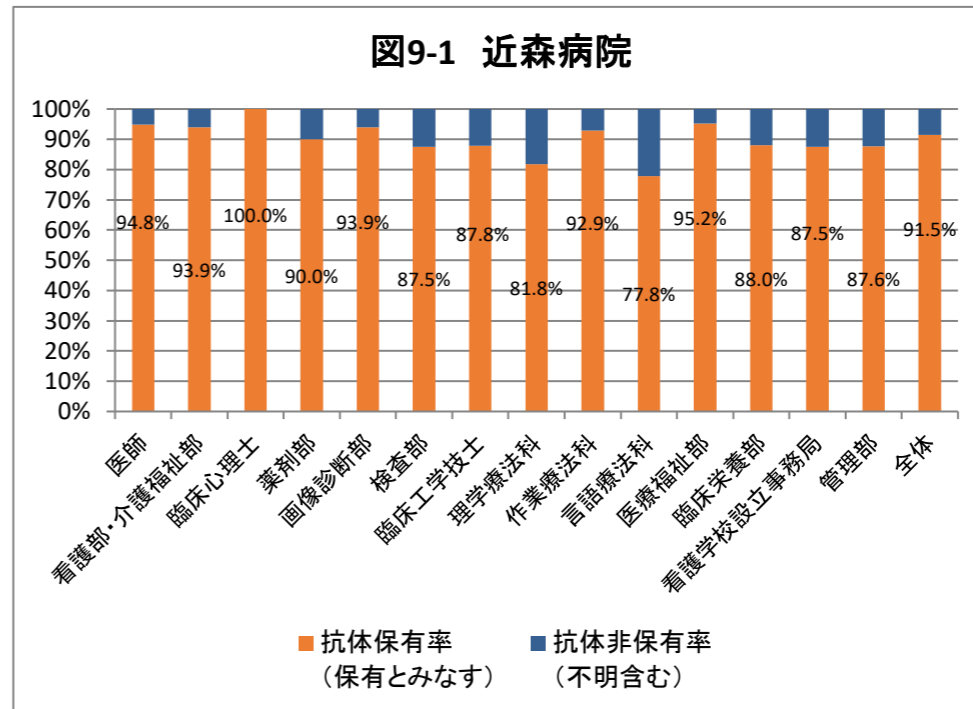


麻疹 抗体保有率

2024/02/22時点

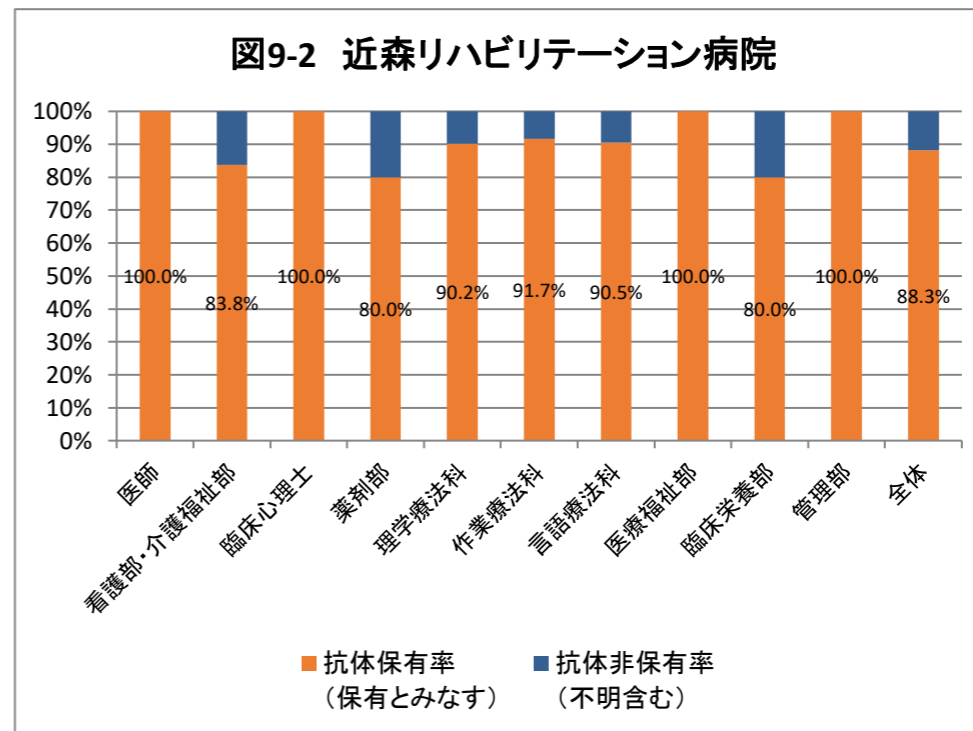
● 近森病院 表8-1

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率 (保有とみなす)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	145	8	153	94.8%	5.2%
看護部・介護福祉部	586	38	624	93.9%	6.1%
臨床心理士	3	0	3	100.0%	0.0%
薬剤部	36	4	40	90.0%	10.0%
画像診断部	31	2	33	93.9%	6.1%
検査部	49	7	56	87.5%	12.5%
臨床工学技士	36	5	41	87.8%	12.2%
理学療法科	54	12	66	81.8%	18.2%
作業療法科	26	2	28	92.9%	7.1%
言語療法科	7	2	9	77.8%	22.2%
医療福祉部	20	1	21	95.2%	4.8%
臨床栄養部	22	3	25	88.0%	12.0%
看護学校設立事務局	14	2	16	87.5%	12.5%
管理部	198	28	226	87.6%	12.4%
全体	1227	114	1341	91.5%	8.5%



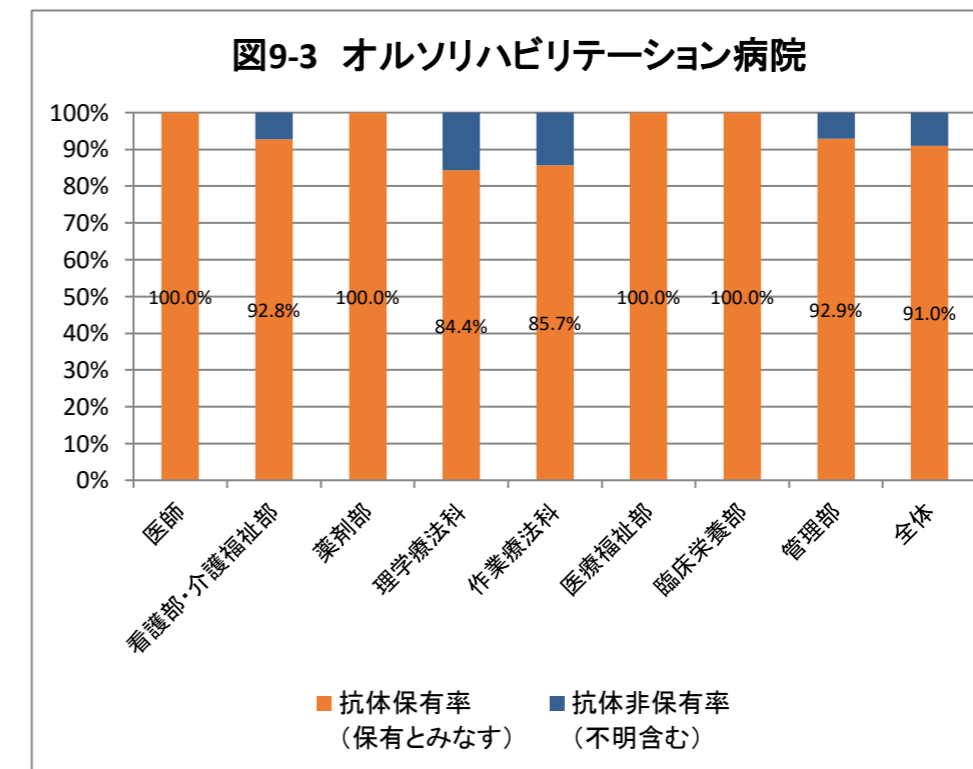
● 近森リハビリテーション病院 表8-2

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率 (保有とみなす)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	8	0	8	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	98	19	117	83.8%	16.2%
臨床心理士	2	0	2	100.0%	0.0%
薬剤部	4	1	5	80.0%	20.0%
理学療法科	55	6	61	90.2%	9.8%
作業療法科	44	4	48	91.7%	8.3%
言語療法科	19	2	21	90.5%	9.5%
医療福祉部	6	0	6	100.0%	0.0%
臨床栄養部	4	1	5	80.0%	20.0%
管理部	8	0	8	100.0%	0.0%
全体	248	33	281	88.3%	11.7%



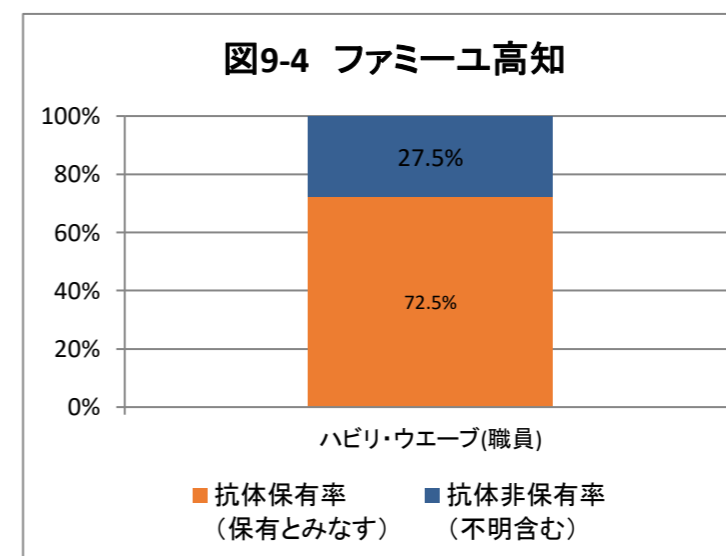
● オルソリハビリテーション病院 表8-3

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率 (保有とみなす)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	6	0	6	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	64	5	69	92.8%	7.2%
薬剤部	2	0	2	100.0%	0.0%
理学療法科	27	5	32	84.4%	15.6%
作業療法科	6	1	7	85.7%	14.3%
医療福祉部	2	0	2	100.0%	0.0%
臨床栄養部	2	0	2	100.0%	0.0%
管理部	13	1	14	92.9%	7.1%
全体	122	12	134	91.0%	9.0%



● ファミュー高知 表8-4

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率 (保有とみなす)	抗体非保有率 (不明含む)
ハビリ・ウエーブ(職員)	58	22	80	72.5%	27.5%
全体	58	22	80	72.5%	27.5%



補足

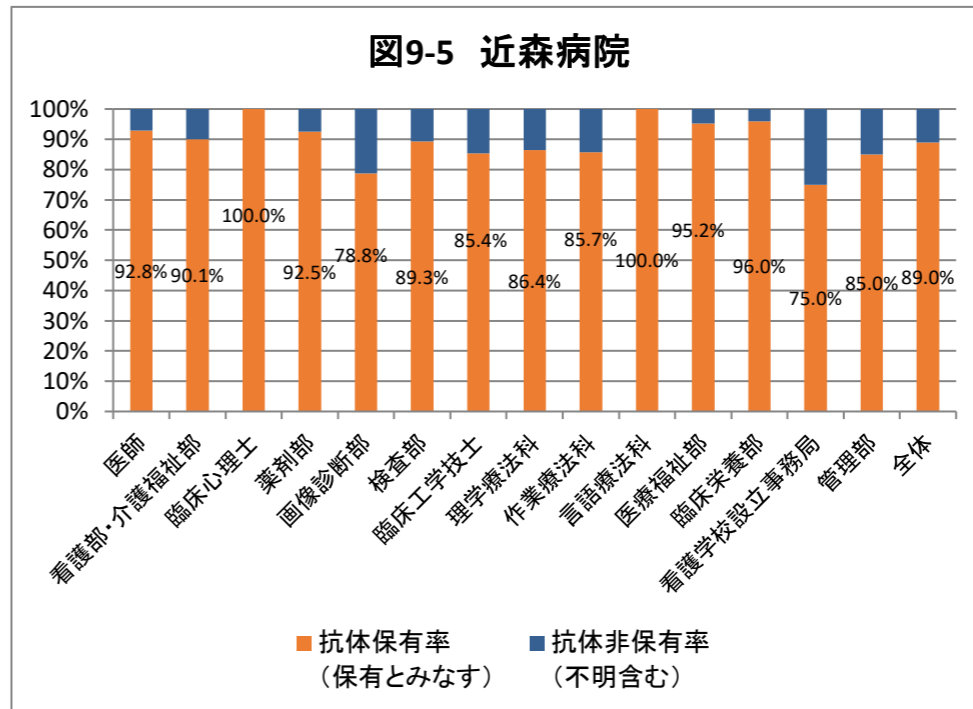
2024年2月22日時点在職者対象
抗体保有とは・・・抗体価陽性(基準を満たす)または規定のワクチン接種回数を満たしている
2015年9月1日～2017年10月31日のファミュー入職者は免疫確認対象外であった為、免除となっている。

風疹 抗体保有率

2024/02/22時点

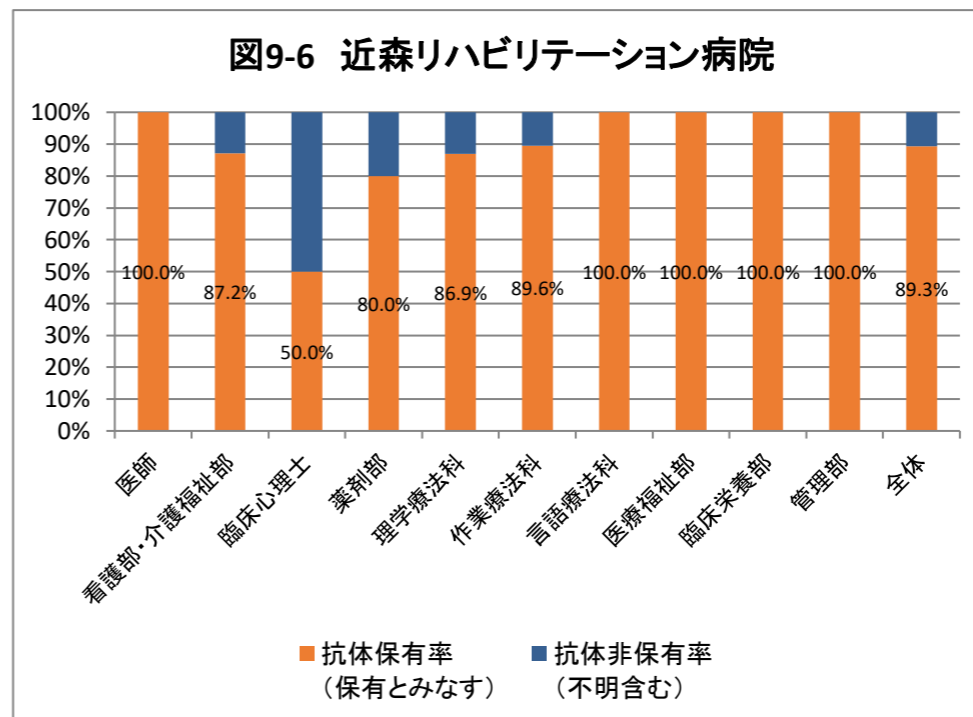
● 近森病院 表8-5

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率(保有とみなす)	抗体非保有率(不明含む)
医師	142	11	153	92.8%	7.2%
看護部・介護福祉部	562	62	624	90.1%	9.9%
臨床心理士	3	0	3	100.0%	0.0%
薬剤部	37	3	40	92.5%	7.5%
画像診断部	26	7	33	78.8%	21.2%
検査部	50	6	56	89.3%	10.7%
臨床工学技士	35	6	41	85.4%	14.6%
理学療法科	57	9	66	86.4%	13.6%
作業療法科	24	4	28	85.7%	14.3%
言語療法科	9	0	9	100.0%	0.0%
医療福祉部	20	1	21	95.2%	4.8%
臨床栄養部	24	1	25	96.0%	4.0%
看護学校設立事務局	12	4	16	75.0%	25.0%
管理部	192	34	226	85.0%	15.0%
全体	1193	148	1341	89.0%	11.0%



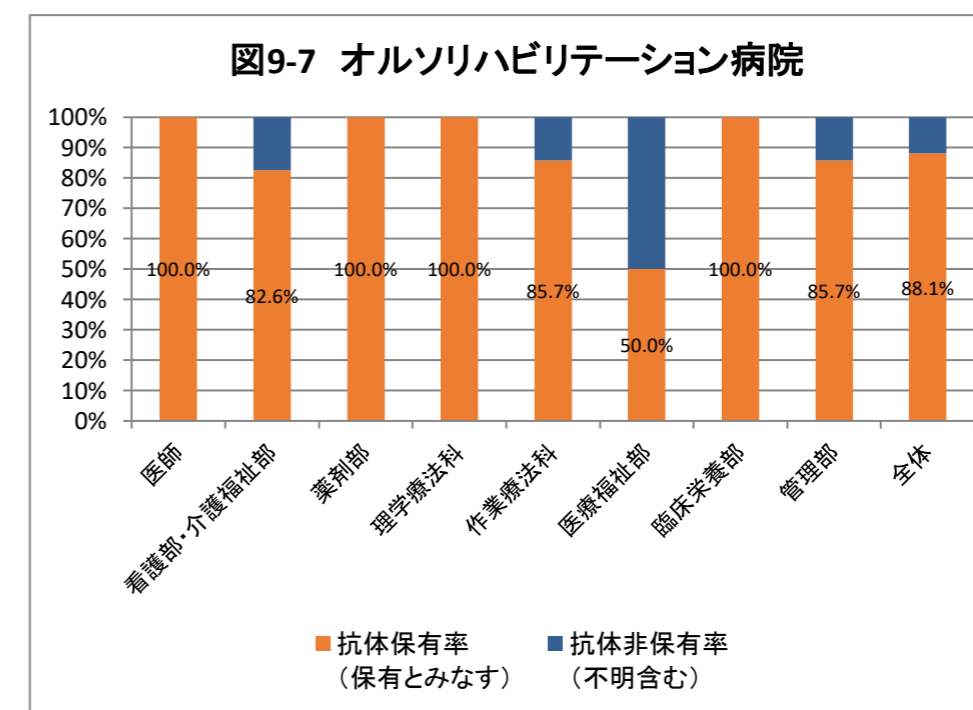
● 近森リハビリテーション病院 表8-6

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率(保有とみなす)	抗体非保有率(不明含む)
医師	8	0	8	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	102	15	117	87.2%	12.8%
臨床心理士	1	1	2	50.0%	50.0%
薬剤部	4	1	5	80.0%	20.0%
理学療法科	53	8	61	86.9%	13.1%
作業療法科	43	5	48	89.6%	10.4%
言語療法科	21	0	21	100.0%	0.0%
医療福祉部	6	0	6	100.0%	0.0%
臨床栄養部	5	0	5	100.0%	0.0%
管理部	8	0	8	100.0%	0.0%
全体	251	30	281	89.3%	10.7%



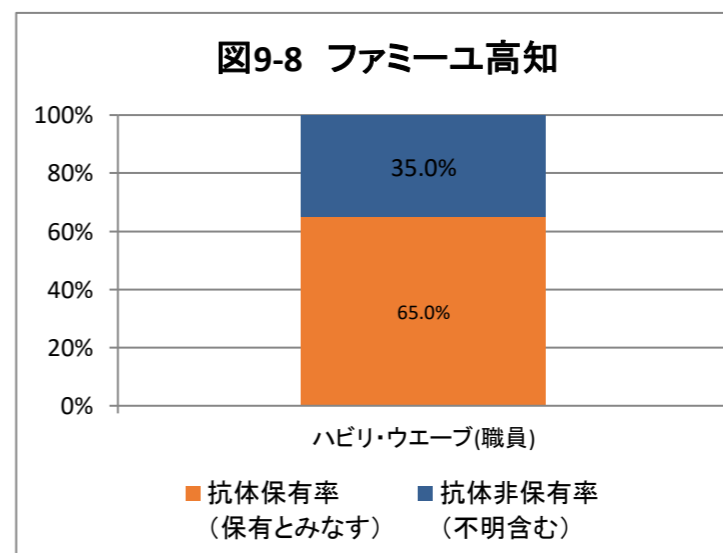
● オルソリハビリテーション病院 表8-7

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率(保有とみなす)	抗体非保有率(不明含む)
医師	6	0	6	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	57	12	69	82.6%	17.4%
薬剤部	2	0	2	100.0%	0.0%
理学療法科	32	0	32	100.0%	0.0%
作業療法科	6	1	7	85.7%	14.3%
医療福祉部	1	1	2	50.0%	50.0%
臨床栄養部	2	0	2	100.0%	0.0%
管理部	12	2	14	85.7%	14.3%
全体	118	16	134	88.1%	11.9%



● ファミーユ高知 表8-8

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率(保有とみなす)	抗体非保有率(不明含む)
ハビリ・ウエーブ(職員)	52	28	80	65.0%	35.0%
全体	52	28	80	65.0%	35.0%



補足

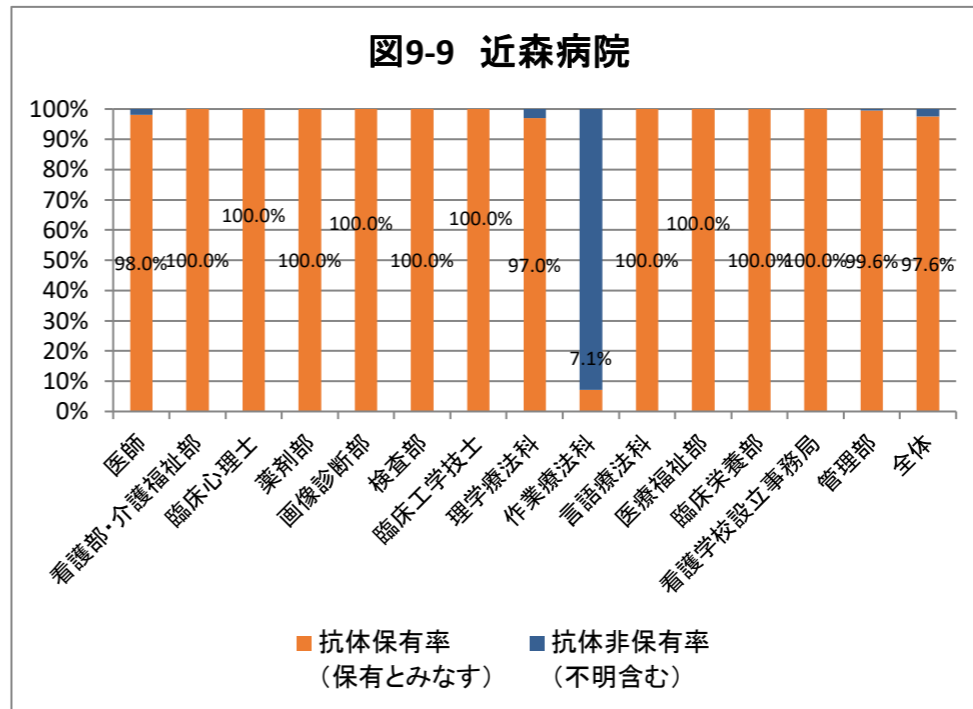
2024年2月22日時点在職者対象
抗体保有とは・・・抗体価陽性(基準を満たす)または規定のワクチン接種回数を満たしている
2015年9月1日～2017年10月31日のファミーユ入職者は免疫確認対象外であった為、免除となっている。

水痘 抗体保有率

2024/02/22時点

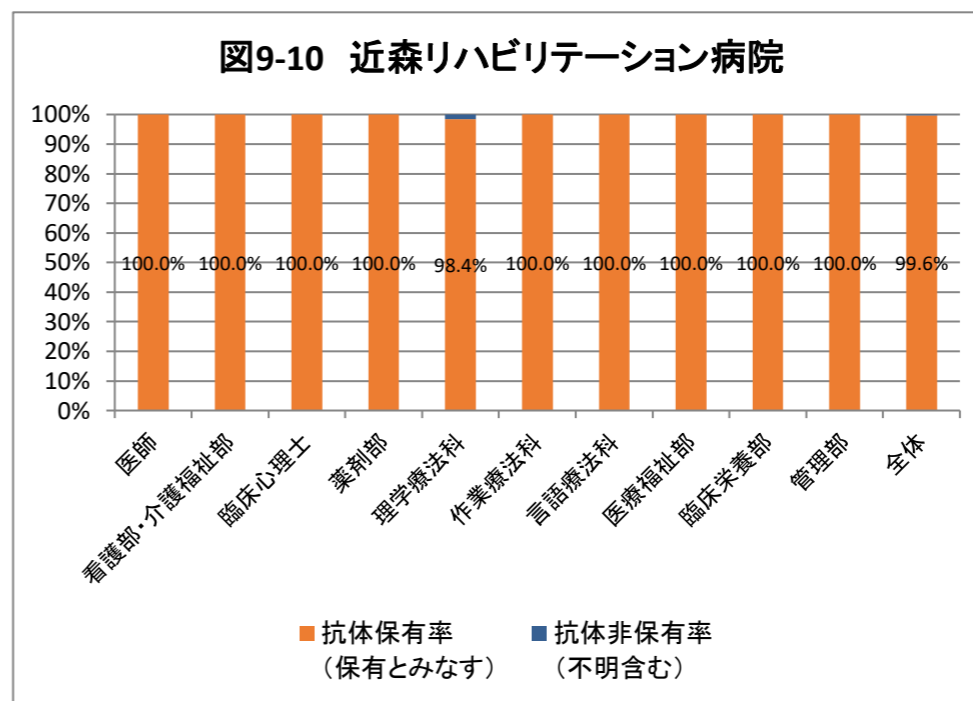
● 近森病院 表8-9

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率(保有とみなす)	抗体非保有率(不明含む)
医師	150	3	153	98.0%	2.0%
看護部・介護福祉部	624	0	624	100.0%	0.0%
臨床心理士	3	0	3	100.0%	0.0%
薬剤部	40	0	40	100.0%	0.0%
画像診断部	33	0	33	100.0%	0.0%
検査部	56	0	56	100.0%	0.0%
臨床工学技士	41	0	41	100.0%	0.0%
理学療法科	64	2	66	97.0%	3.0%
作業療法科	2	26	28	7.1%	92.9%
言語療法科	9	0	9	100.0%	0.0%
医療福祉部	21	0	21	100.0%	0.0%
臨床栄養部	25	0	25	100.0%	0.0%
看護学校設立事務局	16	0	16	100.0%	0.0%
管理部	225	1	226	99.6%	0.4%
全体	1309	32	1341	97.6%	2.4%



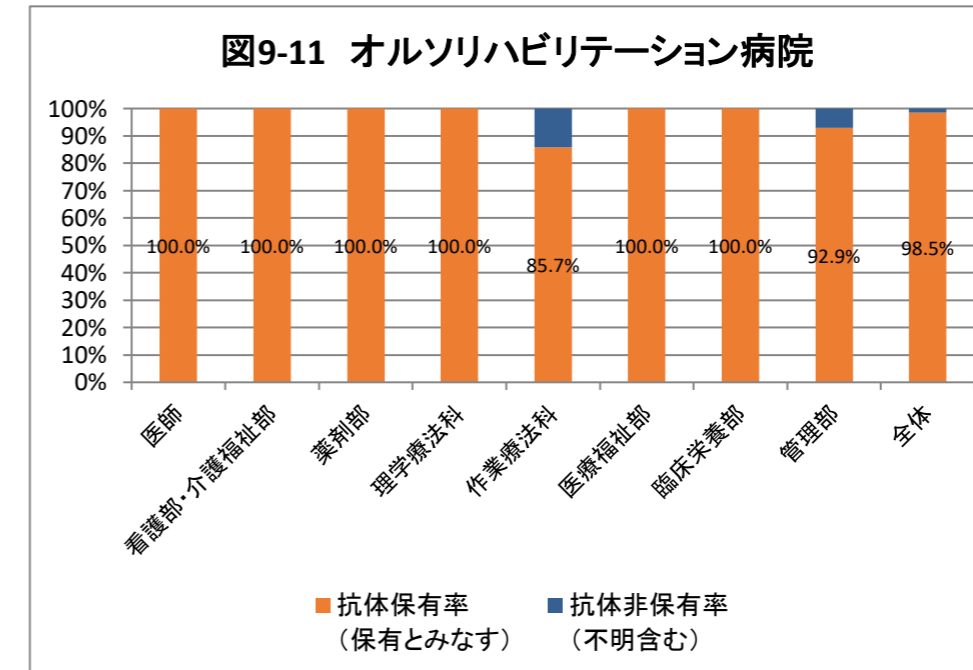
● 近森リハビリテーション病院 表8-10

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率(保有とみなす)	抗体非保有率(不明含む)
医師	8	0	8	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	117	0	117	100.0%	0.0%
臨床心理士	2	0	2	100.0%	0.0%
薬剤部	5	0	5	100.0%	0.0%
理学療法科	60	1	61	98.4%	1.6%
作業療法科	48	0	48	100.0%	0.0%
言語療法科	21	0	21	100.0%	0.0%
医療福祉部	6	0	6	100.0%	0.0%
臨床栄養部	5	0	5	100.0%	0.0%
管理部	8	0	8	100.0%	0.0%
全体	280	1	281	99.6%	0.4%



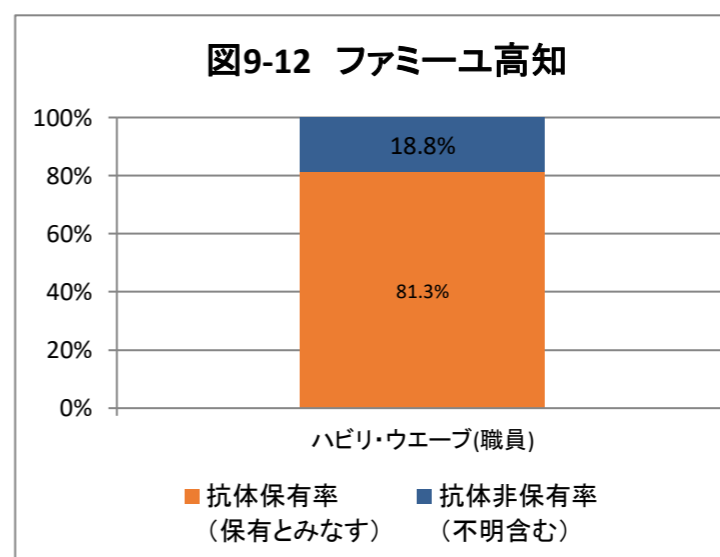
● オルソリハビリテーション病院 表8-11

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率(保有とみなす)	抗体非保有率(不明含む)
医師	6	0	6	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	69	0	69	100.0%	0.0%
薬剤部	2	0	2	100.0%	0.0%
理学療法科	32	0	32	100.0%	0.0%
作業療法科	6	1	7	85.7%	14.3%
医療福祉部	2	0	2	100.0%	0.0%
臨床栄養部	2	0	2	100.0%	0.0%
管理部	13	1	14	92.9%	7.1%
全体	132	2	134	98.5%	1.5%



● ファミージュ高知 表8-12

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率(保有とみなす)	抗体非保有率(不明含む)
ハピリ・ウエーブ(職員)	65	15	80	81.3%	18.8%
全体	65	15	80	81.3%	18.8%



補足

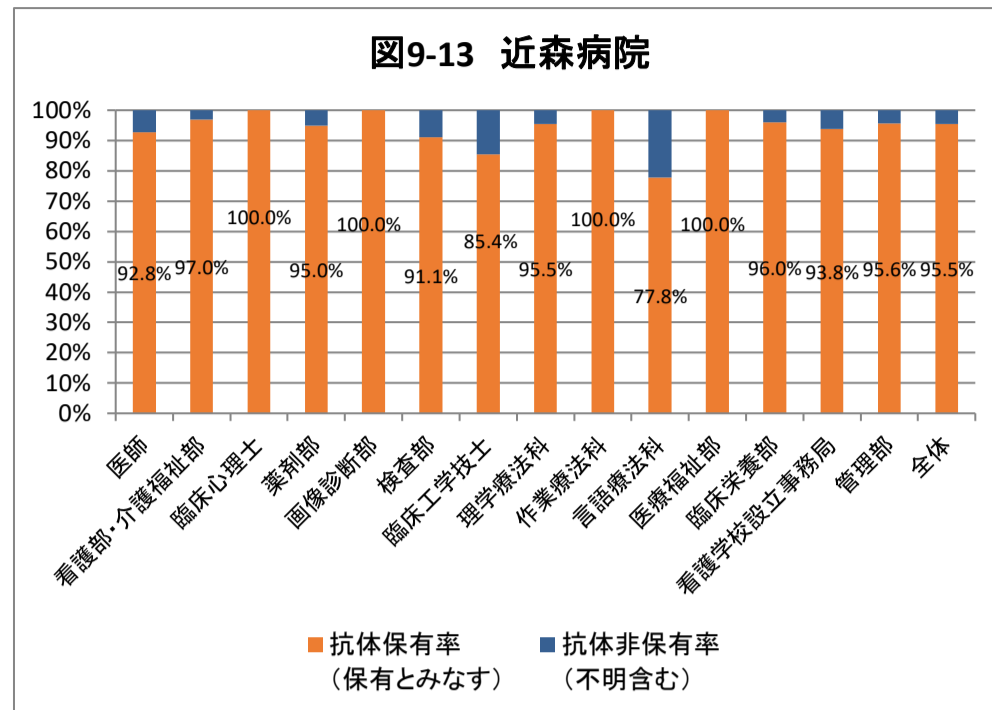
2024年2月22日時点在職者対象
抗体保有とは・・・抗体価陽性(基準を満たす)または規定のワクチン接種回数を満たしている
2015年9月1日～2017年10月31日のファミージュ入職者は免疫確認対象外であった為、免除となっている。

ムンプス 抗体保有率

2024/02/22時点

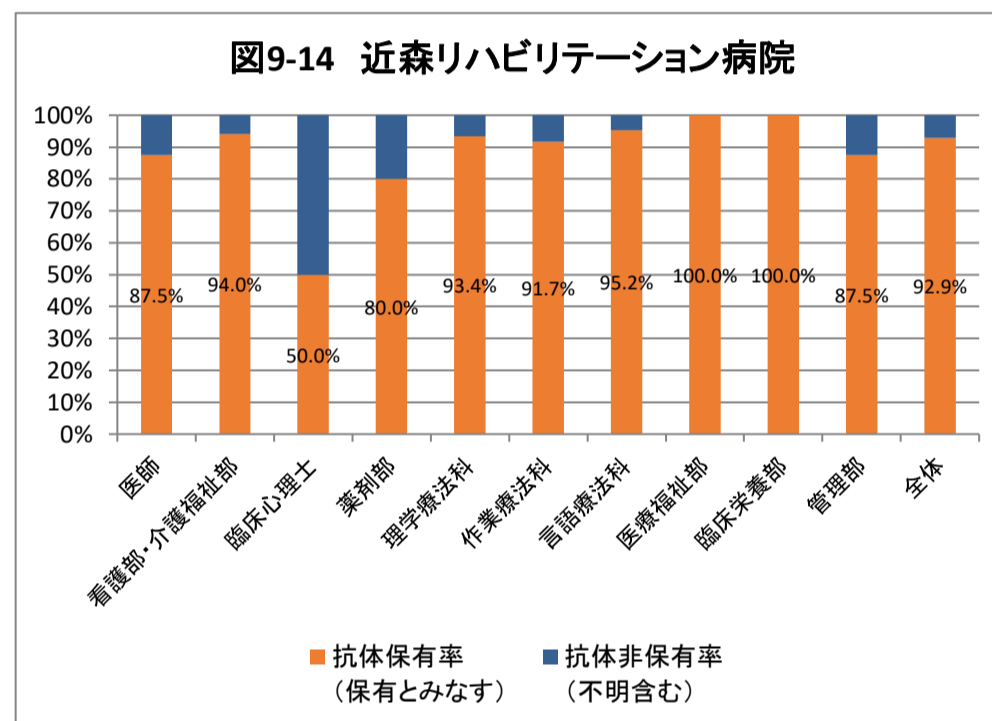
● 近森病院 表8-13

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率 (保有とみなす)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	142	11	153	92.8%	7.2%
看護部・介護福祉部	605	19	624	97.0%	3.0%
臨床心理士	3	0	3	100.0%	0.0%
薬剤部	38	2	40	95.0%	5.0%
画像診断部	33	0	33	100.0%	0.0%
検査部	51	5	56	91.1%	8.9%
臨床工学技士	35	6	41	85.4%	14.6%
理学療法科	63	3	66	95.5%	4.5%
作業療法科	28	0	28	100.0%	0.0%
言語療法科	7	2	9	77.8%	22.2%
医療福祉部	21	0	21	100.0%	0.0%
臨床栄養部	24	1	25	96.0%	4.0%
看護学校設立事務局	15	1	16	93.8%	6.3%
管理部	216	10	226	95.6%	4.4%
全体	1281	60	1341	95.5%	4.5%



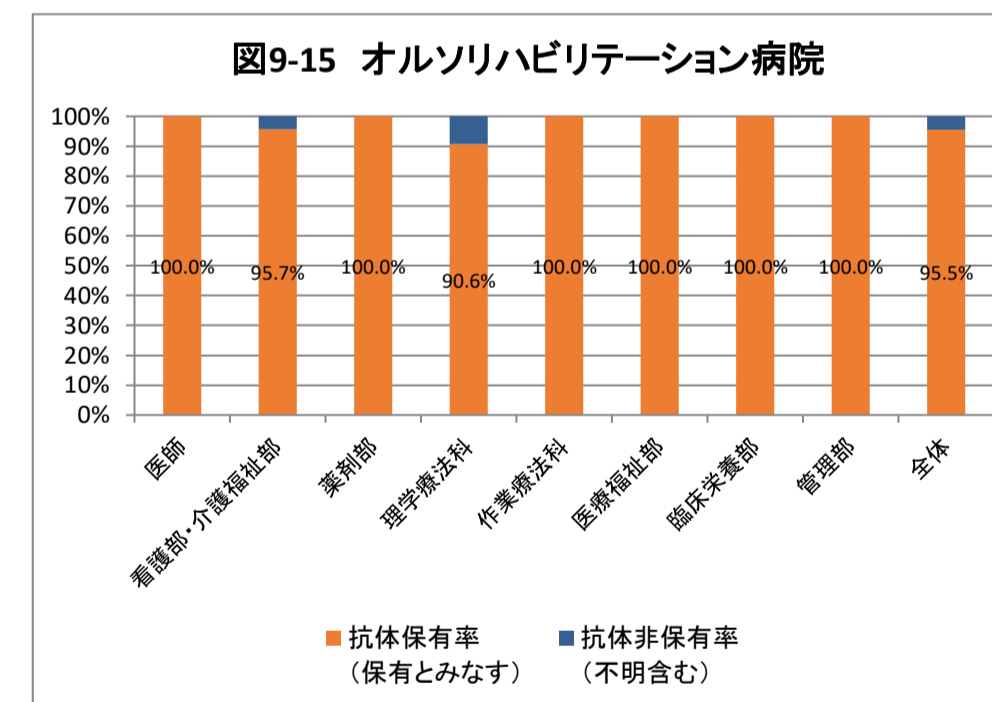
● 近森リハビリテーション病院 表8-14

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率 (保有とみなす)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	7	1	8	87.5%	12.5%
看護部・介護福祉部	110	7	117	94.0%	6.0%
臨床心理士	1	1	2	50.0%	50.0%
薬剤部	4	1	5	80.0%	20.0%
理学療法科	57	4	61	93.4%	6.6%
作業療法科	44	4	48	91.7%	8.3%
言語療法科	20	1	21	95.2%	4.8%
医療福祉部	6	0	6	100.0%	0.0%
臨床栄養部	5	0	5	100.0%	0.0%
管理部	7	1	8	87.5%	12.5%
全体	261	20	281	92.9%	7.1%



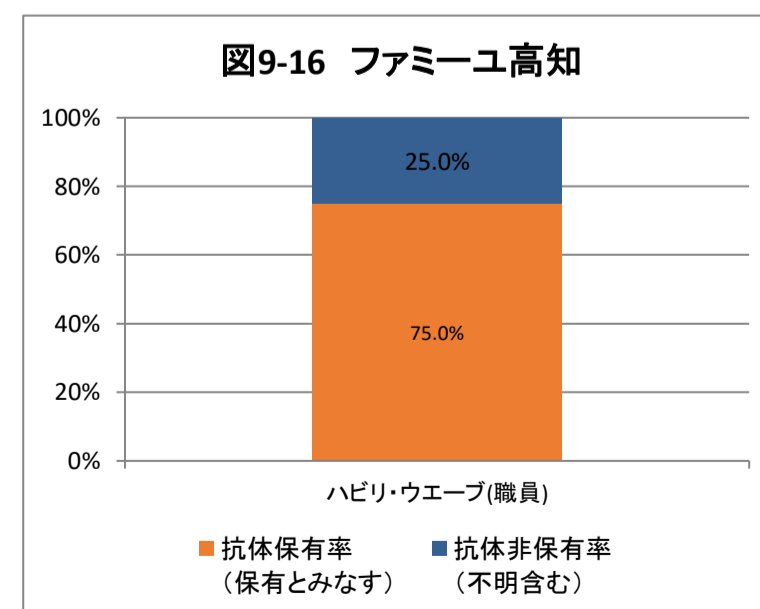
● オルソリハビリテーション病院 表8-15

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率 (保有とみなす)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	6	0	6	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	66	3	69	95.7%	4.3%
薬剤部	2	0	2	100.0%	0.0%
理学療法科	29	3	32	90.6%	9.4%
作業療法科	7	0	7	100.0%	0.0%
医療福祉部	2	0	2	100.0%	0.0%
臨床栄養部	2	0	2	100.0%	0.0%
管理部	14	0	14	100.0%	0.0%
全体	128	6	134	95.5%	4.5%



● ファミーユ高知 表8-16

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率 (保有とみなす)	抗体非保有率 (不明含む)
ハビリ・ウエーブ(職員)	60	20	80	75.0%	25.0%
全体	60	20	80	75.0%	25.0%



補足

2024年2月22日時点在職者対象

抗体保有とは・・・抗体価陽性(基準を満たす)または規定のワクチン接種回数を満たしている

2015年9月1日～2017年10月31日のファミリー入職者は免疫確認対象外であった為、免除となっている。

■ T-SPOT.TB検査(IGRA) ■

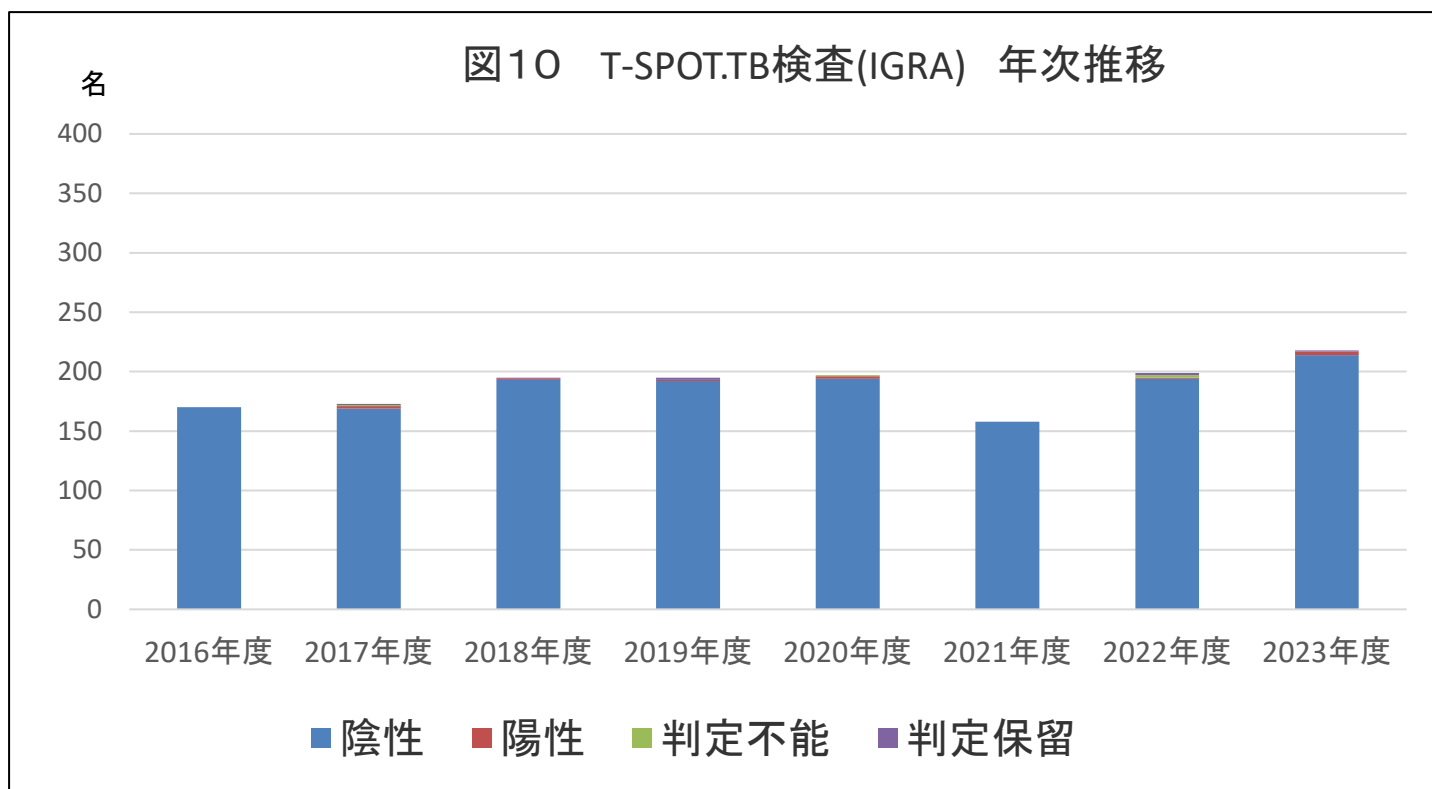


表9

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
陰性	170	169	193	192	194	158	194	214
陽性	0	2	1	1	2	0	1	3
判定不能	0	1	0	0	1	0	2	0
判定保留	0	1	1	2	0	0	2	1

■子宮頸がんワクチン接種■(2024年3月現在)

図11 子宮頸がんワクチン 接種状況

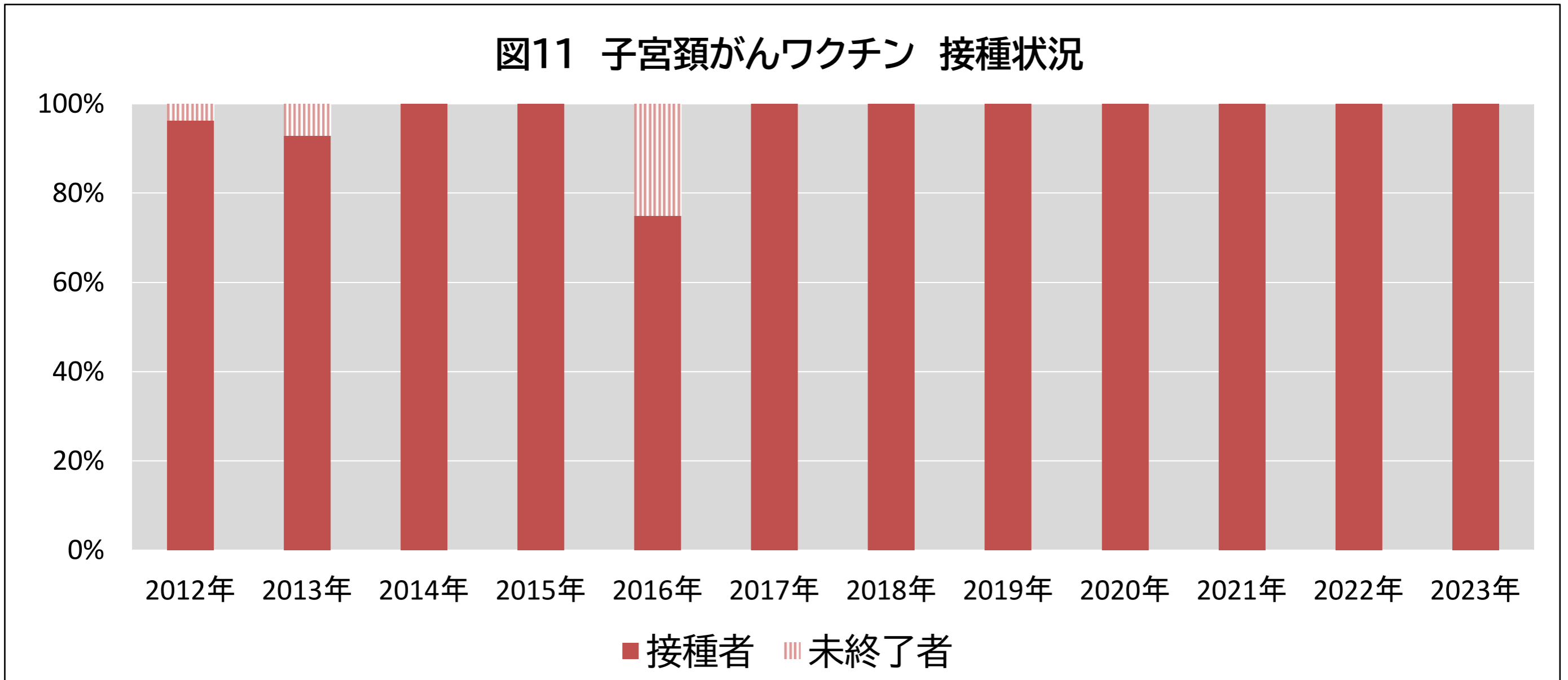


表10

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
未終了者	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
接種者	52	13	2	3	3	1	6	1	2	2	1	1
申し込み者数	54	14	3	3	4	1	6	1	2	2	1	1
接種終了率	96.3	92.9	66.7	100.0	75.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※未終了者

…退職・妊娠・体調不良のためキャンセルを含む。
接種が延期となった方については、次年度以降の接種時に対応中。

2023年度 近森会グループ 職員の喫煙率

2024.3.1時点(2023年度上期健測定より)

※全国平均:2019年国民健康栄養調査の値を使用(2022国民健康栄養調査の値が2024.3.1時点で公表されていないため)

表11-1 男性喫煙者数(名) *()内は問診回答者数:無回答者除く

男性	20代	30代	40代	50代	60代以上	喫煙者計
2012年	55(164)	26(96)	9(41)	3(17)	2(15)	95(333)
2013年	52(176)	32(118)	12(58)	5(22)	4(19)	105(393)
2014年	58(198)	32(117)	13(59)	9(29)	6(28)	118(431)
2015年	60(230)	39(161)	25(99)	9(43)	6(39)	139(572)
2016年	57(218)	51(190)	25(96)	8(49)	6(42)	147(595)
2017年	40(192)	54(182)	22(109)	9(49)	9(50)	134(582)
2018年	32(188)	44(190)	25(108)	6(45)	7(53)	114(584)
2019年	27(177)	40(195)	23(108)	4(43)	9(65)	103(588)
2020年	29(177)	32(181)	23(109)	6(44)	5(59)	95(570)
2021年	26(175)	26(174)	25(121)	5(46)	5(59)	87(575)
2022年	28(165)	28(180)	28(122)	11(62)	7(59)	103(588)
2023年	30(158)	24(168)	30(125)	12(63)	8(55)	99(569)

表11-2 女性喫煙者数(名)

女性	20代	30代	40代	50代	60代以上	喫煙者計
2012年	35(372)	44(327)	26(154)	4(60)	1(16)	110(929)
2013年	34(394)	42(334)	29(176)	6(69)	1(32)	112(1005)
2014年	31(425)	37(366)	29(203)	9(81)	1(34)	107(1109)
2015年	32(488)	39(413)	54(260)	13(107)	0(33)	138(1301)
2016年	28(474)	40(425)	50(270)	12(113)	1(38)	131(1320)
2017年	23(452)	30(412)	46(280)	16(124)	2(40)	117(1308)
2018年	16(419)	22(404)	39(291)	15(144)	2(34)	94(1292)
2019年	14(425)	20(405)	37(288)	15(144)	1(35)	87(1297)
2020年	9(400)	21(396)	28(297)	21(155)	2(40)	81(1289)
2021年	13(378)	14(372)	25(304)	21(157)	3(46)	76(1258)
2022年	9(368)	9(366)	28(322)	17(160)	2(55)	65(1272)
2023年	10(388)	8(338)	22(314)	20(167)	5(61)	65(1268)

表11-3 全体喫煙者数(名)

全体	20代	30代	40代	50代	60代以上	喫煙者計
2012年	90(536)	70(423)	35(195)	7(77)	3(31)	205(1262)
2013年	86(570)	74(452)	41(234)	11(91)	5(51)	217(1398)
2014年	89(623)	69(483)	42(262)	18(110)	7(62)	225(1540)
2015年	92(718)	78(574)	79(359)	22(150)	6(72)	277(1873)
2016年	85(692)	91(615)	75(366)	20(162)	7(80)	278(1915)
2017年	63(644)	84(594)	68(389)	25(173)	11(90)	251(1890)
2018年	48(607)	66(594)	64((399)	21(189)	9(87)	208(1876)
2019年	41(602)	60(600)	60(396)	19(187)	10(100)	190(1885)
2020年	38(577)	53(577)	51(406)	27(199)	7(99)	176(1859)
2021年	39(553)	40(546)	50(425)	26(203)	8(105)	163(1833)
2022年	38(533)	37(546)	56(444)	28(222)	9(114)	168(1860)
2023年	35(546)	32(506)	52(439)	32(230)	13(116)	164(1837)

表11-4 男性喫煙率 (%) *問診回答者より集計

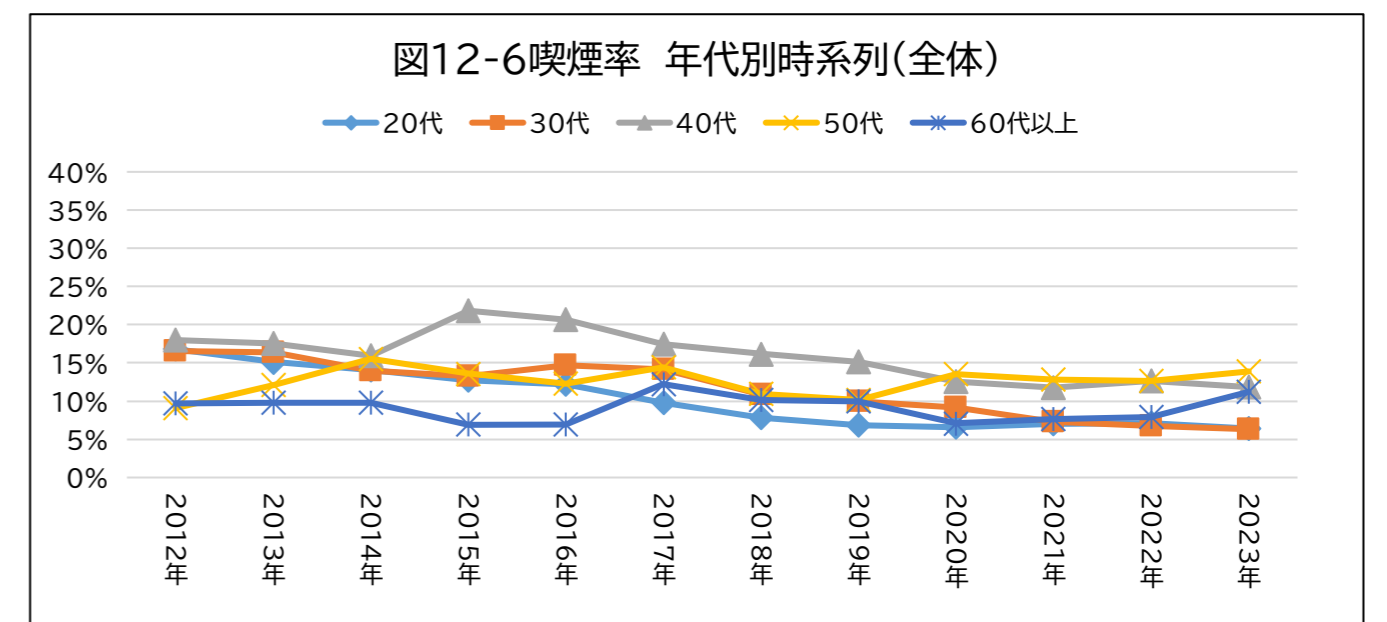
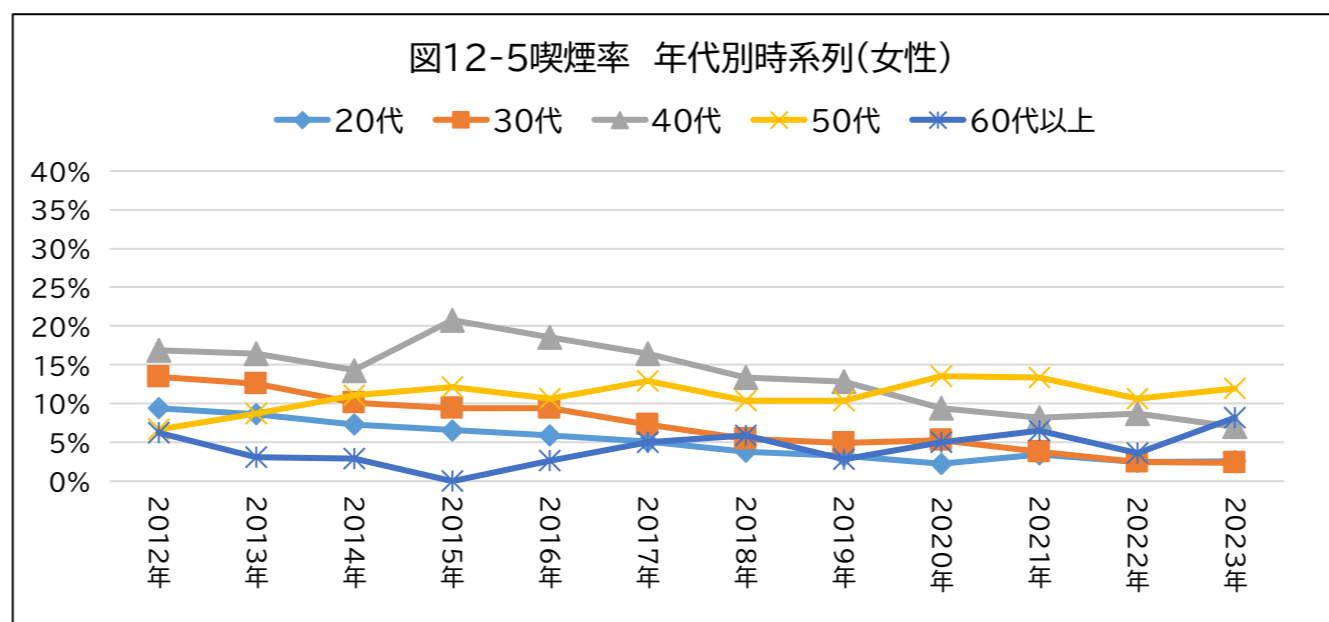
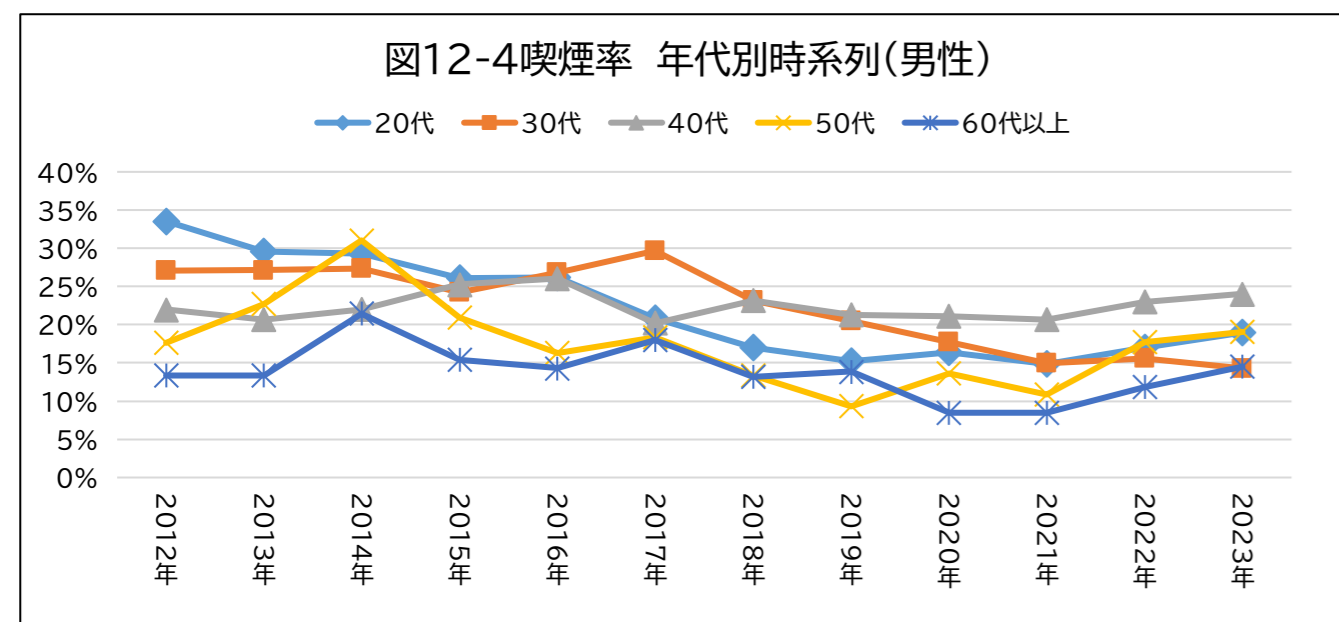
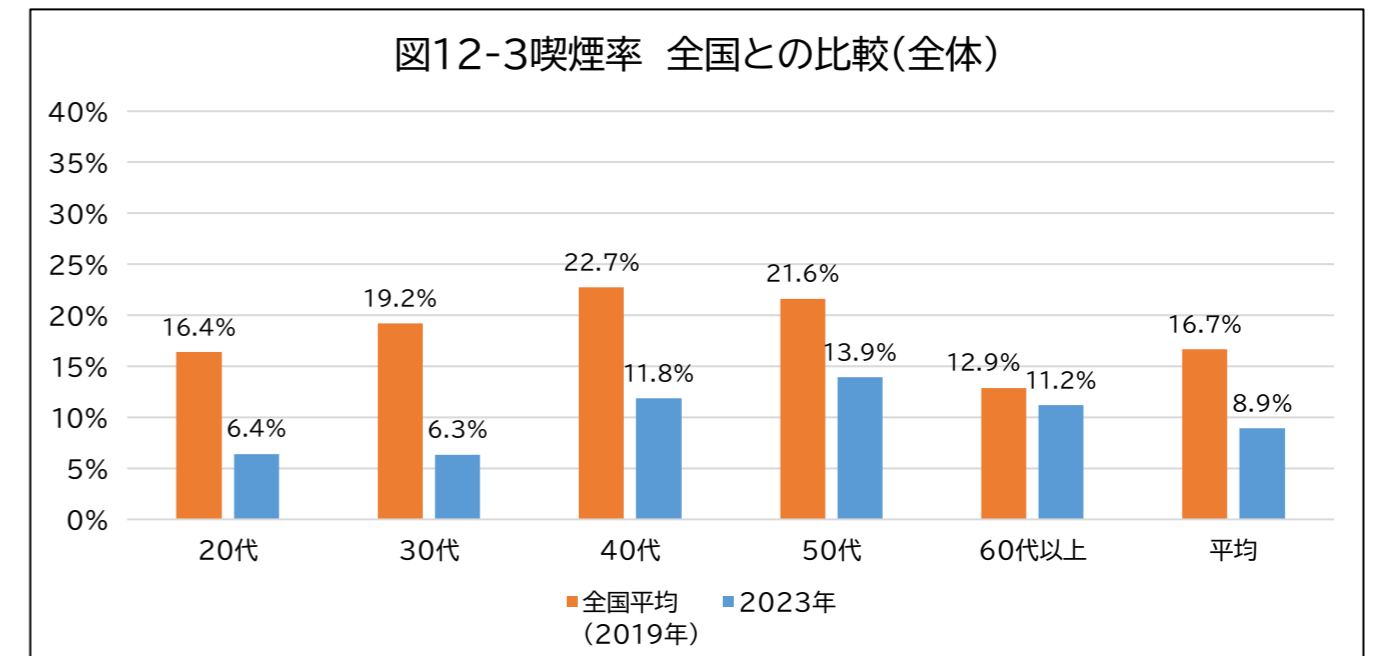
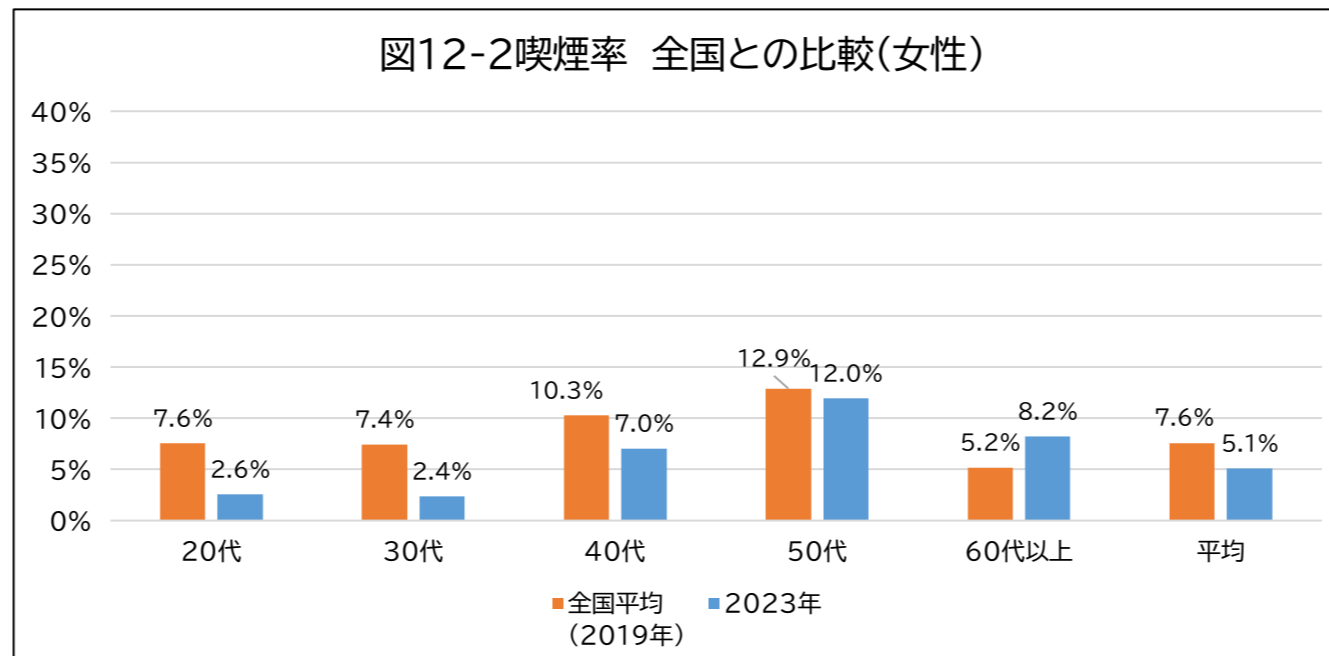
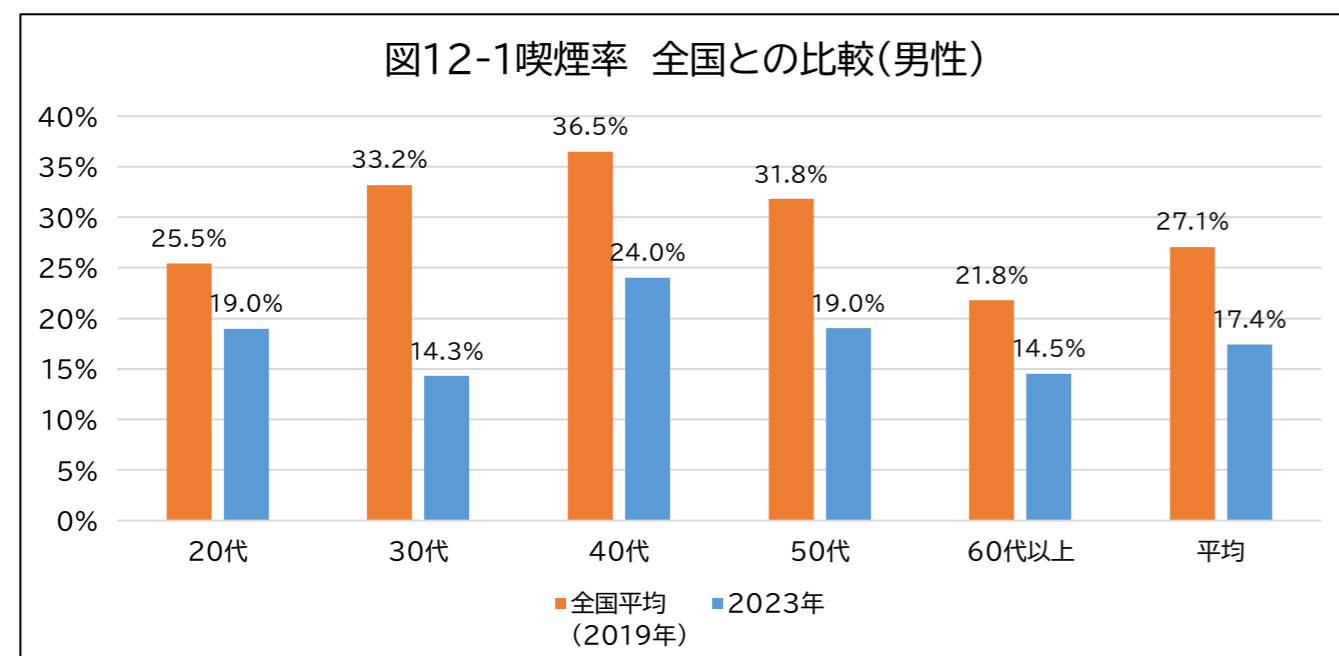
男性	20代	30代	40代	50代	60代以上	平均
2012年	33.5%	27.1%	22.0%	17.6%	13.3%	28.5%
2013年	29.5%	27.1%	20.7%	22.7%	13.3%	26.7%
2014年	29.3%	27.4%	22.0%	31.0%	21.4%	27.4%
2015年	26.1%	24.2%	25.3%	20.9%	15.4%	24.3%
2016年	26.1%	26.8%	26.0%	16.3%	14.3%	24.7%
2017年	20.8%	29.7%	20.2%	18.4%	18.0%	23.0%
2018年	17.0%	23.2%	23.1%	13.3%	13.2%	19.5%
2019年	15.3%	20.5%	21.3%	9.3%	13.8%	17.5%
2020年	16.4%	17.7%	21.1%	13.6%	8.5%	16.7%
2021年	14.9%	14.9%	20.7%	10.9%	8.5%	15.1%
2022年	17.0%	15.6%	23.0%	17.7%	11.9%	17.5%
2023年	19.0%	14.3%	24.0%	19.0%	14.5%	17.4%
全国平均(2019年)	25.5%	33.2%	36.5%	31.8%	21.8%	27.1%

表11-5 女性喫煙率 (%)

女性	20代	30代	40代	50代	60代以上	平均
2012年	9.4%	13.5%	16.9%	6.7%	6.3%	11.8%
2013年	8.6%	12.6%	16.5%	8.7%	3.1%	11.1%
2014年	7.3%	10.1%	14.3%	11.1%	2.9%	9.6%
2015年	6.6%	9.4%	20.8%	12.1%	0.0%	10.6%
2016年	5.9%	9.4%	18.5%	10.6%	2.6%	9.9%
2017年	5.1%	7.3%	16.4%	12.9%	5.0%	8.9%
2018年	3.8%	5.4%	13.4%	10.4%	5.9%	7.3%
2019年	3.3%	4.9%	12.8%	10.4%	2.9%	6.7%
2020年	2.3%	5.3%	9.4%	13.5%	5.0%	6.3%
2021年	3.4%	3.8%	8.2%	13.4%	6.5%	6.0%
2022年	2.4%	2.5%	8.7%	10.6%	3.6%	5.1%
2023年	2.6%	2.4%	7.0%	12.0%	8.2%	5.1%
全国平均(2019年)	7.6%	7.4%	10.3%	12.9%	5.2%	7.6%

表11-6 全体喫煙率 (%)

全体	20代	30代	40代	50代	60代以上	平均
2012年	16.8%	16.5%	17.9%	9.1%	9.7%	16.2%
2013年	15.1%	16.4%	17.5%	12.1%	9.8%	15.5%
2014年	14.0%	13.9%	15.9%	15.5%	9.8%	14.6%
2015年	12.8%	13.2%	21.8%	13.6%	6.9%	14.8%
2016年	12.2%	14.7%	20.7%	12.3%	6.9%	14.5%
2017年	9.8%	14.1%	17.5%	14.5%	12.2%	13.3%
2018年	7.8%	10.8%	16.2%	11.0%	10.1%	11.1%
2019年	6.8%	10.0%	15.2%	10.2%	10.0%	10.1%
2020年	6.6%	9.2%	12.6%	13.6%	7.1%	9.5%
2021年	7.1%	7.3%	11.8%	12.8%	7.6%	8.9%
2022年	7.1%	6.8%	12.6%	12.6%	7.9%	9.0%
2023年	6.4%	6.3%	11.8%	13.9%	11.2%	8.9%
全国平均(2019年)	16.4%	19.2%	22.7%	21.6%	12.9%	16.7%

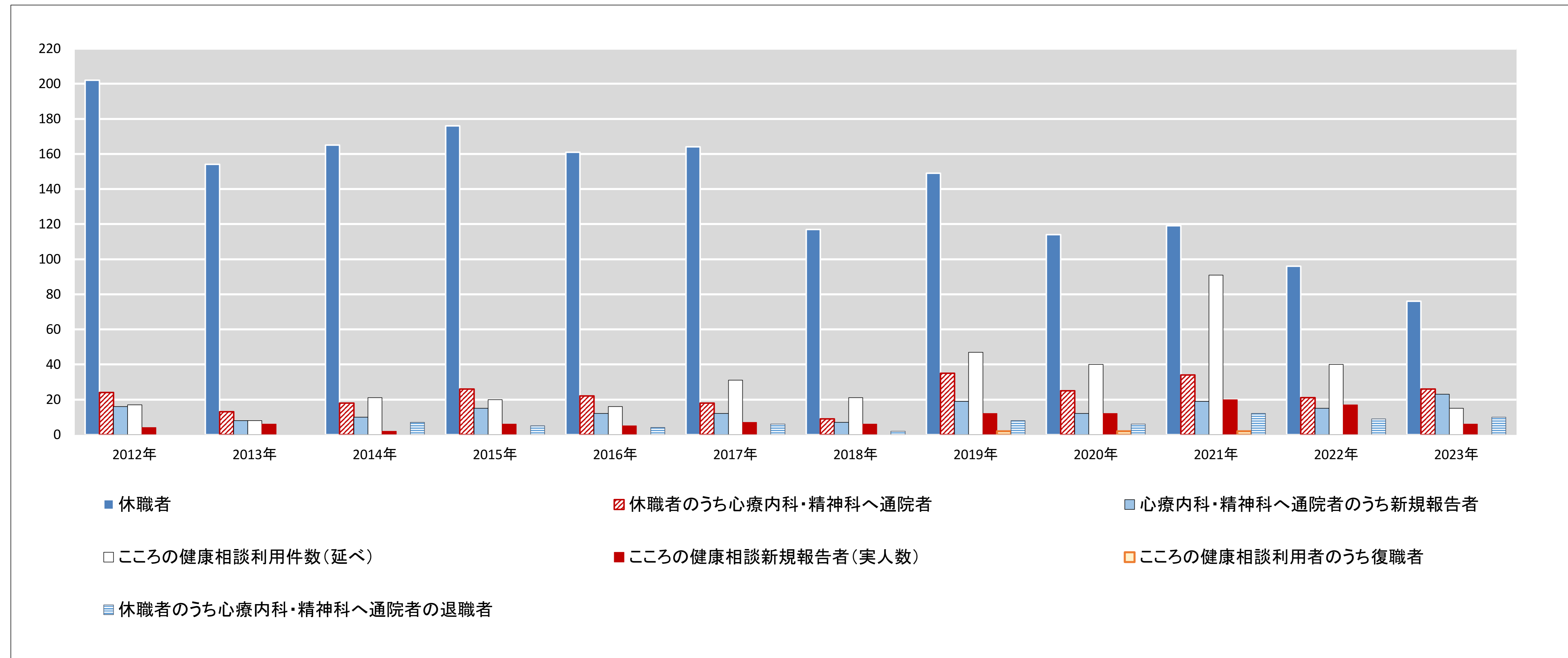


■休職者、こころの健康相談件数 年次推移(2024年3月1日時点)■

表12

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	合計
休職者	202	154	165	176	161	164	117	149	114	119	96	76	1693
休職者のうち心療内科・精神科へ通院者	24	13	18	26	22	18	9	35	25	34	21	26	271
心療内科・精神科へ通院者のうち新規報告者	16	8	10	15	12	12	7	19	12	19	15	23	168
こころの健康相談利用件数(延べ)	17	8	21	20	16	31	21	47	40	91	40	15	367
こころの健康相談新規報告者(実人数)	4	6	2	6	5	7	6	12	12	20	17	6	103
こころの健康相談利用者のうち復職者	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	6
休職者のうち心療内科・精神科へ通院者の退職者			7	5	4	6	2	8	6	12	9	10	69

図13 休職者、こころの健康相談件数 年次推移



* 休職者数に関しては月に出了診断書の合計で1ヶ月に2通以上出た人は重ならないようにしています。
 * 休職者のうち心療内科・精神科へ通院者の退職者は2014年度より統計へ追加

産業医面談・保健指導実施件数

図14-1 年間対応件数(項目別・のべ)

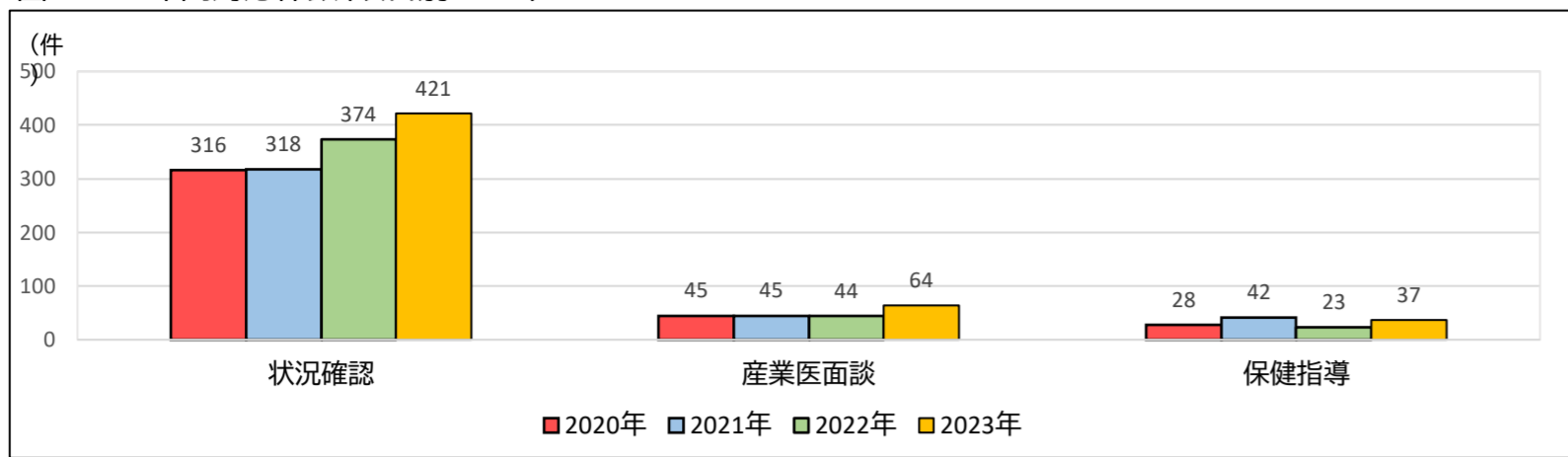


図14-2 保健指導項目の内訳(のべ)

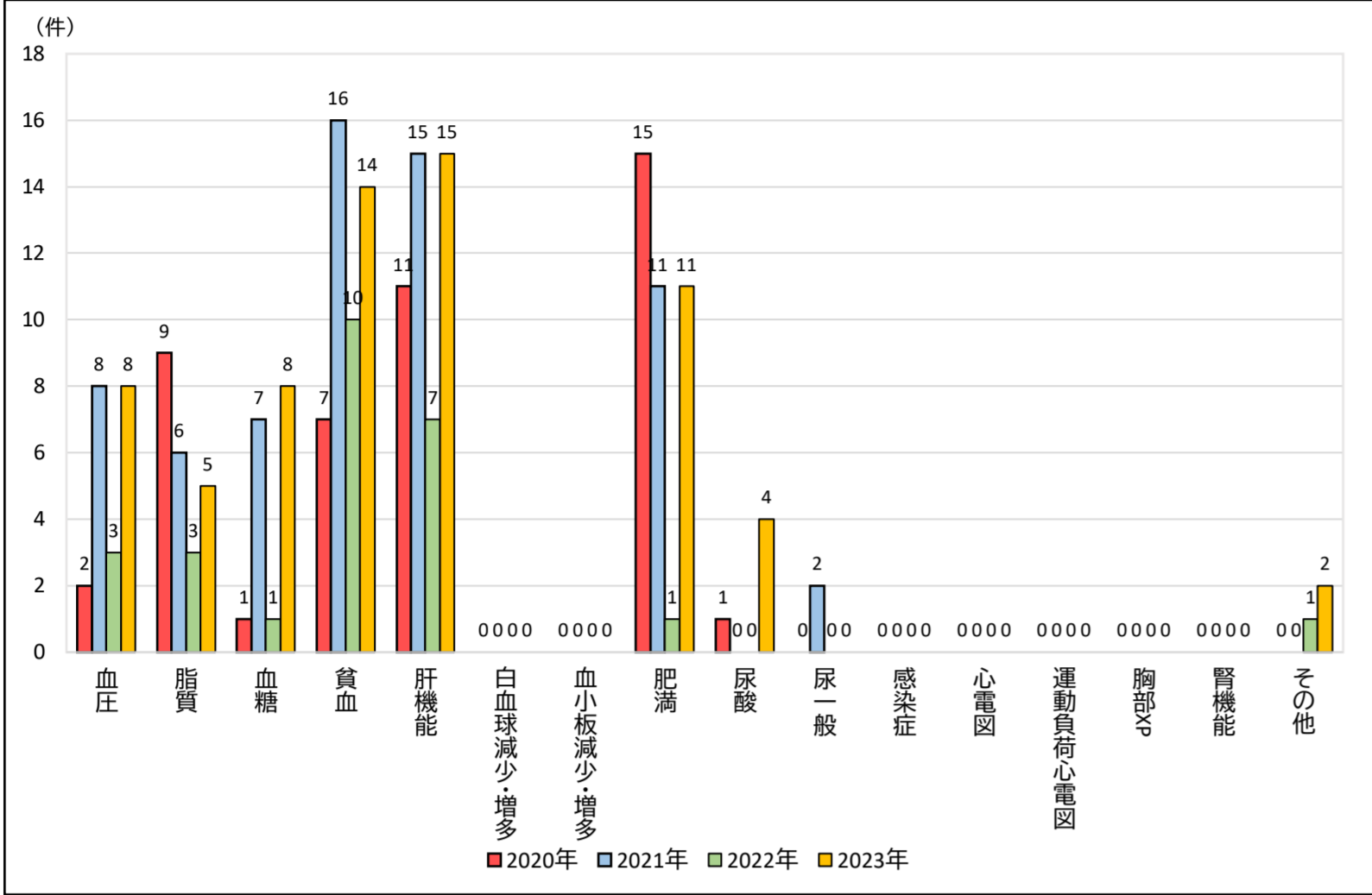


図14-3 面談項目の内訳(のべ)

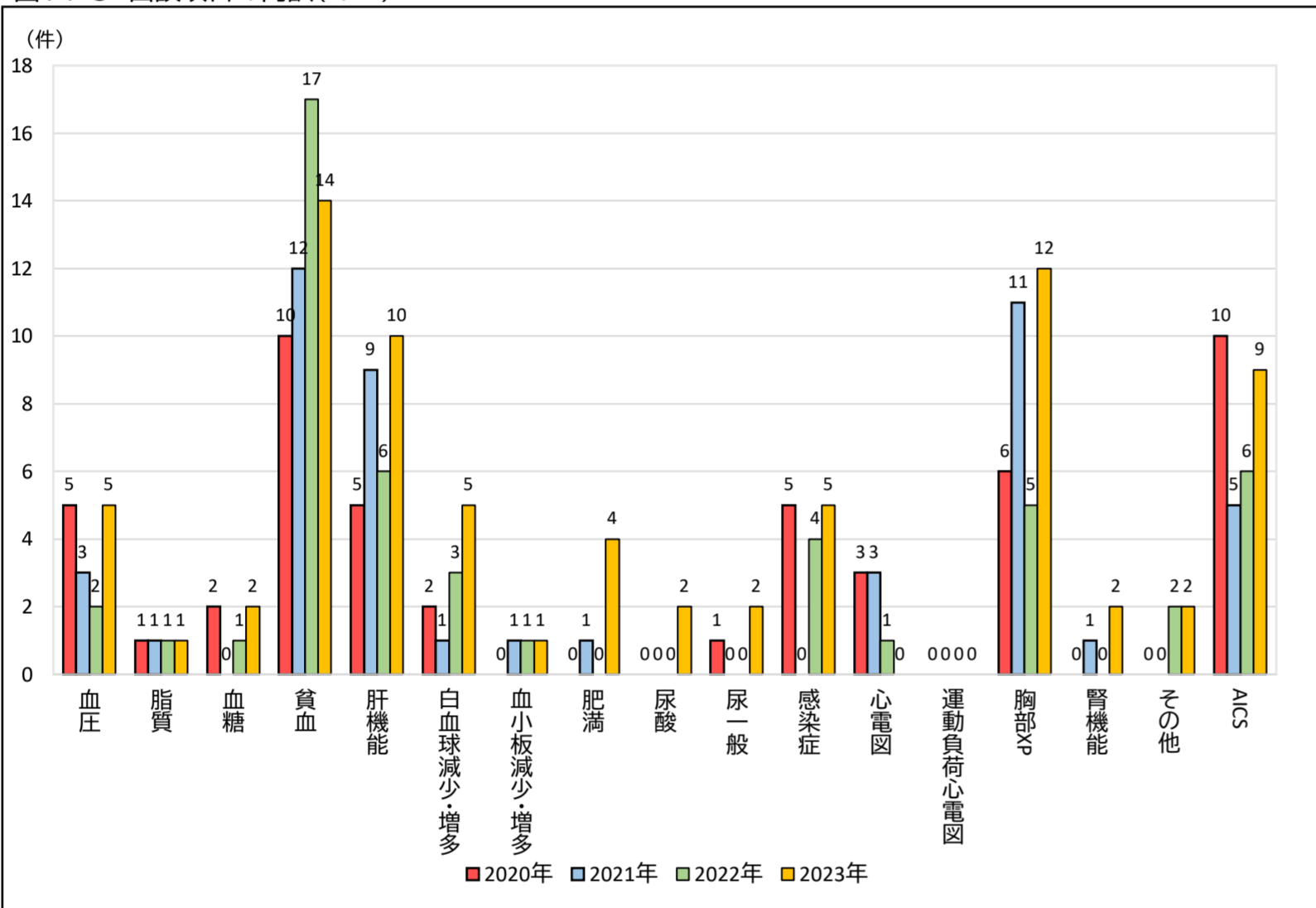


図14-4 専門医への紹介件数

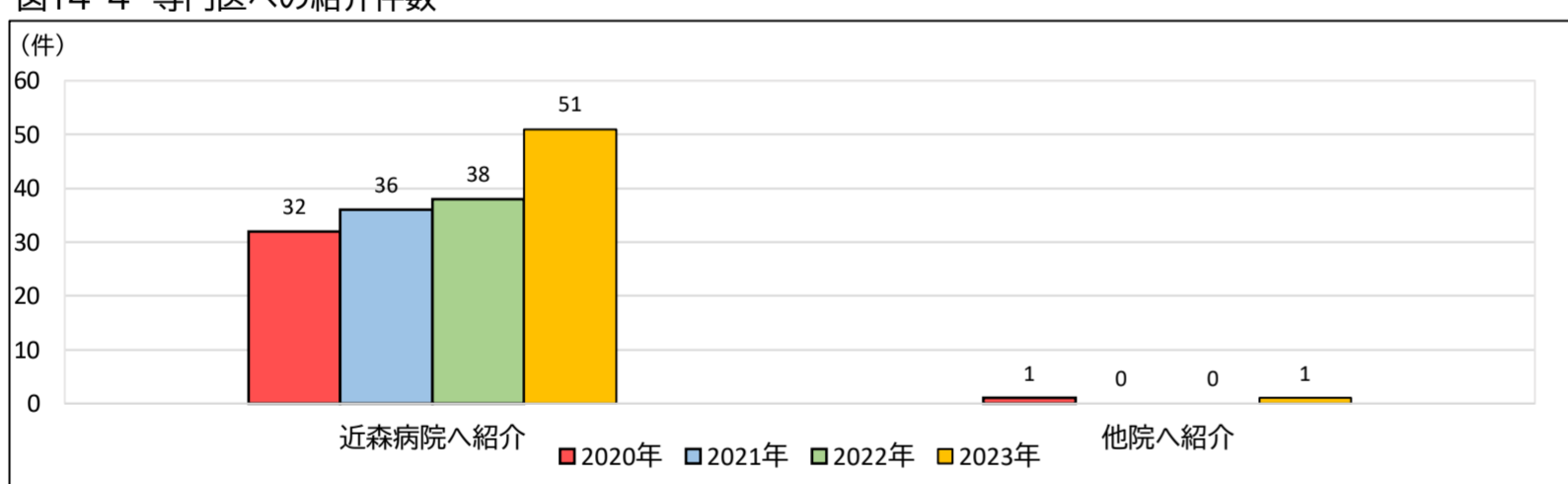


図14-5 専門医紹介となった面談項目の内訳(のべ)

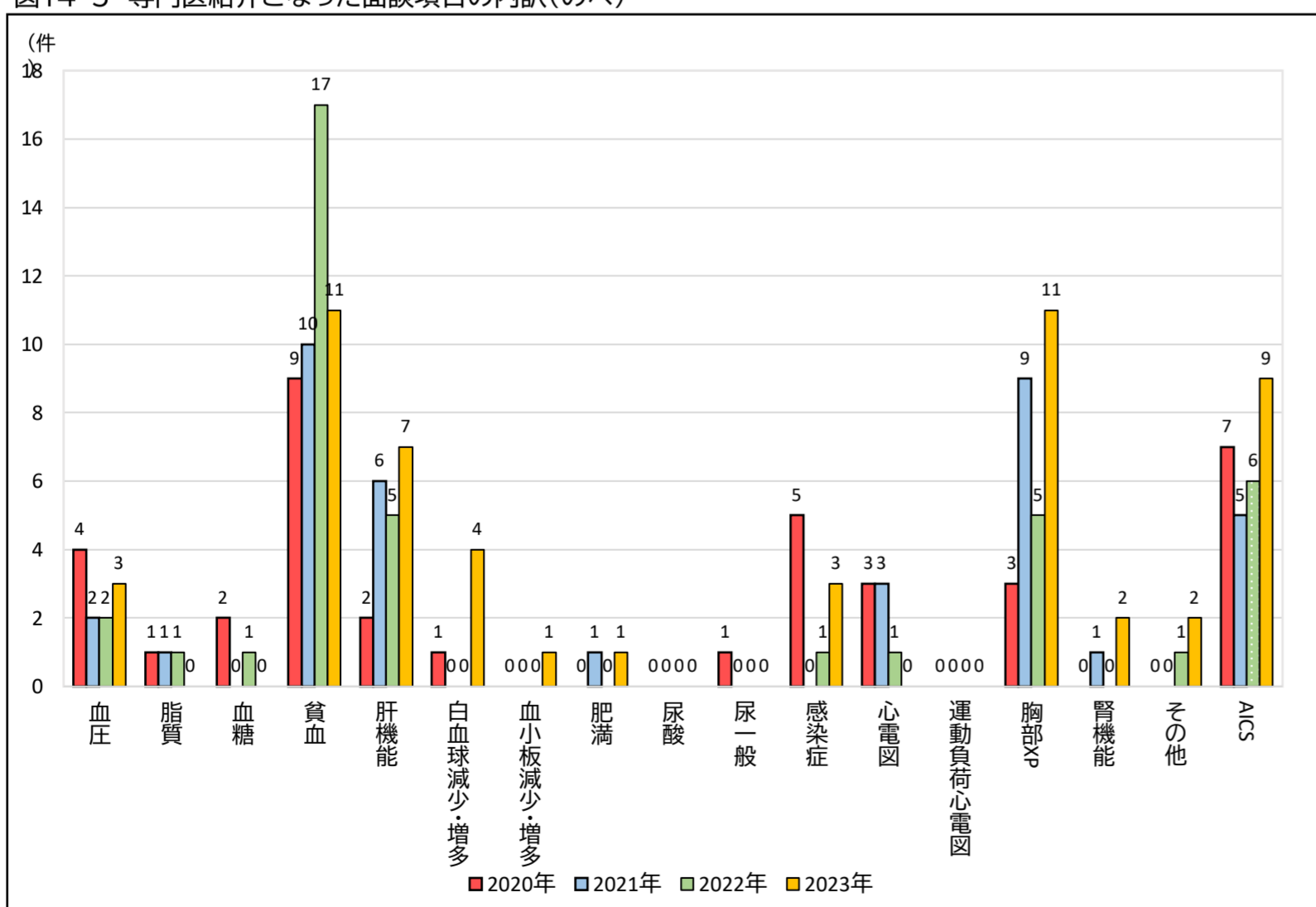


図14-6 特定保健指導の実施件数

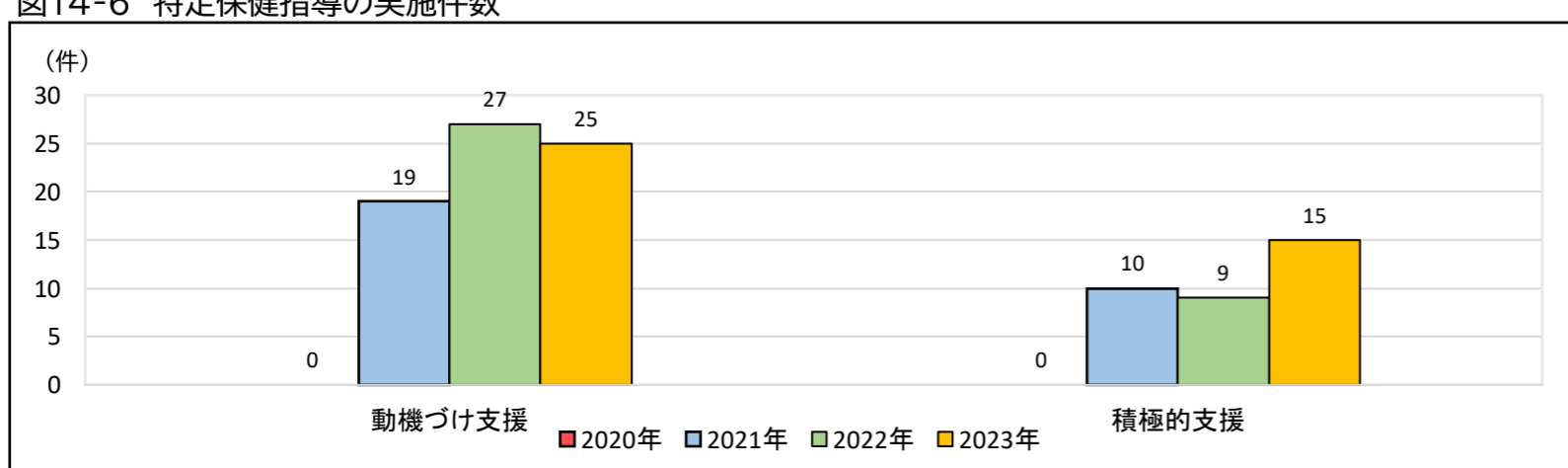


表13-1 年間対応件数 年次推移

	2020年	2021年	2022年	2023年
状況確認	316	318	374	421
産業医面談	45	45	44	64
保健指導	28	42	23	37

【コメント】
状況確認、産業医面談、保健指導において全ての件数が増加している。

表13-2 保健指導項目の内訳

	2020年	2021年	2022年	2023年
血圧	2	8	3	8
脂質	9	6	3	5
血糖	1	7	1	8
貧血	7	16	10	14
肝機能	11	15	7	15
白血球減少・増多	0	0	0	0
血小板減少・増多	0	0	0	0
肥満	15	11	1	11
尿酸	1	0	0	4
尿一般	0	2	0	0
感染症	0	0	0	0
心電図	0	0	0	0
運動負荷心電図	0	0	0	0
胸部XP	0	0	0	0
腎機能	0	0	0	0
その他	0	0	1	2
計	46	65	26	67

【コメント】
指導項目で多いのは肝機能(15件)、貧血(14件)、肥満(11件)
→生活習慣改善が重要な項目。啓発活動や繰り返しの指導が必要。

※対象項目を全て抽出しているため1件につき複数カウントあり

表13-3 面談項目の内訳

	2020年	2021年	2022年	2023年
血圧	5	3	2	5
脂質	1	1	1	1
血糖	2	0	1	2
貧血	10	12	17	14
肝機能	5	9	6	10
白血球減少・増多	2	1	3	5
血小板減少・増多	0	1	1	1
肥満	0	1	0	4
尿酸	0	0	0	2
尿一般	1	0	0	2
感染症	5	0	4	5
心電図	3	3	1	0
運動負荷心電図	0	0	0	0
胸部XP	6	11	5	12
腎機能	0	1	0	2
その他	0	0	2	2
AICS	10	5	6	9
計	50	48	49	76

【コメント】
面談項目で多いのは貧血(14件)、胸部XP異常(12件)、肝機能(10件)

※対象項目を全て抽出しているため1件につき複数カウントあり

表13-4 専門医への紹介件数 年次推移

	2020年	2021年	2022年	2023年
近森病院へ紹介	32	36	38	51
他院へ紹介	1	0	0	1
計	33	36	38	52

【コメント】
専門医紹介となる件数は増加傾向。

表13-5 専門医紹介となった面談項目の内訳

	2020年	2021年	2022年	2023年
血圧	4	2	2	3
脂質	1	1	1	0
血糖	2	0	1	0
貧血	9	10	17	11
肝機能	2	6	5	7
白血球減少・増多	1	0	0	4
血小板減少・増多	0	0	0	1
肥満	0	1	0	1
尿酸	0	0	0	0
尿一般	1	0	0	0
感染症	5	0	1	3
心電図	3	3	1	0
運動負荷心電図	0	0	0	0
胸部XP	3	9	5	11
腎機能	0	1	0	2
その他	0	0	1	2
AICS	7	5	6	9
計	38	38	40	54

【コメント】
専門医紹介となる項目で多いのは貧血(11件)、胸部XP異常(11件)、AICS(9件)。産業医面談にて経過観察、もしくは保健指導後セルフコントロールとなったものを除いて、面談項目と同様の傾向がみられる。

※対象項目を全て抽出しているため1件につき複数カウントあり

表13-6 特定保健指導実施件数

	2020年	2021年	2022年	2023年
動機づけ支援	0	19	27	25
積極的支援	0	10	9	15
計	0	29	36	40

【コメント】
昨年より指導件数は増加している。

※2023.3.1時点:実施中(最終評価未)含む
※2020年はコロナウイルス感染対策のため特定保健指導は休止とした

ストレスチェック受検率 年次推移(全体・施設別)

表14-1 近森会G(全体)

年	対象者数*	受検者数*	高ストレス 非該当者数	高ストレス 該当者数	受検率	高ストレス率	*労基への報告数	
							受検者のうち 面談申出	受検者のうち 医師面接の 実施者数*
2017	1890	1248	1135	113	66.0	9.1	5(0.4%)	1(0.1%)
2018	1860	1178	1058	120	63.3	10.2	3(0.3%)	1(0.1%)
2019	1842	1289	1167	122	70.0	9.5	3(0.2%)	2(0.2%)
2020	1822	1619	1475	144	88.9	8.9	4(0.2%)	1(0.1%)
2021	1797	1625	1481	144	90.4	8.9	5(0.3%)	5(0.3%)
2022	1804	1676	1521	155	92.9	9.2	6(0.4%)	4(0.2%)
2023	1785	1711	1552	159	95.9	9.3	4(0.2%)	3(0.2%)

図15-1 近森会G(全体) ストレスチェック受検率 年次推移

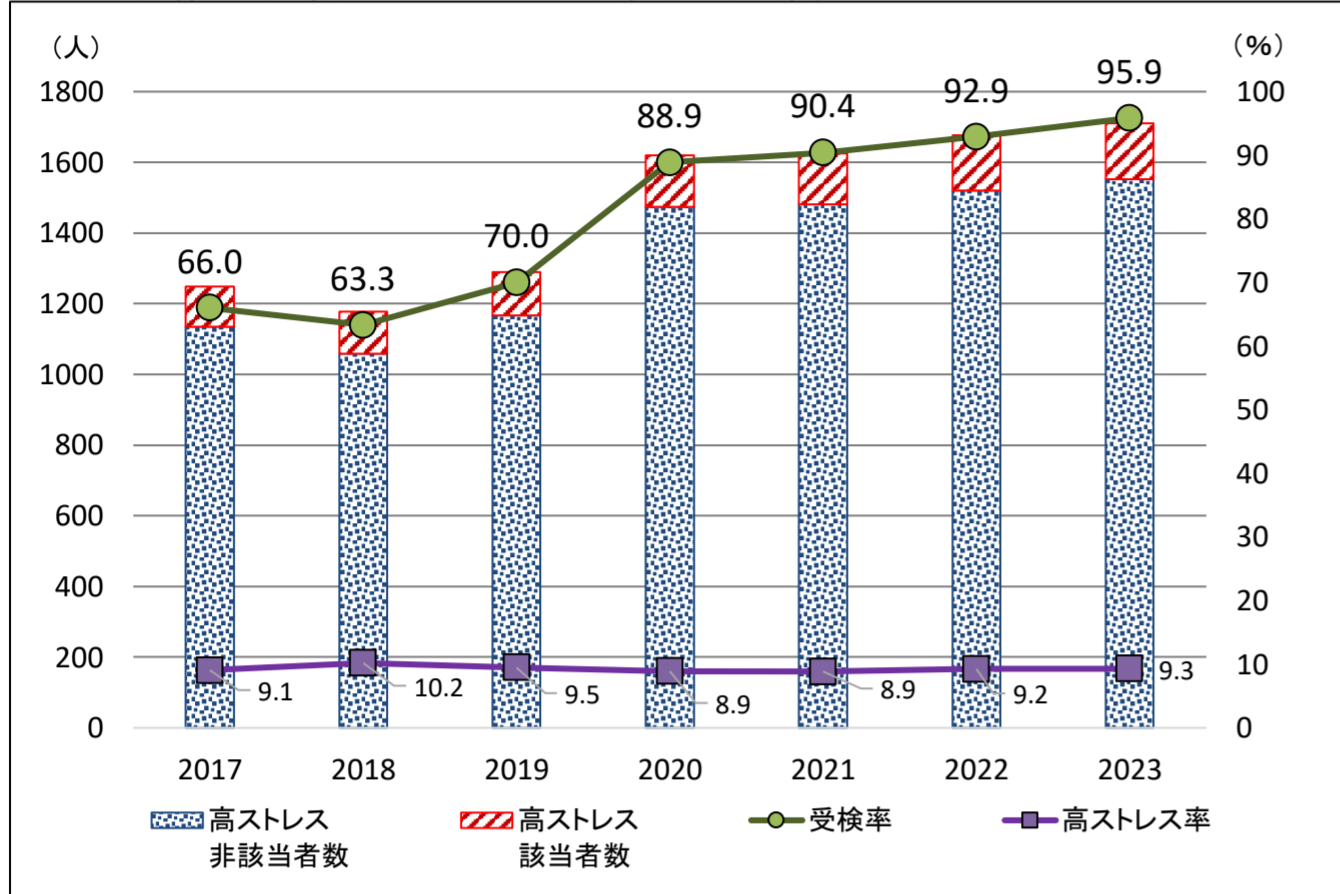


表14-2 本院、リハ病院

年	対象者数*	受検者数*	高ストレス 非該当者数	高ストレス 該当者数	受検率	高ストレス率	*労基への報告数	
							受検者のうち 面談申出	受検者のうち 医師面接の 実施者数*
2017	1654	1072	970	102	64.8	9.5	4(0.4%)	0
2018	1643	1038	934	104	63.2	10.0	1(0.1%)	1(0.1%)
2019	1609	1114	1004	110	69.2	9.9	3(0.3%)	2(0.2%)
2020	1600	1433	1300	133	89.6	9.3	4(0.3%)	1(0.1%)
2021	1585	1422	1292	130	89.7	9.1	5(0.4%)	5(0.4%)
2022	1604	1483	1340	143	92.5	9.6	6(0.4%)	4(0.3%)
2023	1575	1508	1367	141	95.7	9.4	3(0.2%)	2(0.1%)

図15-2 本院、リハ病院 ストレスチェック受検率 年次推移

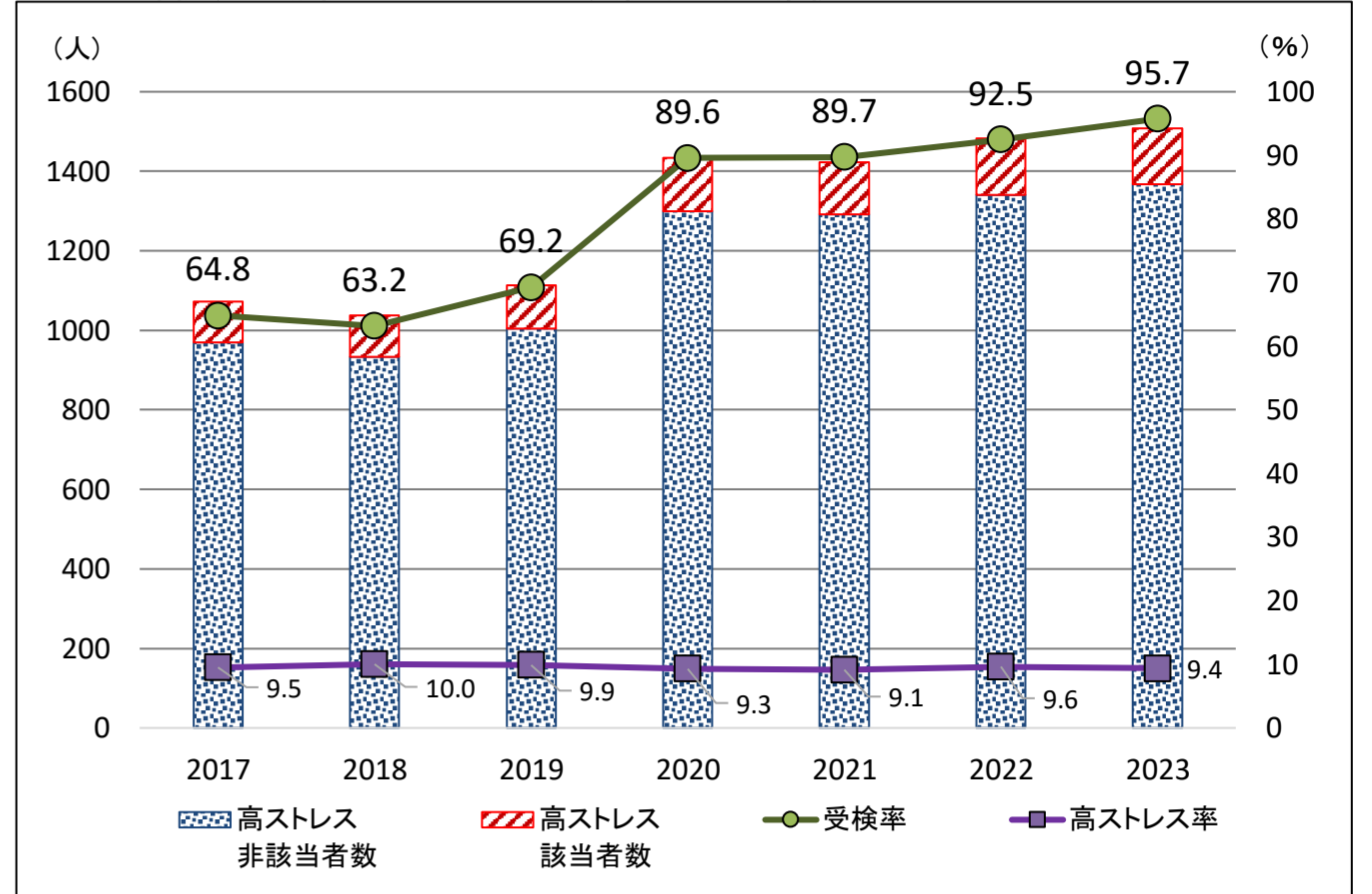


表14-3 オルソリハ病院

年	対象者数*	受検者数*	高ストレス 非該当者数	高ストレス 該当者数	受検率	高ストレス率	*労基への報告数	
							受検者のうち 面談申出	受検者のうち 医師面接の 実施者数*
2017	137	91	87	4	66.4	4.4	1(1.1%)	1(1.1%)
2018	128	73	67	6	57.0	8.2	1(1.4%)	0
2019	137	100	95	5	73.0	5.0	0	0
2020	136	122	117	5	89.7	4.1	0	0
2021	134	125	117	8	93.3	6.4	0	0
2022	129	122	112	10	94.6	8.2	0	0
2023	135	129	115	14	95.6	10.9	1(0.8%)	1(0.8%)

図15-3 オルソリハ病院 ストレスチェック受検率 年次推移

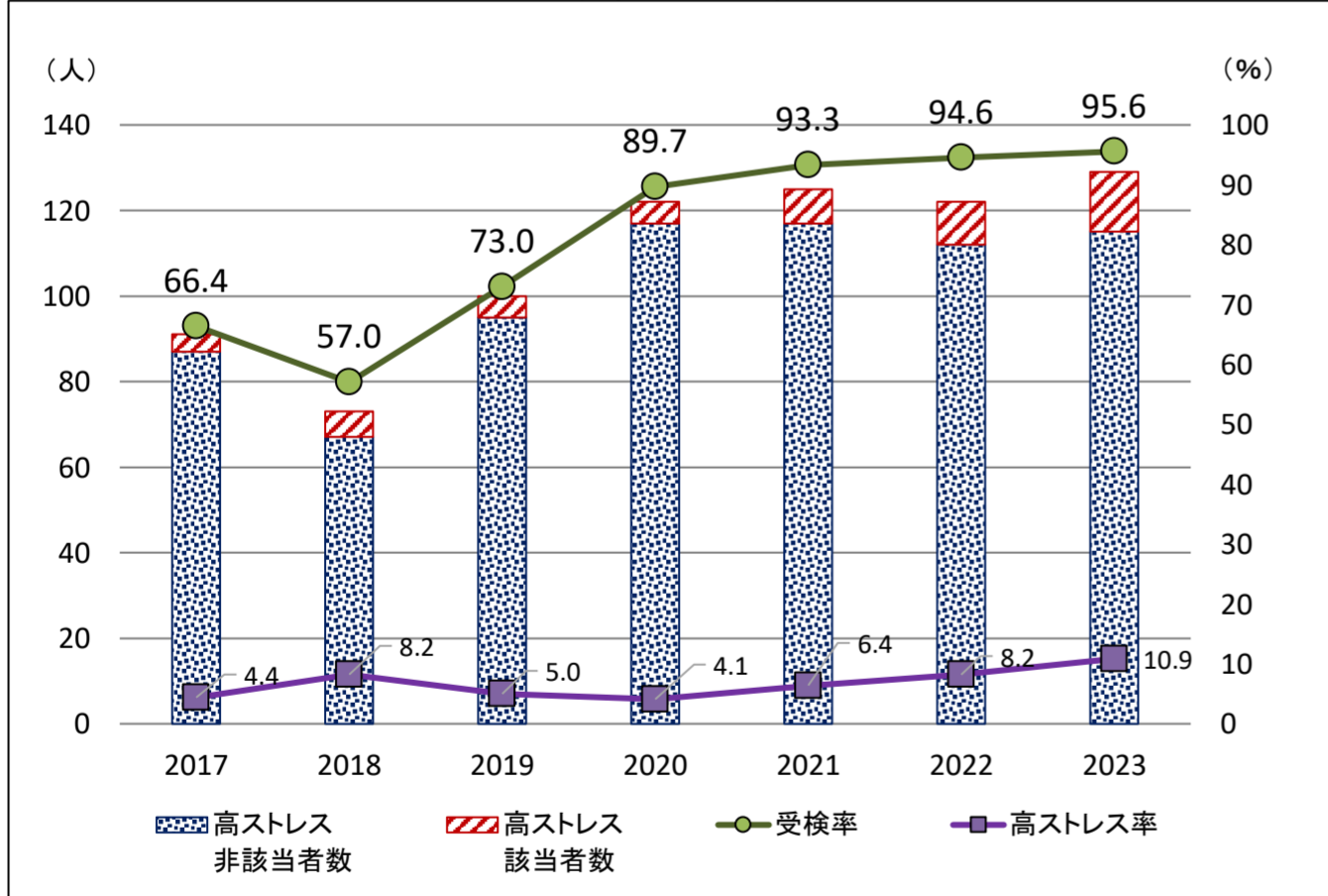
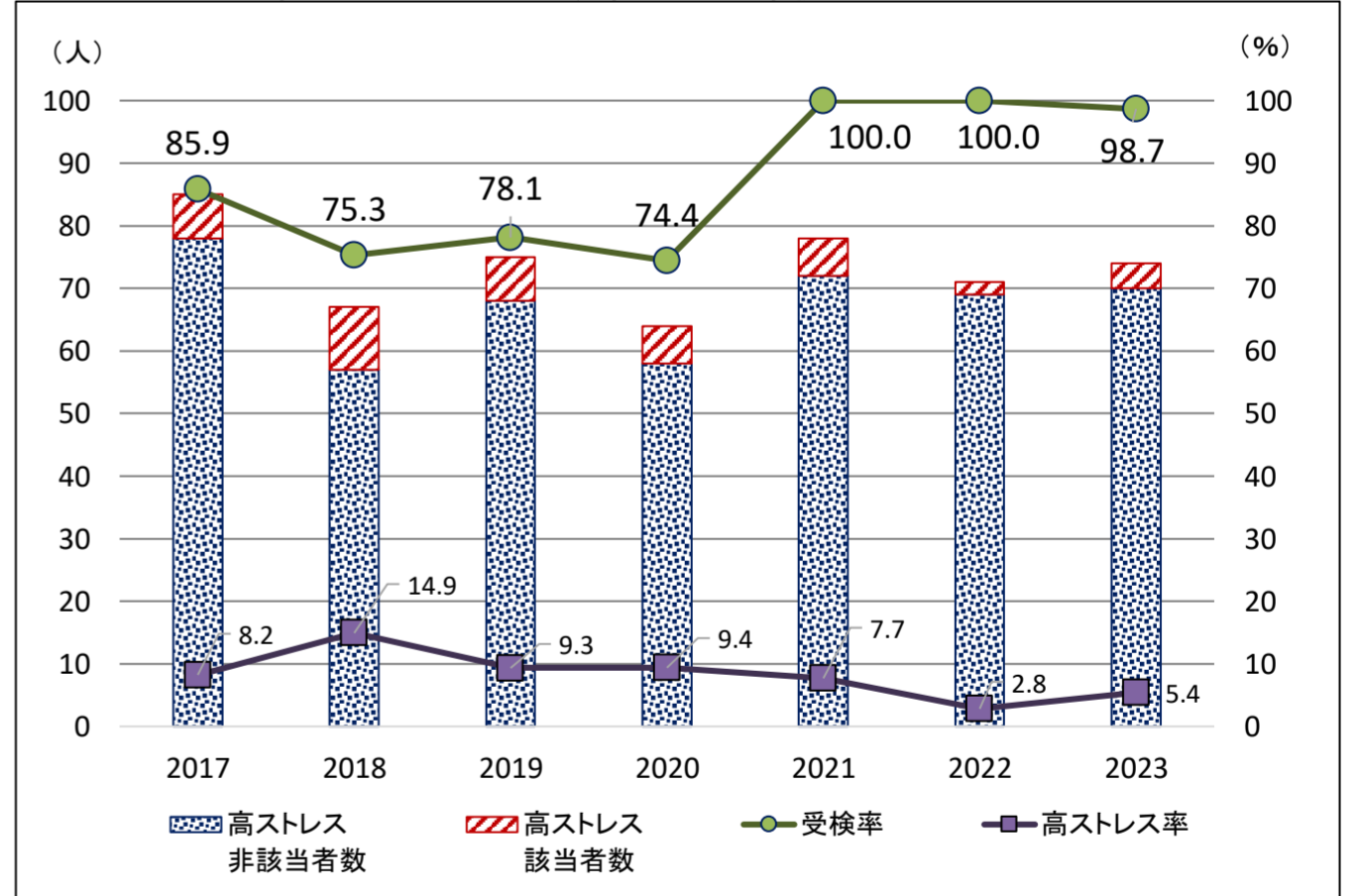


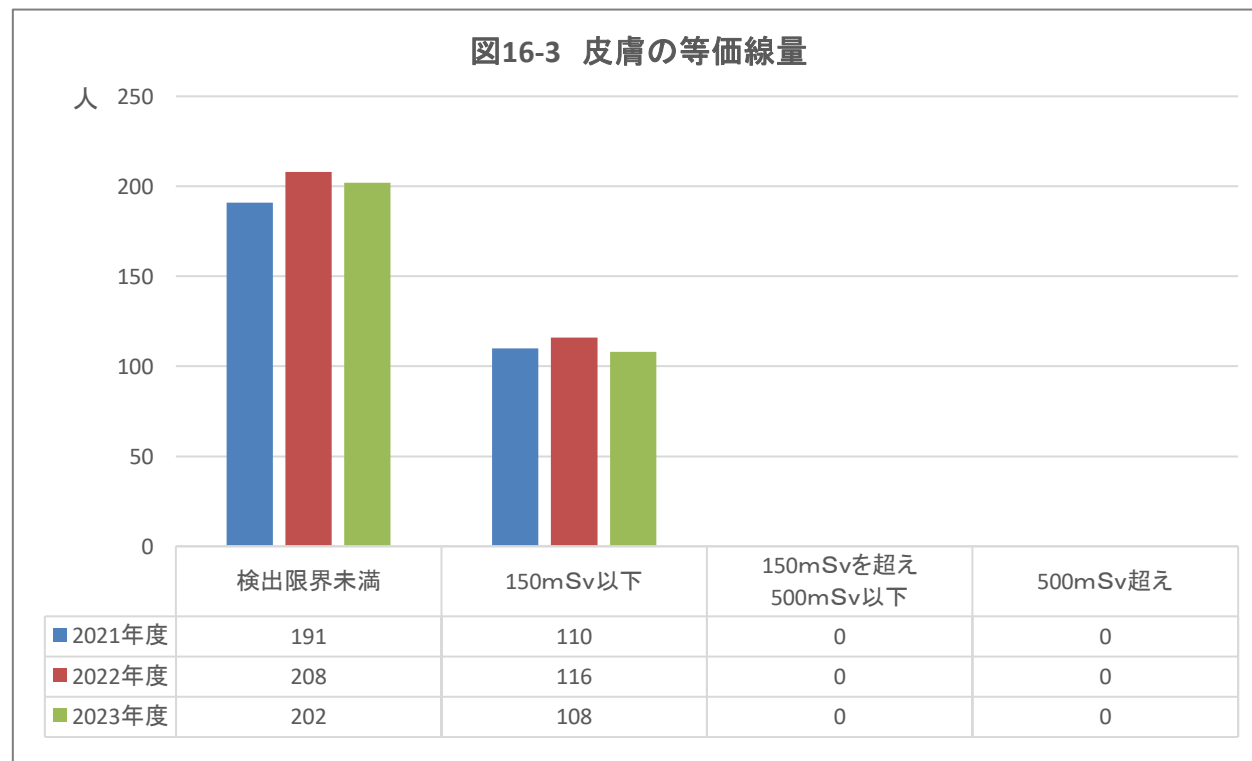
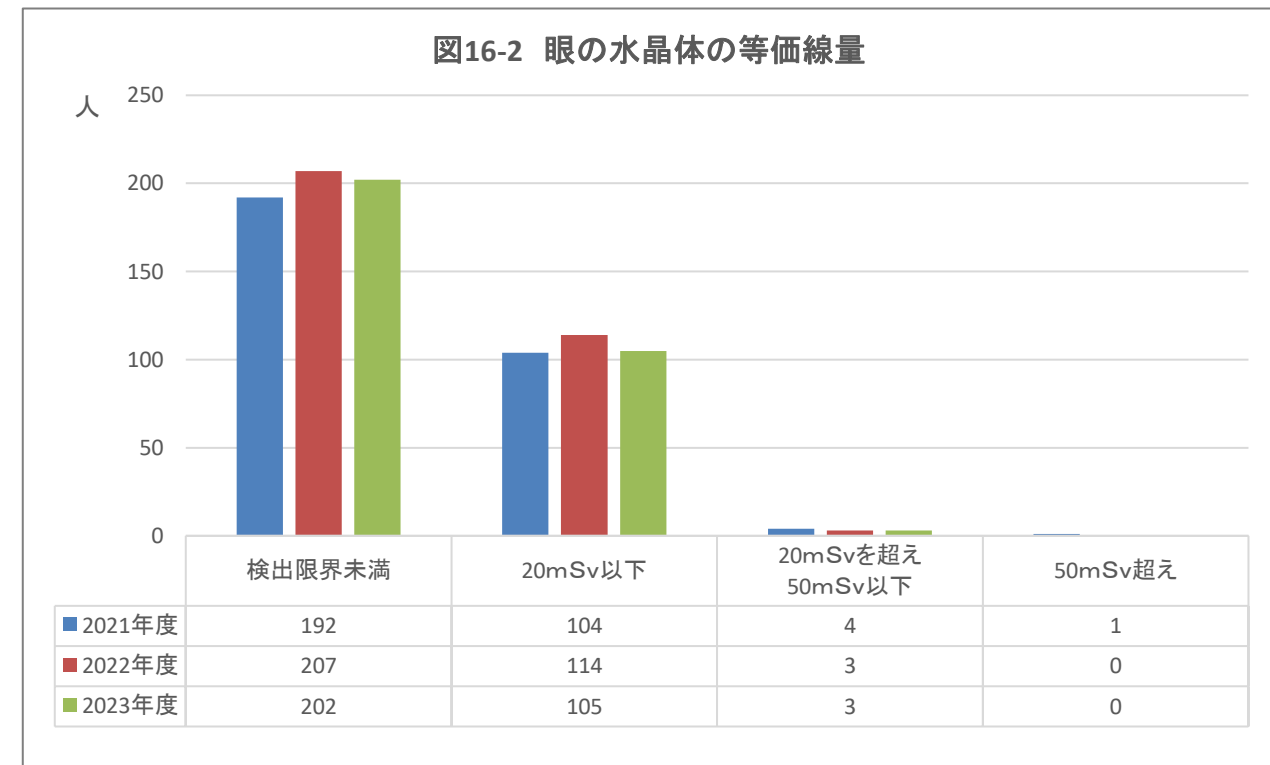
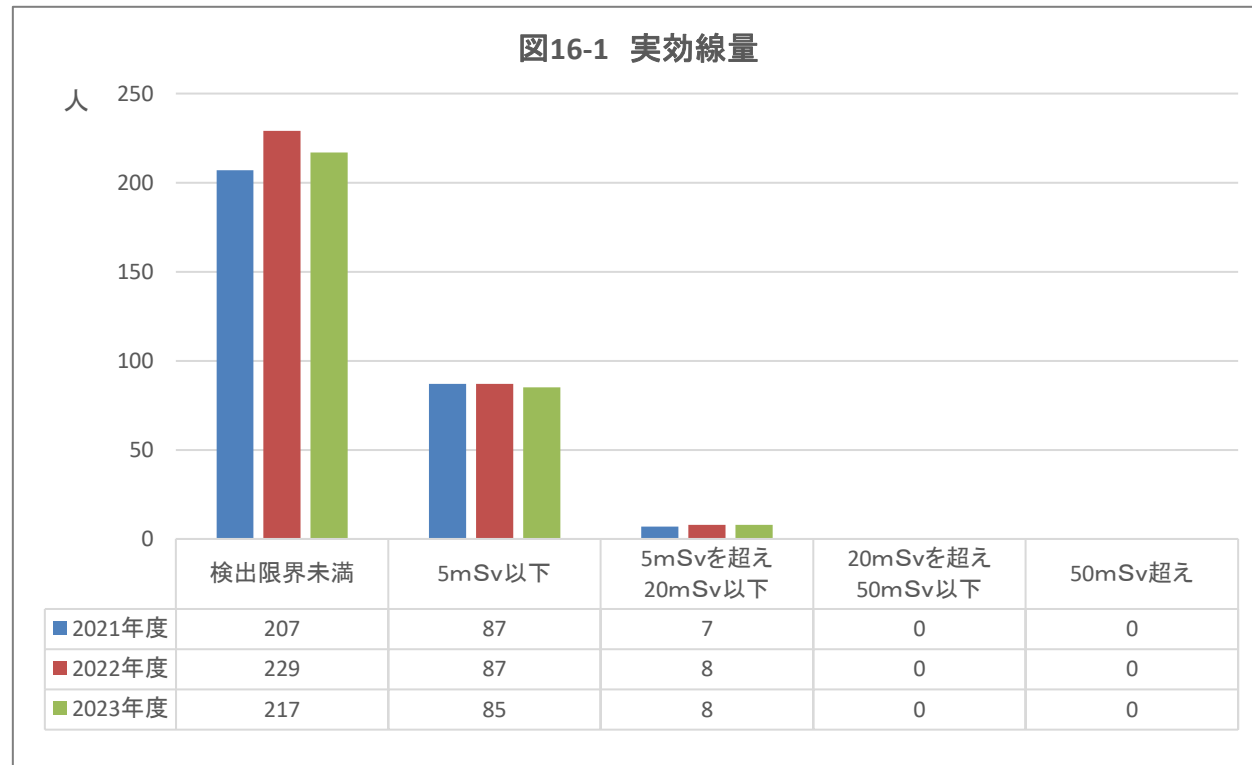
表14-4 ファミュー高知

年	対象者数*	受検者数*	高ストレス 非該当者数	高ストレス 該当者数	受検率	高ストレス率	*労基への報告数	
							受検者のうち 面談申出	受検者のうち 医師面接の 実施者数*
2017	99	85	78	7	85.9	8.2	0	0
2018	89	67	57	10	75.3	14.9	1(1.5%)	0
2019	96	75	68	7	78.1	9.3	0	0
2020	86	64	58	6	74.4	9.4	0	0
2021	78	78	72	6	100.0	7.7	0	0
2022	71	71	69	2	100.0	2.8	0	0
2023	75	74	70	4	98.7	5.4	0	0

図15-4 ファミュー高知 ストレスチェック受検率 年次推移



■電離放射線健康診断結果年次推移(線量による区分)*近森会のみ



*線量による区分は、今回の健康診断を行った日の属する年の前年一年間に受けた線量

放射線業務従事者の被ばく限度

実効線量限度

- ・100mSv/5年→平均20mSv/年
- ・50mSv/年
- ・5mSv/3月(女子)
- ・1mSv(妊娠中女子の内部被ばく)

等価線量限度

- ・眼の水晶体 50mSv/年、100mSv/5年→平均20mSv/年 *2021.4.1～改正
- ・皮膚 500mSv/年
- ・妊娠中の女子 2mSv(腹部表面)

★5年間とは・・・法改正に伴い、2001年4月1日前後で5年毎に区切られている。

図17

